

## 小平市受益者負担の適正化検討委員会委員名簿

(選出区分で五十音順・敬称略)

選出区分	氏 名	所属・住所等
有識者委員	亀山 典子	株式会社日本総合研究所 主任研究員
有識者委員	友岡 一郎	月刊「地方自治職員研修」 編集長
有識者委員	渡辺 孝義	東京都市町村研修所特別講師 中央大学経済学部客員講師
公募委員	柴田 昭雄	天神町
公募委員	古本 和子	御幸町
公募委員	水田 昌	鈴木町
公募委員	森野 やよい	大沼町

小平市受益者負担の適正化検討委員会設置要綱

平成 21 年 6 月 1 日 制定

(設置)

第 1 条 小平市が徴収する使用料及び手数料について受益者負担の適正化を図り、市民負担の公平性を確保するため、小平市受益者負担の適正化検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 使用料及び手数料の額に関すること。
- (2) 使用料及び手数料の減額及び免除に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、使用料及び手数料に係る重要な事項に関すること。

(構成)

第 3 条 委員会は、識見を有する者及び市民のうち市長が依頼する委員 7 人以内をもって構成する。

2 委員のうち 4 人以内は、公募により選任する。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを選出する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(招集)

第 5 条 委員会は、委員長が招集する。

(会議の公開)

第 6 条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、公開する。ただし、会議を公開することにより、公平かつ円滑な会議の運営が著しく阻害されるおそれがあるときは、委員会の議により非公開とすることができる。

2 会議の傍聴の手続、傍聴人の遵守事項その他会議の公開に関し必要な事項は、別に定める。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要に応じて検討事項に関係がある者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(設置期間)

第8条 委員会の設置期間は、平成21年8月1日から平成22年3月31日までとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、財務部財政課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(施行期日)

この要綱は、平成21年8月1日から施行する。

委員会の開催内容（予定）

第1回（8月11日）

- ①委員紹介
- ②庁内検討結果報告
- ③今後の議題

第2回（9月）

- 各施設の状況報告（担当課長からの説明）
- 庁内検討の課題
  - ・減額・免除について
  - ・料金について

第3回（10月）

- 庁内検討の課題
  - ・減額・免除について
  - ・料金について

第4回（11月）

- 検討のまとめ

第5回（12月）

- 検討のまとめ（予備）

小平市受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）

検討結果報告書

平成21年7月

小平市使用料・手数料検討委員会

## 目 次

1	見直しを行う背景	1 P
2	これまでの取組	2 P
3	受益者負担適正化の基本的な考え方	3 P
	(1) 受益者負担の原則	3 P
	(2) 算定方法の明確化	4 P
	(3) 減額・免除の見直し	7 P
4	見直し対象となる使用料・手数料	9 P
5	原価算定に基づく使用料・手数料の検証	11P
6	検討のまとめ	12P
≪資料編≫		
	各施設の使用料免除基準（資料1）	13P
	各施設の使用料免除状況（資料2）	16P
	各施設の使用料・手数料一覧（資料3）	17P
	小平市政に関する世論調査・抜粋（資料4）	20P
	小平市の文化振興の基本方針・抜粋（資料5）	22P
	小平市使用料・手数料検討委員会開催等日程・委員名簿（資料6）	23P

## 1 見直しを行う背景

平成20年2月に公表した「小平市政に関する世論調査」において、地域センター等の利用費負担については「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」とする意見が回答者の**57.9%**、「利用者が経費のすべてを負担すべきだと思う」とする意見が**9.7%**となり、**67.6%**の回答者が経費を負担すべきであると考えています。一方で、一部の公共施設においては、使用料を全く負担しない使用料免除での利用が9割以上となっており、上記世論調査に見る市民意識とはかけ離れている実態となっています。

また、小平市の財政状況は、今後の見通しとして収入の伸びは見込めず、少子・高齢化に伴う施策や既存の公共施設の維持管理などへの固定的な支出によって、現在実施している行政サービスの供給についても厳しくなってきています。このため、財政基盤の健全化に向けて、市税の徴収強化、市有財産の売却、広告収入の確保などとともに、受益者負担の見地からの使用料金・手数料の見直しを行い、あらゆる手法で自主財源の確保に努める必要があります。

このため、平成19年3月に行財政の再構築を着実に進めるために、「改革推進プログラム」を定め、財政基盤の強化として自主財源を確保するために、「受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）」を取り組むべき項目の一つとしました。

さらに、平成19年12月に策定した「小平市の文化振興の基本方針」においては、「文化施設の維持管理には多額な費用を要しており、現在及び将来の小平市の財政状況を勘案すると、受益者負担の原則に基づき、他の施設を含め市全体として、使用料及び使用料減額制度の見直しを検討する必要があります。」としています。

このような施設の使用料負担に対する実態と市民意識の乖離や、市の行財政改革の取組みが、この度の見直しを行う背景となっています。

## 2 これまでの取組

平成8年12月に策定した「小平市行財政改革大綱」では、市民と行政の役割分担の観点から、サービス水準の適正化と共に、市民に応分の経費負担を求める仕組みづくりと定期的な見直しを図ることとしました。これらを踏まえ策定された「小平市第2次行財政改革推進プラン」では、受益と負担の見直しを平成14年度までに行うとしましたが、全面的な見直しには至りませんでした。

このため、「小平市第3次行財政改革推進プラン」に基づき、平成15年に見直しを行い、平成16年4月から、住民票の写し・印鑑登録証明・課税（非課税）証明・固定資産課税台帳の閲覧などの事務手数料の一部を改定しました。また、同年10月から、集会室・地域センター・有料自転車駐車場・福祉会館・公民館・体育施設・総合体育館・平櫛田中彫刻美術館の利用料金の改定をしました。

その後、平成19年3月に策定した「行財政再構築プラン」において、いっそうの自主財源の確保を図り、受益者負担の適正化を図るために、改革推進プログラムの実施項目として位置づけ、平成19年度から検討を行っています。

なお、平成20年7月に本委員会を設置し、これまでに5回開催し、見直しの検討を行いました。



### 3 受益者負担の適正化の基本的な考え方

使用料・手数料の受益者負担の適正化を実施するにあたっては、これまでも、

- (1) 受益者負担の原則
- (2) 算定方法の明確化
- (3) 減額・免除の見直し

を3つの基本的な考え方に基づき、見直しを行ってきました。

#### (1) 受益者負担の原則

市が行う行政サービスには、「特定の市民が特定のサービスを受けた場合は、その市民（受益者）が経費の一部または全部を負担する」という「受益者負担の原則」が設けられており、このことは、地方自治法（224条～227条）で使用料、手数料、分担金、負担金といった方法で徴収できるものとして定められています。

特定の行政サービスあるいは公共施設を利用した場合に、受益者が特定できるにもかかわらず、無料もしくは著しく低額でサービスを提供している場合は、受益者負担の原則に則して応分の負担を求めることが、公平公正の見地から必要となります。

市民が市の施設を利用しサービスを受ける際、利用する人と利用しない人との「負担の公平性」を考えると、利用する人が応分の負担をすることによって、はじめて利用しない人との負担の公平性が確保されます。このため、市の施設を利用する方やサービスを受ける方に応分の負担をしていただく必要があります。

## (2) 算定方法の明確化

市が受益者に応分の負担を求めるためには、使用料・手数料の積算根拠を明らかにし、市民に分かりやすく説明できるようにする必要があります。

そこで、積算根拠の明確化に向けて、原価のあり方や負担割合などの定め方に係る基本的な考え方についての算定を整理する必要があります。

### ①積算の根拠

#### ◎原価について

使用料等の額を新たに定める場合、又は現行使用料等の額を改定する場合は、行政サービスの提供に要する経費（コスト）を明確にする視点に立ち、使用料等の原価算定を次の方式で行い、料金決定の主要な基礎資料とします。

### 使用料

#### 1時間当りの経費

#### 人件費＋維持管理費＋減価償却費

##### ○人件費（正規職員等）

管理職を除いた一般行政職・非常勤職員などの平均時間単価・  
事務分担割合

##### ○維持管理費

施設維持に要した経費総額（年度単位）・建物総床面積・  
年間開館日数・1日の開館時間

### 手数料

#### 1件当りの経費

#### 人件費＋物件費＋減価償却費

### ◎負担割合について

施設それぞれに設置目的や機能について、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などでサービスの性質に分けることができます。そこで施設をいくつかに分類し、受益者負担割合を設定することで、適正な負担の設定を行います。

このため、その目的、性質、必要度等から総合的に判断して、次の2つの基準で分類します。

#### 基本的サービス

- ・市民の日常生活に必要不可欠なもの
- ・法令等により施設の設置又は事業が義務づけられているもの
- ・事業内容において、一般性、社会的必要性の要素が強いもの

#### 選択的サービス

- ・市民がより快適で潤いのある日常生活を送るためのもの
- ・必ずしも施設の設置または事業を義務づけられていないもの
- ・事業内容において個別性、個人的必要性の要素が強いもの

さらに、そのサービスの採算性の観点から、次の2点の基準で分類します。

#### 採算的サービス

- ・民間においても市場原理に基づいて提供されているサービスで、市（行政）としても同様の内容で行っているサービス

#### 非採算的サービス

- ・市場原理に基づいて提供されにくいサービスで、市（行政）が中心となって提供しているサービス

以上の基準をもとにして、具体的な利用者の受益者負担率を次の表とおりに設定し、使用料金を設定しています。

サービス性質による利用者の受益者負担率

	サービスの性質	受益者負担の考え方	受益者負担率	具体的なサービス
1	基本的サービスで かつ非採算的サービス	全額公費負担とする もの	0%	道路・公園・義務教育 施設・社会福祉施設等
2	基本的サービスで かつ採算的サービス	受益者が折半で負担 するもの	50%	高齢者住宅使用料・歯 科処置料等
3	選択的サービスで かつ非採算的サービス	受益者が折半で負担 するもの	50%	集会室・地域センタ ー・公民館・福社会館 等
4	選択的サービスで かつ採算的サービス	全額受益者負担とす るもの	100%	体育館・プール・テニ スコート・グラウンド 等

## ②使用料・手数料の定義

・使用料…地方自治法第 225 条に定める「行政財産の使用又は公の施設の利用等の対価」として使用者（利用者）が市に支払う料金

・手数料…地方自治法第 227 条に定める、特定の者に提供する役務（サービス）に対してその費用又は報償として使用者（利用者）が市に支払う料金

### (3) 減額・免除の見直し

#### ①減額・免除の現状

現在、各施設の使用料は、資料（13ページ）のとおり使用料のうち一定の料金の減額については行っていませんが、各施設の条例に基づき使用料の全額の免除を行っています。この免除の基準については各施設の施行規則において定めています。

集会室、地域センターの使用料の免除については、条例施行規則で規定された免除基準の「その他市長が特に必要と認めた場合」に基づき行っていますが、さらに、詳細の基準は、要綱で規定しています。

これらの施設の使用料は、資料（16ページ）のとおりこの要綱の基準のうち「団体が地域活動、福祉活動又は文化活動を行うために使用する場合」及び「市内に住所を有する者又は市内に通勤若しくは通学する者で構成する団体が、地域活動、福祉活動、及び文化活動を行う場合」の規定により、全施設使用料の95%以上の免除を行っています。

また、福祉会館、公民館の使用料についても、条例施行規則に定めた基準（社会福祉活動及び社会教育活動を行う場合）で約90%以上免除しています。

なお、手数料については、手数料条例で「国・地方公共団体で公用、生活保護者」、「法令により定めがあるとき」、「市長が特別の理由があると認めるとき」に該当する際は免除ができますが、大半は免除を行っていません。

#### ②減額・免除の見直しの方針

現行の市長等の裁量権による負担額の減額・減免措置については、各種団体活動の支援・促進、あるいは施設利用率の向上について、これまで一定の成果を上げることができました。

しかし、一方では、「受益者負担の原則」に則していない面もあり、また利用者が固定化する傾向などもあり、利用者と非利用者間における不公平感が生

じます。

使用料・手数料の減額・免除については、「受益者負担の原則」の観点から、あくまでも特例的な措置であることを確認し、その適用については、やむを得ないものに限定します。

また、やむを得ず減額・免除を行う場合は、公平性・公正性を確保するため、できるだけ共通の対応となるように基準の統一化を図るものとします。

#### 4 見直し対象となる使用料・手数料

見直しを行う使用料・手数料は平成21年度に予算計上されたもののうち以下のものとしします。

##### (1) 使用料

	使用料名	検討対象	対象としない理由
総務使用料	電柱等用地使用料		小平市行政財産使用料条例に基づく
	東部市民センター集会施設	○	
	地域センター集会施設	○	
	地域センター国際交流協会		小平市行政財産使用料条例に基づく
	小平元気村おがわ東集会施設	○	
	喜平・上宿図書館集会施設	○	
	市民文化会館喫茶室等使用料		小平市行政財産使用料条例に基づく
	市民文化会館使用料		指定管理者制度導入における利用料金制度の検討対象となる
民生使用料	福社会館集会施設	○	
	学童クラブ費		原価計算での料金設定が妥当でない
	高齢者住宅使用料		公営住宅法施行令により算出
衛生使用料	歯科処置料		診療報酬の算定に基づく
土木使用料	電力ケーブル等道路占用料		小平市道路占用料徴収条例に基づく
	自転車駐車場使用料		無料駐車場有料化の中で検討
	公園占用料（電柱等）		小平市行政財産使用料条例に基づく
	用水路占用料		〃
教育使用料	公民館施設使用料	○	
	平櫛田中彫刻美術館観覧料		原価計算での料金設定が妥当でない
	市民総合体育館使用料	○	
	八ヶ岳山荘使用料	○	
	テニスコート使用料	○	
	萩山・東部公園プール使用料	○	
	武道館使用料	○	
	グラウンド使用料	○	
萩山公園卓球室使用料	○		

(2) 手数料

手数料名	検討対象	対象としない理由
住民票写し証明	○	
戸籍附表の写し証明	○	
外国人登録証明	○	
印鑑登録証明・印鑑登録書の再交付	○	
戸籍謄(抄)本		法令等で規定
戸籍記載事項証明		法令等で規定
除籍謄(抄)本、改製原戸籍謄(抄)本		法令等で規定
除籍簿記載事項証明		法令等で規定
届出の受理証明書	○	
臨時運行許可申請審査		法令等で規定
住民基本台帳閲覧	○	
住民基本台帳カード	○	
工場設置認可手数料		法令等で規定
畜犬登録手数料		法令等で規定
畜犬登録手数料(再登録)		法令等で規定
狂犬病予防注射済票交付手数料		法令等で規定
狂犬病予防注射済票再交付手数料		法令等で規定
公道証明	○	
道路区域及び境界確定証明	○	
図書複写手数料	○	
農地転用関係証明	○	
課税(非課税)証明書	○	
固定資産評価額・税額証明	○	
土地台帳・家屋台帳閲覧	○	
公図写しの交付	○	
住宅用家屋証明書	○	
都市計画証明	○	
優良住宅認定		法令等で規定
優良宅地造成認定		法令等で規定
廃棄物等の手数料		市民全体に影響があるため別に検討した方が望ましい



## 5 原価算定に基づく使用料・手数料の検証

原価算定に基づき使用料・手数料の検証を行った結果、原価と現行料金との  
かい離は一定の範囲内でした。

ただし、体育施設の団体利用、プール、グラウンドの利用料金については、  
原価と現行料金とに差が見られます。これらの使用料については、平成15年  
度の見直しの際にも差が見られましたが、近隣市の同じ施設の利用料金よりも  
すでに高額であることから、料金の大幅な増額をしませんでした。

また、手数料のうち、戸籍謄（抄）本など法令で定められている手数料など  
においても、原価と現行料金とに差が生じていますが、原価算定の例外としま  
した。

## 6 検討のまとめ

### (1) 料金について

①使用料・手数料は、原価算定に基づき料金設定を行い、設定した料金を定期的に見直し、原価と料金に一定率以上のかい離が生じた場合は料金の改定を行う必要があります。

また、施設の使用料について、より利用しやすい時間区分に基づく料金設定や支払方法の簡素化などが課題となります。

### (2) 減額・免除について

①使用料の免除基準の規定は、集会施設・地域センターが要綱に基づき、福祉会館・公民館が規則に基づいており、免除基準の規定に統一性がありません。

このため、免除基準の規定の統一を図るために、規則に基づく基準に統一する必要があります。

②使用料の免除率は、集会施設・地域センター・公民館が95%を超え、福祉会館においても90%近くなっていますが、体育施設の使用料の免除はかなり低い割合となっています。

施設使用料は、利用者にとって、また施設を利用していない人にとっても、納得のいく利用形態や費用負担であるべきとの観点から、これまでの免除のあり方を再検証する必要があります。

③現在、障がい者への使用料の減額・免除を行う基準はありませんが、障害者基本法第21条(※)に基づいた減額・免除の基準を規定する必要があります。

### (3) 利用申込方法について

各施設により利用申請書が異なっているため、利用手続きの簡素化に向けて利用申請書の様式を統一することなどが課題となります。

※ 障害者基本法第21条：国及び地方公共団体は、障害者及び障害者を扶養する者の経済的負担の軽減を図り、又は障害者の自立の促進を図るため、税制上の措置、公共的施設の利用料等の減免その他必要な施策を講じなければならない。

## 《資料編》

## 各施設の使用料免除基準

## 1 集会室

・小平市立集会室条例施行規則

第 9 条 条例第 7 条の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 官公署が使用する場合
- (2) その他市長が特に必要と認めた場合

↓

《小平市立集会室の使用手続等に関する要綱》

第 7 規則第 9 条第 2 号の市長が特に必要と認めた場合とは、次に掲げるものとする。

- (1) 小平市補助金等交付規則（昭和 48 年規則第 11 号）第 2 条第 3 項に規定する交付団体又はその構成団体が同条第 2 項に規定する補助事業等のために使用する場合
- (2) 市立学校の P T A その他の団体が使用する場合
- (3) 社会福祉法人小平市社会福祉協議会が補助する団体が使用する場合
- (4) 団体が地域活動、福祉活動又は文化活動を行うために使用する場合 など

## 2 地域センター

・小平市立地域センター条例施行規則

第 5 条 条例第 8 条第 2 号ただし書の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 官公署が利用する場合
- (2) その他市長が特に必要と認めた場合

↓

《小平市立地域センター管理運営要綱》

第 4 規則第 5 条第 2 号の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市の補助金交付団体（小平市補助金等交付規則（昭和 48 年規則第 11 号）第 2 条第 3 項の交付団体をいう。）又はその構成団体が、補助目的にそって使用する場合
- (2) 市立学校 P T A 等が使用する場合
- (3) 社会福祉法人小平市社会福祉協議会が補助する団体が使用する場合
- (4) 市内に住所を有する者又は市内に通勤若しくは通学する者で構成する団体が、地域活動、福祉活動、及び文化活動を行う場合 など

### 3 福社会館

・小平市福社会館条例施行規則

第5条 条例第11条の規定により、使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市から直接指導、育成又は援護を受けている社会福祉団体が福祉活動のために使用する場合
- (2) 官公署が市民の福祉活動のために使用する場合
- (3) 前号以外の社会福祉事業を目的とする団体が福祉活動のため使用する場合
- (4) その他、市長が特に必要と認めた場合



高齢者団体（老人クラブ）など

### 4 公民館

・小平市立公民館条例施行規則

第7条 条例第8条第2項の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市、委員会及び官公署が利用するとき。
- (2) 社会教育関係団体がその目的のために利用するとき。
- (3) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。



減免の実態はなし

### 5 体育館

・小平市民総合体育館条例施行規則

第11条 条例第7条第2項の規定による使用料の減額及び免除は、別表第4に定めるところによる。

別表第4(第11条関係)

主催・主管団体名	市民等を対象にした活動			市民等以外も対象の大会等	会員対象の活動	
	長期教室	短期教室	大会等		大会等	練習
市・委員会	免除	免除	免除	免除	/	/
官公署	免除	免除	免除	2分の1減額	/	/
協会	免除	免除	免除	2分の1減額	免除	免除
連盟	最初の6月間 2分の1減額	免除	免除	2分の1減額	2分の1減額	有料
社会教育関係団体の連合体	最初の2月間 2分の1減額	2分の1減額	2分の1減額	有料	有料	有料

6 体育施設

・小平市立体育施設条例施行規則

第 12 条 条例第 8 条第 2 項の規定による使用料の減額及び免除は、別表第 6 に定めるところによる。

別表第 6(第 12 条関係)

主催・主管団体名	市民等を対象にした活動			市民等以外も対象の大会等	会員対象の活動	
	長期教室	短期教室	大会等		大会等	練習
市・委員会	免除	免除	免除	免除	/	/
官公署	免除	免除	免除	2 分の 1 減額	/	/
協会	免除	免除	免除	2 分の 1 減額	免除	免除
連盟	最初の 6 月間 2 分の 1 減額	免除	免除	2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	有料
社会教育関係団体の連合体	最初の 2 月間 2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	有料	有料	有料

## 各施設の使用料免除状況(19年度決算額)

	施設名	使用料収入額 A ※1	免除額 B (免除がない場合 収入となった額)	収入+免除額 C (A+B)	免除額率(使用料)D (B/C)	利用者一人当た りのコスト E ※2	Eのうち 税負担率 F ※3	Eのうち 税負担額 (E・~)
1	集会室 (東部出張所・喜平図書 館・上宿図書館)	67,300円	1,816,494円	1,883,794円	96.4%	570円	99.9%	570円
2	地域センター	1,079,300円	29,435,454円	30,514,754円	96.5%	317円	99.5%	316円
3	福社会館	1,559,300円	12,976,500円	14,535,800円	89.3%	466円	98.1%	457円
4	公民館	1,247,500円	56,373,700円	57,621,200円	97.8%	393円	99.4%	391円
5	体育施設	49,508,030円	4,066,400円	53,574,430円	7.6%	2,579円	72.8%	1,877円
6	総合体育館	52,513,800円	8,644,250円	61,158,050円	14.1%	665円	73.3%	488円
7	八ヶ岳山荘	765,700円	477,000円	1,242,700円	38.4%	3,080円	94.7%	2,916円
	合計	106,740,930円	113,789,798円	220,530,728円	51.6%	-		-

※1 地域センター、福社会館、公民館については、用具等の使用料は除く。

※2 施設維持管理の総コスト／年間利用人数

※3 (施設維持管理の総コストー使用料収入)／施設維持管理の総コスト

## 各施設の使用料一覧

(単位:円)

施設名		原価 1H A	受益者 負担率※ B	原価に基づく使用料			現行使用料		差額		備考
				1H当たり	午前(3H)	午後・夜間(4H)	午前(3H)	午後・夜間(4H)	午前(3H)	午後・夜間(4H)	
				C(A・B)	D(C・3)	E(C・4)	F	G	H(D-F)	I(E-G)	
東部市民センター 喜平・上宿図書館	集会室	580	50%	290	870	1,160	700	900	170	260	
地域センター	第一娯楽室	920	50%	460	1,380	1,840	1,000	1,200	380	640	
	第二娯楽室	590	50%	295	885	1,180	800	1,000	85	180	
	第一集会室	470	50%	235	705	940	800	1,000	-95	-60	
	第二集会室	400	50%	200	600	800	500	700	100	100	
小平元気村おがわ 東	第一会議室	720	50%	360	1,080	1,440	1,200	1,500	-120	-60	
	第二会議室	720	50%	360	1,080	1,440	1,200	1,500	-120	-60	
	多目的ホール	620	50%	310	930	1,240	1,200	1,500	-270	-260	
	屋内広場	1,240	50%	620	1,240	←2時間	1,160	←2時間	80		
	屋外広場	1,020	50%	510	1,020	←2時間	1,160	←2時間	-140		
福祉会館	第一集会室	1,090	50%	545	1,635	2,180	1,500	2,000	135	180	現行使用料は市内居住者用
	第二集会室	830	50%	415	1,245	1,660	1,200	1,500	45	160	〃
	第三集会室	490	50%	245	735	980	700	900	35	80	〃
	第四集会室	470	50%	235	705	940	700	900	5	40	〃
	第五集会室	470	50%	235	705	940	700	900	5	40	〃
	市民ホール	3,300	50%	1,650	4,950	6,600	5,000	7,000	-50	-400	〃
	談話室	510	50%	255	765	1,020	700	900	65	120	〃
	和室ホール	1,970	50%	985	2,955	3,940	3,000	4,000	-45	-60	〃
	小ホール	1,910	50%	955	2,865	3,820	3,000	4,000	-135	-180	〃
公民館	ホール	1,942	50%	971	2,913	3,884	3,000	4,000	-87	-116	
	ギャラリーA室	1,091	50%	546	1,638	2,184	1,600	2,100	38	84	
	ギャラリーB室	1,062	50%	531	1,593	2,124	1,300	1,700	293	424	
	レクリエーションホール	1,507	50%	754	2,262	3,016	2,100	2,900	162	116	
	視聴覚室	1,379	50%	690	2,070	2,760	2,000	2,600	70	160	
	講座室等	1,094	50%	547	1,641	2,188	1,600	2,100	41	88	
	その他の施設	762	50%	381	1,143	1,524	1,200	1,500	-57	24	
	分館ホール	1,024	50%	512	1,536	2,048	1,600	2,100	-64	-52	

※施設の設置目的や機能に基づき、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などで、受益者負担割合を設定しています。



各施設の使用料

(単位:円)

施設名		原価 1H A	受益者 負担率※ B	原価に基づく使用料		現行使用料		差額 F(D-E)	備考
				1H当たり	2時間30分	2時間30分			
				C(A・B)	D(C・2.5)	E			
総合体育館	第一体育室(個人)	159	100%	159	398		400	-3	
	第一体育室(団体)	17,180	100%	17,180	42,950		15,000	27,950	
	第二体育室(個人)	154	100%	154	385		400	-15	
	第二体育室(団体)	6,166	100%	6,166	15,415		5,000	10,415	
	第三・四体育室(個人)	179	100%	179	448		400	48	
	第三・四体育室(団体)	3,580	100%	3,580	8,950		2,500	6,450	
	第五体育室(個人)	158	100%	158	395		400	-5	
	第五体育室(団体)	1,575	100%	1,575	3,938		1,000	2,938	
	弓道場(個人)	186	100%	186	465		400	65	
	弓道場(団体)	2,796	100%	2,796	6,990		2,000	4,990	
	幼児体育室(団体)	2,121	100%	2,121	5,303		1,000	4,303	
	第1会議室	351	50%	176	440		500	-60	
	第2会議室	770	50%	385	963		1,000	-38	
	第3会議室	411	50%	206	515		500	15	
	トレーニング室	240	100%	240	300	←1時間15分	200	←1時間15分	100
温水プール(個人)	262	100%	262	262	←1時間	250		12	
温水プール(団体)	13,089	100%	13,089	13,089	←1時間	15,000		-1,911	
八ヶ岳山荘	宿泊(市民・大人)1泊	756	100%	756			700	56	
	宿泊なし(市民・大人)1日	227	100%	227			350	-123	
テニスコート	コート	735	100%	1,470	←2時間		1,500	←2時間	-30
プール	萩山公園プール	151	100%	151	302	←2時間	250	←2時間	52
	東部プール	399	100%	399	798	←2時間	350	←2時間	448
花小金井武道館	個人	171	100%	171	171	←1時間	170	←1時間	1
	団体	2,048	100%	2,048	2,048	←1時間	1500	←1時間	548
グラウンド	大沼グラウンド	1,855	100%	1,855	3,710	←2時間	1,500	←2時間	2,210
	天神グラウンド	1,070	100%	1,070	2,140	←2時間	1,500	←2時間	640
	小川西グラウンド	3,294	100%	3,294	6,588	←2時間	1,700	←2時間	4,888
	萩山公園グラウンド	1,247	100%	1,247	2,494	←2時間	1,500	←2時間	994
	中央公園競技場・グラウンド	1,783	100%	1,783	3,566	←2時間	1,700	←2時間	1,866
萩山公園卓球室		167	100%	167	167	←1時間	200	←1時間	-33

※施設の設置目的や機能に基づき、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などで、受益者負担割合を設定しています。

手数料一覧

(単位:円)

手数料名	原価	現行手数料	差額	備考
住民票写し証明	275	250	25	自動交付機200円
戸籍附表の写し証明	160	250	-90	
外国人登録証明	303	250	53	
印鑑登録証	293	250	43	自動交付機200円
戸籍謄(抄)本	304	450	-146	法令に基づく
戸籍記載事項証明	300	350	-50	法令に基づく
除籍謄(抄)本、改製原戸籍謄(抄)本	495	750	-255	法令に基づく
除籍簿記載事項証明	495	450	45	法令に基づく
届出の受理証明書	170	350	-180	
臨時運行許可申請審査	279	750	-471	
住民基本台帳閲覧	231	300	-69	1人30分
その他証明	259	250	9	
住民基本台帳カード	540	500	40	
狂犬病予防注射済票交付手数料	569	550	19	
狂犬病予防注射済票再交付手数料	344	340	4	
公道証明	497	250	247	
道路区域及び境界確定証明	497	250	247	
図書複写手数料	137	10	127	
農地転用関係証明	207	250	-43	
課税(非課税)証明書	257	250	7	
固定資産評価額・税額証明	258	250	8	
土地台帳・家屋台帳閲覧	211	250	-39	
都市計画証明	280	250	30	

小平市政に関する世論調査報告書（第16回平成20年2月発行）より抜粋

(3) 地域センター等の利用費負担についての意見

◇「利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ」が57.9%

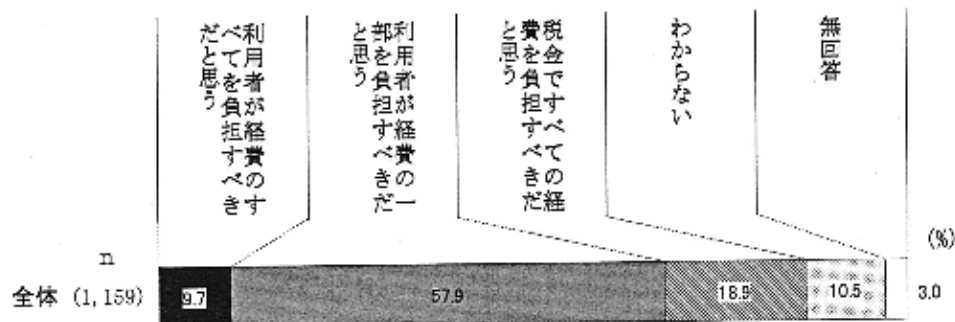
問31 地域センター、公民館などの部屋を利用する場合、利用する人が経費を負担するという考え方について、あなたの意見に最も近いのは次のうちどれですか。（現在はほとんどの利用者が使用料を免除されています）（○は1つ）

[n=1,159]

1 利用者が経費のすべてを負担すべきだと思ふ	9.7%
2 利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ	57.9
3 税金ですべての経費を負担すべきだと思ふ	18.9
4 わからない	10.5
(無回答)	3.0

地域センター等の利用費負担については、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ」が57.9%と突出して多くなっている。その他、「税金ですべての経費を負担すべきだと思ふ」が18.9%、「利用者が経費のすべてを負担すべきだと思ふ」が9.7%である。ただし、「わからない」が10.5%となっている。（図7-27）

<図7-27>地域センター等の利用費負担についての意見

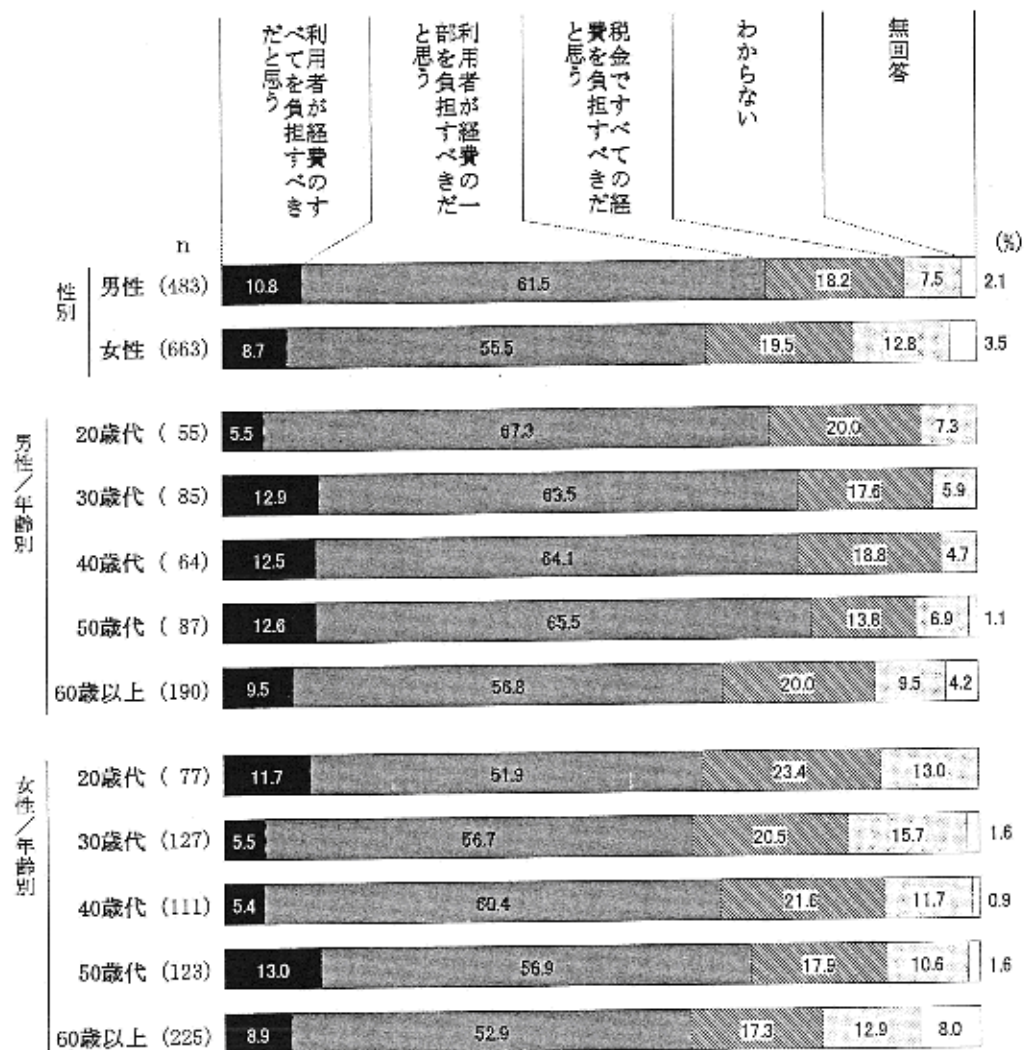


【性別・性／年齢別】

性別では、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」は男性の方が女性よりも6.0ポイント多い。一方で「わからない」は女性の方が5.3ポイント多くなっている。

性／年齢別でみると、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」は男性の20歳代～50歳代で多く、6割台半ば前後となっている。「税金ですべての経費を負担すべきだと思う」は男性の50歳代で特に少なく、他の世代では2割前後となっている。(図7-28)

<図7-28>性別・性／年齢別



小平市の文化振興の基本方針（平成19年12月発行）より抜粋

4 施設運営の改善と使用料及び使用料減額制度の見直し

現在、小平市が設置した文化施設の運営管理は、直営あるいは指定管理の方法が採られていますが、その経営には、なお改善の余地があり、効率性やサービスの向上をめざすことはもちろんですが、市民によって魅力があり、身近で利用しやすい施設に改善していくことが必要です。

また、文化施設の維持管理には多額な費用を要しており、現在及び将来の小平市の財政状況を勘案すると、受益者負担の原則に基づき、他の施設も含め市全体として、使用料及び使用料減額制度の見直しを検討する必要があります。

## ○小平市使用料・手数料検討委員会開催等日程

平成20年	
7月 1日	小平市使用料・手数料検討委員会設置
8月26日	第1回小平市使用料・手数料検討委員会 ・使用料・手数料の見直しに関する指針（案）について ・各施設の使用料・減免状況について
10月30日	第2回小平市使用料・手数料検討委員会 ・使用料・手数料の見直し（案）について ・（仮称）小平市使用料・手数料市民検討委員会について
12月22日	第3回小平市使用料・手数料検討委員会 ・今後の検討スケジュールについて ・使用料・手数料の原価、減免状況等の公表について ・障害者に対する減免の請願について
3月31日	使用料・手数料の状況を市ホームページで公開、市民の意見聴取
平成21年	
5月28日	第4回小平市使用料・手数料検討委員会 ・検討結果の取りまとめについて
7月 9日	第5回小平市使用料・手数料検討委員会 ・検討結果の取りまとめについて

## ○小平市使用料・手数料検討委員会委員名簿

	職 名
委員長	財務部長
副委員長	財務部財政課長
委員	企画政策部政策課長
委員	企画政策部行政経営課長
委員	財務部税務課長
委員	市民生活部市民課長
委員	市民生活部地域文化課長
委員	次世代育成部児童課長
委員	健康福祉部高齢者福祉課長
委員	環境部ごみ減量対策課長
委員	都市建設部交通対策課長
委員	教育部生涯学習推進課長
委員	教育部体育課長
委員	教育部中央公民館長

小平市受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）

検討結果報告書

平成21年7月

小平市使用料・手数料検討委員会

## 目 次

1	見直しを行う背景	1 P
2	これまでの取組	2 P
3	受益者負担適正化の基本的な考え方	3 P
	(1) 受益者負担の原則	3 P
	(2) 算定方法の明確化	4 P
	(3) 減額・免除の見直し	7 P
4	見直し対象となる使用料・手数料	9 P
5	原価算定に基づく使用料・手数料の検証	11P
6	検討のまとめ	12P
《資料編》		
	各施設の使用料免除基準（資料1）	13P
	各施設の使用料免除状況（資料2）	16P
	各施設の使用料・手数料一覧（資料3）	17P
	小平市政に関する世論調査・抜粋（資料4）	20P
	小平市の文化振興の基本方針・抜粋（資料5）	22P
	小平市使用料・手数料検討委員会開催等日程・委員名簿（資料6）	23P



## 1 見直しを行う背景

平成20年2月に公表した「小平市政に関する世論調査」において、地域センター等の利用費負担については「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」とする意見が回答者の**57.9%**、「利用者が経費のすべてを負担すべきだと思う」とする意見が**9.7%**となり、**67.6%**の回答者が経費を負担すべきであると考えています。一方で、一部の公共施設においては、使用料を全く負担しない使用料免除での利用が9割以上となっており、上記世論調査に見る市民意識とはかけ離れている実態となっています。

また、小平市の財政状況は、今後の見通しとして収入の伸びは見込めず、少子・高齢化に伴う施策や既存の公共施設の維持管理などへの固定的な支出によって、現在実施している行政サービスの供給についても厳しくなってきています。このため、財政基盤の健全化に向けて、市税の徴収強化、市有財産の売却、広告収入の確保などとともに、受益者負担の見地からの使用料金・手数料の見直しを行い、あらゆる手法で自主財源の確保に努める必要があります。

このため、平成19年3月に行財政の再構築を着実に進めるために、「改革推進プログラム」を定め、財政基盤の強化として自主財源を確保するために、「受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）」を取り組むべき項目の一つとしました。

さらに、平成19年12月に策定した「小平市の文化振興の基本方針」においては、「文化施設の維持管理には多額な費用を要しており、現在及び将来の小平市の財政状況を勘案すると、受益者負担の原則に基づき、他の施設を含め市全体として、使用料及び使用料減額制度の見直しを検討する必要があります。」としています。

このような施設の使用料負担に対する実態と市民意識の乖離や、市の行財政改革の取組みが、この度の見直しを行う背景となっています。

## 2 これまでの取組

平成8年12月に策定した「小平市行財政改革大綱」では、市民と行政の役割分担の観点から、サービス水準の適正化と共に、市民に応分の経費負担を求める仕組みづくりと定期的な見直しを図ることとしました。これらを踏まえ策定された「小平市第2次行財政改革推進プラン」では、受益と負担の見直しを平成14年度までに行うとしましたが、全面的な見直しには至りませんでした。

このため、「小平市第3次行財政改革推進プラン」に基づき、平成15年に見直しを行い、平成16年4月から、住民票の写し・印鑑登録証明・課税（非課税）証明・固定資産課税台帳の閲覧などの事務手数料の一部を改定しました。また、同年10月から、集会室・地域センター・有料自転車駐車場・福祉会館・公民館・体育施設・総合体育館・平櫛田中彫刻美術館の利用料金の改定をしました。

その後、平成19年3月に策定した「行財政再構築プラン」において、いっそうの自主財源の確保を図り、受益者負担の適正化を図るために、改革推進プログラムの実施項目として位置づけ、平成19年度から検討を行っています。

なお、平成20年7月に本委員会を設置し、これまでに5回開催し、見直しの検討を行いました。

### 3 受益者負担の適正化の基本的な考え方

使用料・手数料の受益者負担の適正化を実施するにあたっては、これまでも、

- (1) 受益者負担の原則
- (2) 算定方法の明確化
- (3) 減額・免除の見直し

を3つの基本的な考え方に基づき、見直しを行ってきました。

#### (1) 受益者負担の原則

市が行う行政サービスには、「特定の市民が特定のサービスを受けた場合は、その市民（受益者）が経費の一部または全部を負担する」という「受益者負担の原則」が設けられており、このことは、地方自治法（224条～227条）で使用料、手数料、分担金、負担金といった方法で徴収できるものとして定められています。

特定の行政サービスあるいは公共施設を利用した場合に、受益者が特定できるにもかかわらず、無料もしくは著しく低額でサービスを提供している場合は、受益者負担の原則に則して応分の負担を求めることが、公平公正の見地から必要となります。

市民が市の施設を利用しサービスを受ける際、利用する人と利用しない人との「負担の公平性」を考えると、利用する人が応分の負担をすることによって、はじめて利用しない人との負担の公平性が確保されます。このため、市の施設を利用する方やサービスを受ける方に応分の負担をしていただく必要があります。

## (2) 算定方法の明確化

市が受益者に応分の負担を求めるためには、使用料・手数料の積算根拠を明らかにし、市民に分かりやすく説明できるようにする必要があります。

そこで、積算根拠の明確化に向けて、原価のあり方や負担割合などの定め方に係る基本的な考え方についての算定を整理する必要があります。

### ①積算の根拠

#### ◎原価について

使用料等の額を新たに定める場合、又は現行使用料等の額を改定する場合は、行政サービスの提供に要する経費（コスト）を明確にする視点に立ち、使用料等の原価算定を次の方式で行い、料金決定の主要な基礎資料とします。

### 使用料

#### 1時間当りの経費

#### 人件費＋維持管理費＋減価償却費

##### ○人件費（正規職員等）

管理職を除いた一般行政職・非常勤職員などの平均時間単価・  
事務分担割合

##### ○維持管理費

施設維持に要した経費総額（年度単位）・建物総床面積・  
年間開館日数・1日の開館時間

### 手数料

#### 1件当りの経費

#### 人件費＋物件費＋減価償却費

### ◎負担割合について

施設それぞれに設置目的や機能について、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などでサービスの性質に分けることができます。そこで施設をいくつかに分類し、受益者負担割合を設定することで、適正な負担の設定を行います。

このため、その目的、性質、必要度等から総合的に判断して、次の2つの基準で分類します。

#### 基本的サービス

- ・市民の日常生活に必要不可欠なもの
- ・法令等により施設の設置又は事業が義務づけられているもの
- ・事業内容において、一般性、社会的必要性の要素が強いもの

#### 選択的サービス

- ・市民がより快適で潤いのある日常生活を送るためのもの
- ・必ずしも施設の設置または事業を義務づけられていないもの
- ・事業内容において個別性、個人的必要性の要素が強いもの

さらに、そのサービスの採算性の観点から、次の2点の基準で分類します。

#### 採算的サービス

- ・民間においても市場原理に基づいて提供されているサービスで、市（行政）としても同様の内容で行っているサービス

#### 非採算的サービス

- ・市場原理に基づいて提供されにくいサービスで、市（行政）が中心となって提供しているサービス

以上の基準をもとにして、具体的な利用者の受益者負担率を次の表とおりに設定し、使用料金を設定しています。

サービス性質による利用者の受益者負担率

	サービスの性質	受益者負担の考え方	受益者負担率	具体的なサービス
1	基本的サービスで かつ非採算的サービス	全額公費負担とする もの	0%	道路・公園・義務教育 施設・社会福祉施設等
2	基本的サービスで かつ採算的サービス	受益者が折半で負担 するもの	50%	高齢者住宅使用料・歯 科処置料等
3	選択的サービスで かつ非採算的サービス	受益者が折半で負担 するもの	50%	集会室・地域センタ ー・公民館・福社会館 等
4	選択的サービスで かつ採算的サービス	全額受益者負担とす るもの	100%	体育館・プール・テニ スコート・グラウンド 等

## ②使用料・手数料の定義

・使用料…地方自治法第 225 条に定める「行政財産の使用又は公の施設の利用等の対価」として使用者（利用者）が市に支払う料金

・手数料…地方自治法第 227 条に定める、特定の者に提供する役務（サービス）に対してその費用又は報償として使用者（利用者）が市に支払う料金

### (3) 減額・免除の見直し

#### ①減額・免除の現状

現在、各施設の使用料は、資料（13ページ）のとおり使用料のうち一定の料金の減額については行っていませんが、各施設の条例に基づき使用料の全額の免除を行っています。この免除の基準については各施設の施行規則において定めています。

集会室、地域センターの使用料の免除については、条例施行規則で規定された免除基準の「その他市長が特に必要と認めた場合」に基づき行っていますが、さらに、詳細の基準は、要綱で規定しています。

これらの施設の使用料は、資料（16ページ）のとおりこの要綱の基準のうち「団体が地域活動、福祉活動又は文化活動を行うために使用する場合」及び「市内に住所を有する者又は市内に通勤若しくは通学する者で構成する団体が、地域活動、福祉活動、及び文化活動を行う場合」の規定により、全施設使用料の95%以上の免除を行っています。

また、福祉会館、公民館の使用料についても、条例施行規則に定めた基準（社会福祉活動及び社会教育活動を行う場合）で約90%以上免除しています。

なお、手数料については、手数料条例で「国・地方公共団体で公用、生活保護者」、「法令により定めがあるとき」、「市長が特別の理由があると認めるとき」に該当する際は免除ができますが、大半は免除を行っていません。

#### ②減額・免除の見直しの方針

現行の市長等の裁量権による負担額の減額・減免措置については、各種団体活動の支援・促進、あるいは施設利用率の向上について、これまで一定の成果を上げることができました。

しかし、一方では、「受益者負担の原則」に則していない面もあり、また利用者が固定化する傾向などもあり、利用者と非利用者間における不公平感が生

じます。

使用料・手数料の減額・免除については、「受益者負担の原則」の観点から、あくまでも特例的な措置であることを確認し、その適用については、やむを得ないものに限定します。

また、やむを得ず減額・免除を行う場合は、公平性・公正性を確保するため、できるだけ共通の対応となるように基準の統一化を図るものとします。



#### 4 見直し対象となる使用料・手数料

見直しを行う使用料・手数料は平成21年度に予算計上されたもののうち以下のものとしします。

##### (1) 使用料

	使用料名	検討対象	対象としない理由
総務使用料	電柱等用地使用料		小平市行政財産使用料条例に基づく
	東部市民センター集会施設	○	
	地域センター集会施設	○	
	地域センター国際交流協会		小平市行政財産使用料条例に基づく
	小平元気村おがわ東集会施設	○	
	喜平・上宿図書館集会施設	○	
	市民文化会館喫茶室等使用料		小平市行政財産使用料条例に基づく
	市民文化会館使用料		指定管理者制度導入における利用料金制度の検討対象となる
民生使用料	福社会館集会施設	○	
	学童クラブ費		原価計算での料金設定が妥当でない
	高齢者住宅使用料		公営住宅法施行令により算出
衛生使用料	歯科処置料		診療報酬の算定に基づく
土木使用料	電力ケーブル等道路占用料		小平市道路占用料徴収条例に基づく
	自転車駐車場使用料		無料駐車場有料化の中で検討
	公園占用料（電柱等）		小平市行政財産使用料条例に基づく
	用水路占用料		〃
教育使用料	公民館施設使用料	○	
	平櫛田中彫刻美術館観覧料		原価計算での料金設定が妥当でない
	市民総合体育館使用料	○	
	八ヶ岳山荘使用料	○	
	テニスコート使用料	○	
	萩山・東部公園プール使用料	○	
	武道館使用料	○	
	グラウンド使用料	○	
萩山公園卓球室使用料	○		

(2) 手数料

手数料名	検討対象	対象としない理由
住民票写し証明	○	
戸籍附表の写し証明	○	
外国人登録証明	○	
印鑑登録証明・印鑑登録書の再交付	○	
戸籍謄(抄)本		法令等で規定
戸籍記載事項証明		法令等で規定
除籍謄(抄)本、改製原戸籍謄(抄)本		法令等で規定
除籍簿記載事項証明		法令等で規定
届出の受理証明書	○	
臨時運行許可申請審査		法令等で規定
住民基本台帳閲覧	○	
住民基本台帳カード	○	
工場設置認可手数料		法令等で規定
畜犬登録手数料		法令等で規定
畜犬登録手数料(再登録)		法令等で規定
狂犬病予防注射済票交付手数料		法令等で規定
狂犬病予防注射済票再交付手数料		法令等で規定
公道証明	○	
道路区域及び境界確定証明	○	
図書複写手数料	○	
農地転用関係証明	○	
課税(非課税)証明書	○	
固定資産評価額・税額証明	○	
土地台帳・家屋台帳閲覧	○	
公図写しの交付	○	
住宅用家屋証明書	○	
都市計画証明	○	
優良住宅認定		法令等で規定
優良宅地造成認定		法令等で規定
廃棄物等の手数料		市民全体に影響があるため別に検討した方が望ましい

## 5 原価算定に基づく使用料・手数料の検証

原価算定に基づき使用料・手数料の検証を行った結果、原価と現行料金との  
かい離は一定の範囲内でした。

ただし、体育施設の団体利用、プール、グラウンドの利用料金については、  
原価と現行料金とに差が見られます。これらの使用料については、平成15年  
度の見直しの際にも差が見られましたが、近隣市の同じ施設の利用料金よりも  
すでに高額であることから、料金の大幅な増額をしませんでした。

また、手数料のうち、戸籍謄（抄）本など法令で定められている手数料など  
においても、原価と現行料金とに差が生じていますが、原価算定の例外としま  
した。

## 6 検討のまとめ

### (1) 料金について

①使用料・手数料は、原価算定に基づき料金設定を行い、設定した料金を定期的に見直し、原価と料金に一定率以上のかい離が生じた場合は料金の改定を行う必要があります。

また、施設の使用料について、より利用しやすい時間区分に基づく料金設定や支払方法の簡素化などが課題となります。

### (2) 減額・免除について

①使用料の免除基準の規定は、集会施設・地域センターが要綱に基づき、福祉会館・公民館が規則に基づいており、免除基準の規定に統一性がありません。

このため、免除基準の規定の統一を図るために、規則に基づく基準に統一する必要があります。

②使用料の免除率は、集会施設・地域センター・公民館が95%を超え、福祉会館においても90%近くなっていますが、体育施設の使用料の免除はかなり低い割合となっています。

施設使用料は、利用者にとって、また施設を利用していない人にとっても、納得のいく利用形態や費用負担であるべきとの観点から、これまでの免除のあり方を再検証する必要があります。

③現在、障がい者への使用料の減額・免除を行う基準はありませんが、障害者基本法第21条(※)に基づいた減額・免除の基準を規定する必要があります。

### (3) 利用申込方法について

各施設により利用申請書が異なっているため、利用手続きの簡素化に向けて利用申請書の様式を統一することなどが課題となります。

※ 障害者基本法第21条：国及び地方公共団体は、障害者及び障害者を扶養する者の経済的負担の軽減を図り、又は障害者の自立の促進を図るため、税制上の措置、公共的施設の利用料等の減免その他必要な施策を講じなければならない。

## 《資料編》

## 各施設の使用料免除基準

## 1 集会室

・小平市立集会室条例施行規則

第 9 条 条例第 7 条の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 官公署が使用する場合
- (2) その他市長が特に必要と認めた場合

↓

《小平市立集会室の使用手続等に関する要綱》

第 7 規則第 9 条第 2 号の市長が特に必要と認めた場合とは、次に掲げるものとする。

- (1) 小平市補助金等交付規則（昭和 48 年規則第 11 号）第 2 条第 3 項に規定する交付団体又はその構成団体が同条第 2 項に規定する補助事業等のために使用する場合
- (2) 市立学校の P T A その他の団体が使用する場合
- (3) 社会福祉法人小平市社会福祉協議会が補助する団体が使用する場合
- (4) 団体が地域活動、福祉活動又は文化活動を行うために使用する場合 など

## 2 地域センター

・小平市立地域センター条例施行規則

第 5 条 条例第 8 条第 2 号ただし書の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 官公署が利用する場合
- (2) その他市長が特に必要と認めた場合

↓

《小平市立地域センター管理運営要綱》

第 4 規則第 5 条第 2 号の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市の補助金交付団体（小平市補助金等交付規則（昭和 48 年規則第 11 号）第 2 条第 3 項の交付団体をいう。）又はその構成団体が、補助目的にそって使用する場合
- (2) 市立学校 P T A 等が使用する場合
- (3) 社会福祉法人小平市社会福祉協議会が補助する団体が使用する場合
- (4) 市内に住所を有する者又は市内に通勤若しくは通学する者で構成する団体が、地域活動、福祉活動、及び文化活動を行う場合 など

### 3 福社会館

・小平市福社会館条例施行規則

第5条 条例第11条の規定により、使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市から直接指導、育成又は援護を受けている社会福祉団体が福祉活動のために使用する場合
- (2) 官公署が市民の福祉活動のために使用する場合
- (3) 前号以外の社会福祉事業を目的とする団体が福祉活動のため使用する場合
- (4) その他、市長が特に必要と認めた場合



高齢者団体（老人クラブ）など

### 4 公民館

・小平市立公民館条例施行規則

第7条 条例第8条第2項の規定により使用料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市、委員会及び官公署が利用するとき。
- (2) 社会教育関係団体がその目的のために利用するとき。
- (3) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。



減免の実態はなし

### 5 体育館

・小平市民総合体育館条例施行規則

第11条 条例第7条第2項の規定による使用料の減額及び免除は、別表第4に定めるところによる。

別表第4(第11条関係)

主催・主管団体名	市民等を対象にした活動			市民等以外も対象の大会等	会員対象の活動	
	長期教室	短期教室	大会等		大会等	練習
市・委員会	免除	免除	免除	免除	/	/
官公署	免除	免除	免除	2分の1減額	/	/
協会	免除	免除	免除	2分の1減額	免除	免除
連盟	最初の6月間 2分の1減額	免除	免除	2分の1減額	2分の1減額	有料
社会教育関係団体の連合体	最初の2月間 2分の1減額	2分の1減額	2分の1減額	有料	有料	有料

6 体育施設

・小平市立体育施設条例施行規則

第 12 条 条例第 8 条第 2 項の規定による使用料の減額及び免除は、別表第 6 に定めるところによる。

別表第 6(第 12 条関係)

主催・主管団体名	市民等を対象にした活動			市民等以外も対象の大会等	会員対象の活動	
	長期教室	短期教室	大会等		大会等	練習
市・委員会	免除	免除	免除	免除	/	/
官公署	免除	免除	免除	2 分の 1 減額	/	/
協会	免除	免除	免除	2 分の 1 減額	免除	免除
連盟	最初の 6 月間 2 分の 1 減額	免除	免除	2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	有料
社会教育関係団体の 連合体	最初の 2 月間 2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	2 分の 1 減額	有料	有料	有料



## 各施設の使用料免除状況(19年度決算額)

	施設名	使用料収入額 A ※1	免除額 B (免除がない場合 収入となった額)	収入+免除額 C (A+B)	免除額率(使用料)D (B/C)	利用者一人当た りのコスト E ※2	Eのうち 税負担率 F ※3	Eのうち 税負担額 (E・~)
1	集会室 (東部出張所・喜平図書 館・上宿図書館)	67,300円	1,816,494円	1,883,794円	96.4%	570円	99.9%	570円
2	地域センター	1,079,300円	29,435,454円	30,514,754円	96.5%	317円	99.5%	316円
3	福社会館	1,559,300円	12,976,500円	14,535,800円	89.3%	466円	98.1%	457円
4	公民館	1,247,500円	56,373,700円	57,621,200円	97.8%	393円	99.4%	391円
5	体育施設	49,508,030円	4,066,400円	53,574,430円	7.6%	2,579円	72.8%	1,877円
6	総合体育館	52,513,800円	8,644,250円	61,158,050円	14.1%	665円	73.3%	488円
7	八ヶ岳山荘	765,700円	477,000円	1,242,700円	38.4%	3,080円	94.7%	2,916円
	合計	106,740,930円	113,789,798円	220,530,728円	51.6%	-		-

※1 地域センター、福社会館、公民館については、用具等の使用料は除く。

※2 施設維持管理の総コスト／年間利用人数

※3 (施設維持管理の総コストー使用料収入)／施設維持管理の総コスト

## 各施設の使用料一覧

(単位:円)

施設名		原価 1H A	受益者 負担率※ B	原価に基づく使用料			現行使用料		差額		備考
				1H当たり	午前(3H)	午後・夜間(4H)	午前(3H)	午後・夜間(4H)	午前(3H)	午後・夜間(4H)	
				C(A・B)	D(C・3)	E(C・4)	F	G	H(D-F)	I(E-G)	
東部市民センター 喜平・上宿図書館	集会室	580	50%	290	870	1,160	700	900	170	260	
地域センター	第一娯楽室	920	50%	460	1,380	1,840	1,000	1,200	380	640	
	第二娯楽室	590	50%	295	885	1,180	800	1,000	85	180	
	第一集会室	470	50%	235	705	940	800	1,000	-95	-60	
	第二集会室	400	50%	200	600	800	500	700	100	100	
小平元気村おがわ 東	第一会議室	720	50%	360	1,080	1,440	1,200	1,500	-120	-60	
	第二会議室	720	50%	360	1,080	1,440	1,200	1,500	-120	-60	
	多目的ホール	620	50%	310	930	1,240	1,200	1,500	-270	-260	
	屋内広場	1,240	50%	620	1,240	←2時間	1,160	←2時間	80		
	屋外広場	1,020	50%	510	1,020	←2時間	1,160	←2時間	-140		
福祉会館	第一集会室	1,090	50%	545	1,635	2,180	1,500	2,000	135	180	現行使用料は市内居住者用
	第二集会室	830	50%	415	1,245	1,660	1,200	1,500	45	160	〃
	第三集会室	490	50%	245	735	980	700	900	35	80	〃
	第四集会室	470	50%	235	705	940	700	900	5	40	〃
	第五集会室	470	50%	235	705	940	700	900	5	40	〃
	市民ホール	3,300	50%	1,650	4,950	6,600	5,000	7,000	-50	-400	〃
	談話室	510	50%	255	765	1,020	700	900	65	120	〃
	和室ホール	1,970	50%	985	2,955	3,940	3,000	4,000	-45	-60	〃
	小ホール	1,910	50%	955	2,865	3,820	3,000	4,000	-135	-180	〃
公民館	ホール	1,942	50%	971	2,913	3,884	3,000	4,000	-87	-116	
	ギャラリーA室	1,091	50%	546	1,638	2,184	1,600	2,100	38	84	
	ギャラリーB室	1,062	50%	531	1,593	2,124	1,300	1,700	293	424	
	レクリエーションホール	1,507	50%	754	2,262	3,016	2,100	2,900	162	116	
	視聴覚室	1,379	50%	690	2,070	2,760	2,000	2,600	70	160	
	講座室等	1,094	50%	547	1,641	2,188	1,600	2,100	41	88	
	その他の施設	762	50%	381	1,143	1,524	1,200	1,500	-57	24	
	分館ホール	1,024	50%	512	1,536	2,048	1,600	2,100	-64	-52	

※施設の設置目的や機能に基づき、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などで、受益者負担割合を設定しています。

## 各施設の使用料

(単位:円)

施設名		原価 1H A	受益者 負担率※ B	原価に基づく使用料		現行使用料		差額 F(D-E)	備考
				1H当たり	2時間30分	2時間30分			
				C(A・B)	D(C・2.5)	E			
総合体育館	第一体育室(個人)	159	100%	159	398		400	-3	
	第一体育室(団体)	17,180	100%	17,180	42,950		15,000	27,950	
	第二体育室(個人)	154	100%	154	385		400	-15	
	第二体育室(団体)	6,166	100%	6,166	15,415		5,000	10,415	
	第三・四体育室(個人)	179	100%	179	448		400	48	
	第三・四体育室(団体)	3,580	100%	3,580	8,950		2,500	6,450	
	第五体育室(個人)	158	100%	158	395		400	-5	
	第五体育室(団体)	1,575	100%	1,575	3,938		1,000	2,938	
	弓道場(個人)	186	100%	186	465		400	65	
	弓道場(団体)	2,796	100%	2,796	6,990		2,000	4,990	
	幼児体育室(団体)	2,121	100%	2,121	5,303		1,000	4,303	
	第1会議室	351	50%	176	440		500	-60	
	第2会議室	770	50%	385	963		1,000	-38	
	第3会議室	411	50%	206	515		500	15	
	トレーニング室	240	100%	240	300	←1時間15分	200	←1時間15分	100
温水プール(個人)	262	100%	262	262	←1時間	250		12	
温水プール(団体)	13,089	100%	13,089	13,089	←1時間	15,000		-1,911	
八ヶ岳山荘	宿泊(市民・大人)1泊	756	100%	756			700	56	
	宿泊なし(市民・大人)1日	227	100%	227			350	-123	
テニスコート	コート	735	100%	1,470	←2時間		1,500	←2時間	-30
プール	萩山公園プール	151	100%	151	302	←2時間	250	←2時間	52
	東部プール	399	100%	399	798	←2時間	350	←2時間	448
花小金井武道館	個人	171	100%	171	171	←1時間	170	←1時間	1
	団体	2,048	100%	2,048	2,048	←1時間	1500	←1時間	548
グラウンド	大沼グラウンド	1,855	100%	1,855	3,710	←2時間	1,500	←2時間	2,210
	天神グラウンド	1,070	100%	1,070	2,140	←2時間	1,500	←2時間	640
	小川西グラウンド	3,294	100%	3,294	6,588	←2時間	1,700	←2時間	4,888
	萩山公園グラウンド	1,247	100%	1,247	2,494	←2時間	1,500	←2時間	994
	中央公園競技場・グラウンド	1,783	100%	1,783	3,566	←2時間	1,700	←2時間	1,866
萩山公園卓球室		167	100%	167	167	←1時間	200	←1時間	-33

※施設の設置目的や機能に基づき、公共性の強さや日常生活上の必要性、民間での提供の有無などで、受益者負担割合を設定しています。

手数料一覧

(単位:円)

手数料名	原価	現行手数料	差額	備考
住民票写し証明	275	250	25	自動交付機200円
戸籍附表の写し証明	160	250	-90	
外国人登録証明	303	250	53	
印鑑登録証	293	250	43	自動交付機200円
戸籍謄(抄)本	304	450	-146	法令に基づく
戸籍記載事項証明	300	350	-50	法令に基づく
除籍謄(抄)本、改製原戸籍謄(抄)本	495	750	-255	法令に基づく
除籍簿記載事項証明	495	450	45	法令に基づく
届出の受理証明書	170	350	-180	
臨時運行許可申請審査	279	750	-471	
住民基本台帳閲覧	231	300	-69	1人30分
その他証明	259	250	9	
住民基本台帳カード	540	500	40	
狂犬病予防注射済票交付手数料	569	550	19	
狂犬病予防注射済票再交付手数料	344	340	4	
公道証明	497	250	247	
道路区域及び境界確定証明	497	250	247	
図書複写手数料	137	10	127	
農地転用関係証明	207	250	-43	
課税(非課税)証明書	257	250	7	
固定資産評価額・税額証明	258	250	8	
土地台帳・家屋台帳閲覧	211	250	-39	
都市計画証明	280	250	30	

小平市政に関する世論調査報告書（第16回平成20年2月発行）より抜粋

(3) 地域センター等の利用費負担についての意見

◇「利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ」が57.9%

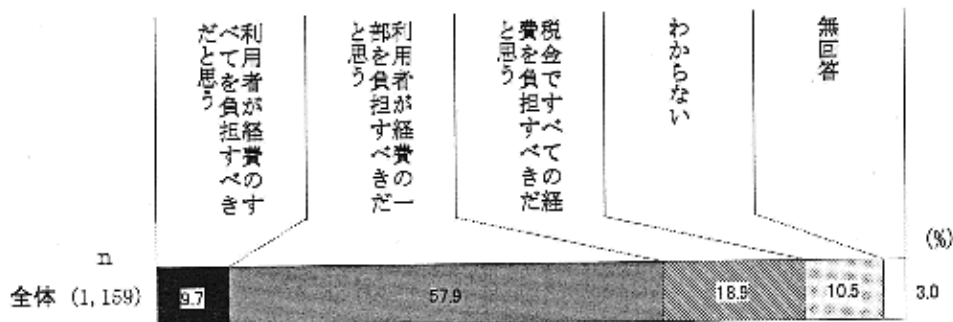
問31 地域センター、公民館などの部屋を利用する場合、利用する人が経費を負担するという考え方について、あなたの意見に最も近いのは次のうちどれですか。（現在はほとんどの利用者が使用料を免除されています）（○は1つ）

[n=1,159]

1 利用者が経費のすべてを負担すべきだと思ふ	9.7%
2 利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ	57.9
3 税金ですべての経費を負担すべきだと思ふ	18.9
4 わからない	10.5
(無回答)	3.0

地域センター等の利用費負担については、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思ふ」が57.9%と突出して多くなっている。その他、「税金ですべての経費を負担すべきだと思ふ」が18.9%、「利用者が経費のすべてを負担すべきだと思ふ」が9.7%である。ただし、「わからない」が10.5%となっている。（図7-27）

<図7-27>地域センター等の利用費負担についての意見

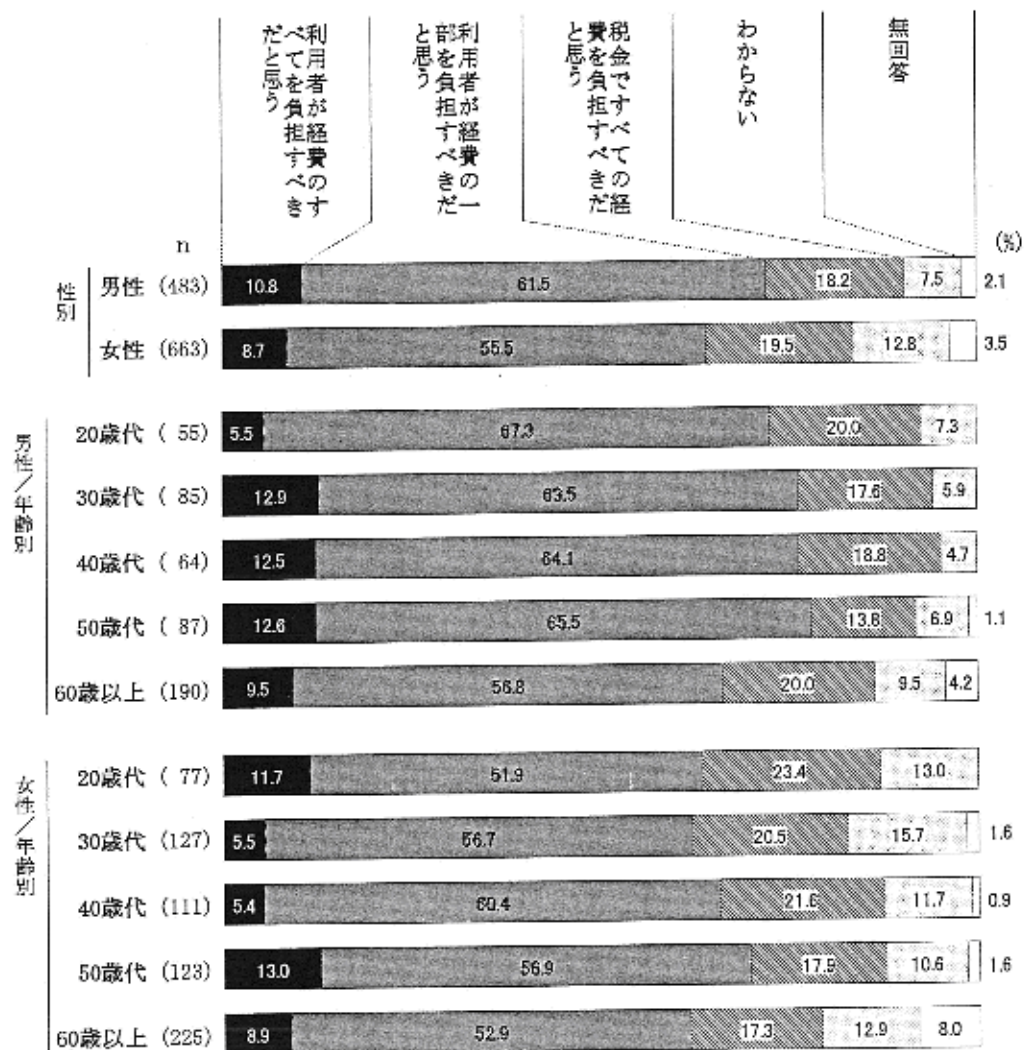


【性別・性／年齢別】

性別では、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」は男性の方が女性よりも6.0ポイント多い。一方で「わからない」は女性の方が5.3ポイント多くなっている。

性／年齢別でみると、「利用者が経費の一部を負担すべきだと思う」は男性の20歳代～50歳代で多く、6割台半ば前後となっている。「税金ですべての経費を負担すべきだと思う」は男性の50歳代で特に少なく、他の世代では2割前後となっている。(図7-28)

<図7-28>性別・性／年齢別



小平市の文化振興の基本方針（平成19年12月発行）より抜粋

4 施設運営の改善と使用料及び使用料減額制度の見直し

現在、小平市が設置した文化施設の運営管理は、直営あるいは指定管理の方法が採られていますが、その経営には、なお改善の余地があり、効率性やサービスの向上をめざすことはもちろんですが、市民によって魅力があり、身近で利用しやすい施設に改善していくことが必要です。

また、文化施設の維持管理には多額な費用を要しており、現在及び将来の小平市の財政状況を勘案すると、受益者負担の原則に基づき、他の施設も含め市全体として、使用料及び使用料減額制度の見直しを検討する必要があります。

## ○小平市使用料・手数料検討委員会開催等日程

平成20年	
7月 1日	小平市使用料・手数料検討委員会設置
8月26日	第1回小平市使用料・手数料検討委員会 ・使用料・手数料の見直しに関する指針（案）について ・各施設の使用料・減免状況について
10月30日	第2回小平市使用料・手数料検討委員会 ・使用料・手数料の見直し（案）について ・（仮称）小平市使用料・手数料市民検討委員会について
12月22日	第3回小平市使用料・手数料検討委員会 ・今後の検討スケジュールについて ・使用料・手数料の原価、減免状況等の公表について ・障害者に対する減免の請願について
3月31日	使用料・手数料の状況を市ホームページで公開、市民の意見聴取
平成21年	
5月28日	第4回小平市使用料・手数料検討委員会 ・検討結果の取りまとめについて
7月 9日	第5回小平市使用料・手数料検討委員会 ・検討結果の取りまとめについて

## ○小平市使用料・手数料検討委員会委員名簿

	職 名
委員長	財務部長
副委員長	財務部財政課長
委員	企画政策部政策課長
委員	企画政策部行政経営課長
委員	財務部税務課長
委員	市民生活部市民課長
委員	市民生活部地域文化課長
委員	次世代育成部児童課長
委員	健康福祉部高齢者福祉課長
委員	環境部ごみ減量対策課長
委員	都市建設部交通対策課長
委員	教育部生涯学習推進課長
委員	教育部体育課長
委員	教育部中央公民館長



# 使用料原価調査票

資料3-2

使用料名	集会室	施設名	東部市民センター・上宿図書館 ・喜平図書館			
課名	地域文化課					
年間開館日数	332 日	ア	1日の開館時間	12 時間	イ	
区分	積算内訳				原価(円)	
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		ウ	4,143 円	
		事務分担割合	0.027 エ	ウ・エ →		111,861円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.063 =	106,407円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	小計					<b>A 218,268円</b>
経理的	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	2,545,609円		⑥保険料	18,750円	
	②消耗品費	202,799円		⑦委託料	12,173,979円	
	③印刷製本費	2,550円		⑧賃借料	5,308,652円	
	④修繕料	50,753円		(内 土地)	0円	
	⑤通信運搬費	131,169円		⑨その他	2,395円	
				合計 オ	20,436,656円	
	総床面積	1,190 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 4.31円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	費(全館の平均)	3 減価償却費	建物部分	償却期間	50 年	キ
			建築費	348,659,550 円	ク	
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 1.47円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
				単位当たりの減価償却費		
				-		
				-		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>		
4 共用部分	貸出面積	54.141 m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	946.381 m <sup>2</sup>	
	共用部分面積	159.319 m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	159.319 m <sup>2</sup>	
按分用データ	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ	→	<b>シ 9.11m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	ケ	+	シ	)	)	+	B	+	C	)	+	D
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
218,268円		54.14m <sup>2</sup>		9.11m <sup>2</sup>				4.310円		1.471円			0.000円
=													
<b>580円</b>													

# 使用料原価調査票

使用料名	第1 娯楽室	施設名	地域センター					
課名	地域文化課							
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間					
			13					
時間			時間 <sup>イ</sup>					
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)					
維持管理的経費 (全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合		
		小 計					A	108,990
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円						
		①光熱水費	1,314,740	円	⑥保険料	6,858	円	
		②消耗品費	148,575	円	⑦委託料	1,833,726	円	
		③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	80,038	円	
		④修繕料	946,336	円	(内 土地)	0	円	
⑤通信運搬費		80,683	円	⑨その他	92,632	円		
合計					オ	4,503,586		
総床面積		592.52	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		B	
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						1,745		
3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年	キ	建築費	183,364,817	円
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						C	1,421
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	-
4 共用部分	貸出面積	95.2	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup>	コ
按分用データ	共用部分按分面積	159.90	m <sup>2</sup>	シ	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup>	サ
ケ/コ・サ →						シ	159.90	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108,990円	95.200m <sup>2</sup>	159.900m <sup>2</sup>	1,745円	1,421円	0.000円
+		( + )	( + )		+
=					
920円					

# 使用料原価調査票

使用料名	第2 娯楽室	施設名	地域センター						
課名	地域文化課								
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間						
			13						
			時間 <sup>イ</sup>						
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)						
維持管理的経費 (全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円				
			事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ →			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.04 =		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=		
		小 計				A	108,990円		
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円							
		①光熱水費	1,314,740	円	⑥保険料	6,858	円		
		②消耗品費	148,575	円	⑦委託料	1,833,726	円		
		③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	80,038	円		
④修繕料		946,336	円	(内 土地)	0	円			
⑤通信運搬費		80,683	円	⑨その他	92,632	円			
				合計	4,503,586	円			
	総床面積	592.52	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	B	1,745円			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積									
3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年 キ	建築費	183,364,817	円 ク		
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					C	1,421		
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
				0	0	-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	-		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	56.2	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup> サ
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →	シ	94.40m <sup>2</sup>			

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108,990円	56.200m <sup>2</sup>	94.400m <sup>2</sup>	1,745円	1,421円	0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
590円					

# 使用料原価調査票

使用料名	第1集会室	施設名	地域センター									
課名	地域文化課											
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間									
			13									
		時間 <sup>イ</sup>										
区分	積算内訳		原価(円)									
維持管理的経費(全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円							
			事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ →						
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=					
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.04 =					
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=					
		小計				<b>A</b>	<b>108.990</b>					
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
		①光熱水費	1,156,597	⑥保険料	5,480	円						
		②消耗品費	135,532	⑦委託料	1,614,609	円						
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	67,180	円						
④修繕料		881,379	(内 土地)	0	円							
⑤通信運搬費		69,950	⑨その他	86,192	円							
			合計	4,016,918	円							
	総床面積	592.52	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B</b>						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>1.557円</b>						
3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年	キ	建築費	155,120,375	円	ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C</b>	<b>1.202円</b>				
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費						
				0	0	-						
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D</b>	-					
4 共用部分	貸出面積	49.5	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup>	サ
按分用データ	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ	→	<b>シ</b>	<b>83.14m<sup>2</sup></b>					

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108.990円	49.500m <sup>2</sup>	83.140m <sup>2</sup>	1.557円	1.202円	0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
<b>470円</b>					

# 使用料原価調査票

使用料名	第2集会室	施設名	地域センター						
課名	地域文化課								
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間						
			13						
			時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳		原価(円)						
維持管理的経費(全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円				
			事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ →			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.04 =		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=		
		小計					A 108,990円		
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
		①光熱水費	992,622	⑥保険料	4,758	円			
		②消耗品費	120,022	⑦委託料	1,419,476	円			
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	57,996	円			
		④修繕料	855,234	(内 土地)	0	円			
		⑤通信運搬費	59,479	⑨その他	81,612	円			
				合計	3,591,199	円			
		総床面積	592.52	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B 1,392円		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	年 キ	建築費	145,548,197	円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						C 1,128円	
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
				0	0	-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D -			
4 共用部分	貸出面積	42.9	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup> サ
按分用データ	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ	→		シ 72.06m <sup>2</sup>			

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 108,990円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 42.900m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 72.060m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 1,392円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 <hr/> 1,128円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 <hr/> 0.000円	=	<b>400円</b>
-----------------------------------	---	--	---	--	---	---	-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	-------------

# 使用料原価調査票

使用料名	集会室（第1・2会議室）	施設名	小平元気村おがわ東										
課名	地域文化課												
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13								
				時間 <sup>イ</sup>									
区 分	積 算 内 訳				原価（円）								
維 持 管 理 的 経 費	1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円								
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →							
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=							
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.04 =							
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=							
	小 計				<b>A 108,990円</b>								
	2	維持管理費 施設維持に要した経費総額（人件費を除く） 円											
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円								
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円								
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円								
④修繕料		3,530,939	(内 土地)	0円									
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円									
				合計 オ	25,459,677円								
総床面積		4,540 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →									
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 1,288円</b>								
3	減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	年 <sup>キ</sup>	建築費	877,670,000	円 <sup>ク</sup>			
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 0.888円</b>			
	備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費（国・都補助金は除く）		単位当たりの減価償却費					
								-					
								-					
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>					
4	共用部分 按分用データ	貸出面積	118.8	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	1181	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	1,605	m <sup>2</sup>	サ
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ								<b>シ 161.450m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>		<b>ケ</b>		<b>シ</b>		<b>B</b>		<b>C</b>		<b>D</b>
人件費	+	貸出面積	+	共用部分按分面積	)	維持管理費	+	建物部分減価償却費	)	備品部分減価償却費
108,990円		118.800m <sup>2</sup>		161.450m <sup>2</sup>	)	1,288円		0.888円		0.000円
					)	)				)
=										720円

# 使用料原価調査票

使用料名	多目的ホール	施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課					
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13	
				時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)	
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円	
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
	小計				<b>A 108,990円</b>	
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円	
④修繕料		3,530,939	(内 土地)	0円		
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円		
				合計 オ	25,459,677円	
総床面積		4,540	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 1,288円</b>	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	
		年 キ	建築費	877,670,000円 ク		
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.888円</b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	100	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1181	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		共用部分面積	1,605	
					<b>シ 135.902m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
+	(	+)	・	(	+)
108.990円	100.000m <sup>2</sup>	135.902m <sup>2</sup>	1.288円	0.888円	0.000円
=					
<b>620円</b>					

# 使用料原価調査票

使用料名	屋内広場	施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課					
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13	
					時間 <sup>イ</sup>	
区分	積算内訳				原価(円)	
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円	
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
	小計				A 108,990円	
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円	
④修繕料		3,530,939	(内 土地)	0円		
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円		
				合計 オ	25,459,677円	
総床面積		4,540	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					B 0.429	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	
		年 キ	建築費	131,950,000円 ク		
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					C 0.133m <sup>2</sup>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					D -	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	843	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	239.99	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		共用部分面積	331	
					シ 1,162.721円	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108,990円	843.000m <sup>2</sup>	1,162.721m <sup>2</sup>	0.429円	0.133円	0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
1,240円					



# 使用料原価調査票

使用料名	屋外運動場	施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課					
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13	
				時間 <sup>イ</sup>		
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)	
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円	
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=
	小 計				A 108,990円	
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円	
④修繕料		3,530,939	(内 土地)	0円		
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円		
				合計 オ	25,459,677円	
総床面積		4,540 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					B 0.129円	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50 年	
		建築費				0 円
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					C 0.000円
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
						-
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					D -	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	7,103 m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	239.99 m <sup>2</sup>	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>			ケ/コ・サ	→	シ 0.000m <sup>2</sup>

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 108,990円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 7,103.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 0.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 0.129円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 0.000円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 0.000円	=	<b>1,020円</b>
-----------------------------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---	-------------------------------------	---	---	-------------------------------------	---	---------------

# 使用料原価調査票

使用料名	第1集会室	施設名	小平市福祉会館			
課名	高齢者福祉課					
年間開館日数	342	日	ア	1日の開館時間	13	
				時間	イ	
区分	積算内訳				原価(円)	
1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	ウ	
		事務分担割合	0	エ	ウ・エ →	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	
	小計				A 205.150円	
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
	①光熱水費	15,135,716		⑥保険料	96,051	
	②消耗品費	693,843		⑦委託料	32,087,001	
	③印刷製本費	0		⑧賃借料	4,442,088	
	④修繕料	3,480,852		(内 土地)	4,222,332	
	⑤通信運搬費	630,480		⑨その他	4,710,614	
				合計	61,276,645	
	総床面積	4,267	㎡	カ	オ・カ・ア・イ →	B 3.230円
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50
				年	キ	
		建築費	322,000,000		円	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				C 0.339円
備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
		0	0	0	-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				D -	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	109.3	㎡	ケ	総貸出面積	
				1817.2	㎡	
	共用部分按分面積	2,300	㎡	コ	共用部分面積	
				ケ/コ・サ →	シ 138.339㎡	

◎使用料の原価

A 人件費 205.150円	+	ケ 貸出面積 109.300㎡	+	シ 共用部分按分面積 138.339㎡	)	•	(	B 維持管理費 3.230円	+	C 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	D 備品部分減価償却費 0.000円	)	=	1.090円
----------------------	---	-----------------------	---	---------------------------	---	---	---	----------------------	---	--------------------------	---	---	--------------------------	---	---	--------

# 使用料原価調査票

使用料名	第2集会室	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 205.150円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
	合計		オ	61,276,645円			
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>		
経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度		
			償却期間	50	年 キ		
			建築費	322,000,000円 ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>	
経費	備品部分	設備名		取得年度	償却期間		
				0	0		
				設備費(国・都補助金は除く)	0		
				単位当たりの減価償却費	-		
		78		<b>D -</b>			
4 共用部分		貸出面積	76.8	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
按分用データ		共用部分按分面積	m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		共用部分面積		
				2,300	m <sup>2</sup> サ		
					<b>シ 97.204m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 76.800m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 97.204m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 <hr/> 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 0.000円
= <span style="border: 2px solid black; padding: 10px 20px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">830円</span>												

# 使用料原価調査票

使用料名	第3集会室	施設名	小平市福祉会館							
課名	高齢者福祉課									
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13					
時間					時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円					
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →				
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=			
小計					<b>A 205.150円</b>					
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円						
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円						
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円						
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円						
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円						
			合計	61,276,645円						
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>					
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000	円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 0.339円</b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
				0	0	0	-			
		78								<b>D -</b>
4 共用部分	貸出面積	35.3	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	
	按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup> ケ/コ・サ		→			<b>シ 44.679m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">人件費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">205.150円</td></tr> </table>	A	人件費	205.150円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">ケ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">貸出面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">35.300m<sup>2</sup></td></tr> </table>	ケ	貸出面積	35.300m <sup>2</sup>	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">シ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">共用部分按分面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">44.679m<sup>2</sup></td></tr> </table>	シ	共用部分按分面積	44.679m <sup>2</sup>	)	•	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">B</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">維持管理費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3.230円</td></tr> </table>	B	維持管理費	3.230円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">C</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">建物部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.339円</td></tr> </table>	C	建物部分減価償却費	0.339円	)	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">D</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">備品部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.000円</td></tr> </table>	D	備品部分減価償却費	0.000円	+	=	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">490円</div>
A																																	
人件費																																	
205.150円																																	
ケ																																	
貸出面積																																	
35.300m <sup>2</sup>																																	
シ																																	
共用部分按分面積																																	
44.679m <sup>2</sup>																																	
B																																	
維持管理費																																	
3.230円																																	
C																																	
建物部分減価償却費																																	
0.339円																																	
D																																	
備品部分減価償却費																																	
0.000円																																	

# 使用料原価調査票

使用料名	第4集会室	施設名	小平市福祉会館							
課名	高齢者福祉課									
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13					
時間					イ					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円					
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →				
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=			
小計					<b>A 205.150円</b>					
維持管理費	2 維持管理費									
	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円									
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円						
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円						
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円						
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円						
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円						
合計 オ					61,276,645円					
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>					
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000	円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								
	<b>C 0.339円</b>									
	備品部分	設備名	取得年度	0	償却期間	0	設備費(国・都補助金は除く)	0	単位当たりの減価償却費	
<b>D -</b>										
4 共用部分		貸出面積	32.9	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ
按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>			ケ/コ・サ →			<b>シ 41.641m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 32.900m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 41.641m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 <hr/> 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 <hr/> 0.000円	+	=  <b>470円</b>
-----------------------------------	---	--	---	--	---	---	-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	----------------------

# 使用料原価調査票

使用料名	第5集会室	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 205.150円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
	合計		オ	61,276,645円			
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>		
経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度		
			償却期間	50	年 キ		
			建築費	322,000,000円 ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>	
			備品部分	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
			0	0	0		
			0	0	0		
			0	0	0		
78					<b>D -</b>		
4 共用部分		貸出面積	33	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
			2,300	m <sup>2</sup> サ			
共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →					<b>シ 41.768m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	×	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
205.150円		33.000m <sup>2</sup>		41.768m <sup>2</sup>				3.230円		0.339円			0.000円
=													
<div style="border: 2px solid black; display: inline-block; padding: 10px 20px;"><b>470円</b></div>													

# 使用料原価調査票

使用料名	市民ホール	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 ア	1日の開館時間	13	時間 イ		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.15 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.15 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					A 615.450円		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
	総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	B 3円	
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							
経費	3 減価償却費		建築物部分	建築年度	昭和46年度		
			償却期間	50	年 キ		
			建築費	322,000,000	円 ク		
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ			C 0.339円	
			備品部分	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
		音響装置一式	S56	10	365,000		
		〃	H1	10	600,490		
		〃	H8	10	527,360		
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ			D 30.220円		
4 共用部分		貸出面積	327.6	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
			2,300	m <sup>2</sup> サ	シ		
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ / コ・サ →			414.638m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

A 人件費 615.450円	+	ケ 貸出面積 327.600m <sup>2</sup>	+	シ 共用部分按分面積 414.638m <sup>2</sup>	)	•	(	B 維持管理費 3.230円	+	C 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	D 備品部分減価償却費 30.220円
=													
<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px 20px;">3.300円</div>													

# 使用料原価調査票

使用料名	談話室	施設名	小平市福祉会館								
課名	高齢者福祉課										
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)						
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円						
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =				
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=				
小計					<b>A 205.150円</b>						
維持管理費	2 維持管理費										
	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円										
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円							
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円							
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円							
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円							
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円							
合計 オ					61,276,645円						
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →							
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>						
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000	円 ク	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ									
	備品部分	設備名		取得年度	0	償却期間	0	設備費(国・都補助金は除く)	0	単位当たりの減価償却費	-
78									<b>D -</b>		
4 共用部分		貸出面積	37.3	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	
按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ		→		<b>シ 47.210m<sup>2</sup></b>			

◎使用料の原価

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">人件費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">205.150円</td></tr> </table>	A	人件費	205.150円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">ケ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">貸出面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">37.300m<sup>2</sup></td></tr> </table>	ケ	貸出面積	37.300m <sup>2</sup>	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">シ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">共用部分按分面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">47.210m<sup>2</sup></td></tr> </table>	シ	共用部分按分面積	47.210m <sup>2</sup>	)	•	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">B</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">維持管理費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3.230円</td></tr> </table>	B	維持管理費	3.230円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">C</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">建物部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.339円</td></tr> </table>	C	建物部分減価償却費	0.339円	)	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">D</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">備品部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.000円</td></tr> </table>	D	備品部分減価償却費	0.000円	+	=	<div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">510円</div>
A																																	
人件費																																	
205.150円																																	
ケ																																	
貸出面積																																	
37.300m <sup>2</sup>																																	
シ																																	
共用部分按分面積																																	
47.210m <sup>2</sup>																																	
B																																	
維持管理費																																	
3.230円																																	
C																																	
建物部分減価償却費																																	
0.339円																																	
D																																	
備品部分減価償却費																																	
0.000円																																	



# 使用料原価調査票

使用料名	和室ホール	施設名	小平市福祉会館								
課名	高齢者福祉課										
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)						
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円						
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.1 =				
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.1 =				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=				
小計					<b>A 410.300円</b>						
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円							
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円							
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円							
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円							
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円							
			合計	61,276,645円							
	総床面積	4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 3.230円</b>						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積										
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度					
		償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000円 ク					
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>						
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費					
		音響装置一式	H5	10	258,118	5.225					
		〃	H8	10	182,722	3.699					
		〃	H4	10	1,050,600	21.267					
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D 30.191円</b>						
4 共用部分		貸出面積	188.6	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		<b>シ 238.708m<sup>2</sup></b>				

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 410.300円	+	( <b>ケ</b> 貸出面積 188.600m <sup>2</sup>	+	( <b>シ</b> 共用部分按分面積 238.708m <sup>2</sup>	)	•	( <b>B</b> 維持管理費 3.230円	+	( <b>C</b> 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	( <b>D</b> 備品部分減価償却費 30.191円
<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px 20px; margin: 0 auto;"> <b>1.970円</b> </div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	小ホール	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.1 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.1 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 410.300円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
	合計		オ	61,276,645円			
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>		
経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度		
			償却期間	50	年 キ		
			建築費	322,000,000円 ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>	
			備品部分	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
		音響装置一式	H19	10	816,900		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D 16.536円</b>		
4 共用部分		貸出面積	183.7	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
		共用部分按分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	シ		
共用部分按分データ 共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →					<b>シ 232.506m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 410.300円	+	( <b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 183.700m <sup>2</sup> + <b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 232.506m <sup>2</sup> )	)	•	( <b>B</b> 維持管理費 <hr/> 3.230円                 + <b>C</b> 建物部分減価償却費 <hr/> 0.339円             )             + <b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 16.536円	+	=  <b>1.910円</b>
-----------------------------------	---	---	---	---	--	---	------------------------

# 使用料原価調査票

使用料名	ホール	施設名	中央公民館				
課名	公民館						
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間		13 時間 イ			
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200 ウ			
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)			
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 エ			
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ →		82.860円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4	= 675.600円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円	
	小 計				<b>A 758.460円</b>		
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
	①光熱水費	9,717,438	⑥保険料	24,495			
	②消耗品費	2,373,763	⑦委託料	33,741,141			
	③印刷製本費	28,290	⑧賃借料	1,235,550			
	④修繕料	1,413,630	(内 土地)				
	⑤通信運搬費	487,724	⑨その他				
			合計 カ	49,022,031			
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B 3.043</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和59年度	償却期間	50 年 ク	
建築費			458,000,000 円 ケ				
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.569</b>		
駐車場		建築年度	平成12年度	償却期間	10 年 コ	建築費	17,850,000 円 サ
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・償却期間・ア・イ					<b>シ 441.504</b>
備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
					-		
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	231 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	1,651 m <sup>2</sup> ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →					<b>タ 222</b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 231.000\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 222.121\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 59.399\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791\text{円} \end{array} = \boxed{\text{1,942円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	ギャラリーA	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.4 =	675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	小 計				<b>A 758.460円</b>	
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	9,717,438円		⑥保険料	24,495円	
	②消耗品費	2,373,763円		⑦委託料	33,741,141円	
	③印刷製本費	28,290円		⑧賃借料	1,235,550円	
	④修繕料	1,413,630円		(内 土地)		
	⑤通信運搬費	487,724円		⑨その他		
				合計 カ	49,022,031円	
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup>	キ	カ・キ・ア・イ →	<b>B 3.043円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	的 経 費	3 減価償却費	建物部分	建築年度 昭和59年度	償却期間 50 年	建築費 458,000,000 円
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ		<b>C 0.569円</b>	
駐車場			建築年度 平成12年度	償却期間 10 年	建築費 17,850,000 円	
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・償却期間・ア・イ		<b>シ 441.504円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
						-
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	84.5 m <sup>2</sup>	ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> ゼ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/ゼ・ソ	→	<b>タ 81.252m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 84.500\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分面積} \\ \hline 81.252\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/ゼ・シ} \\ \text{駐車場分減価償却費} \\ \hline 21.728\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \end{array} = \boxed{\text{1,091円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	ギャラリーB	施設名	中央公民館				
課名	公民館						
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間		13 時間 イ			
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200 ウ			
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)			
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 エ			
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ →		82.860円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4	= 675.600円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円	
	小 計				A 758.460円		
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
	①光熱水費	9,717,438円	⑥保険料	24,495円			
	②消耗品費	2,373,763円	⑦委託料	33,741,141円			
	③印刷製本費	28,290円	⑧賃借料	1,235,550円			
	④修繕料	1,413,630円	(内 土地)				
	⑤通信運搬費	487,724円	⑨その他				
			合計 カ	49,022,031円			
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		B		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					3.043円	
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和59年度	償却期間	50年 ク	
建築費			458,000,000 円 ケ				
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					C 0.569円		
駐車場		建築年度	平成12年度	償却期間	10年 コ	建築費	17,850,000 円 サ
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ					シ 441.504円
備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
					-		
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					D -	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	79.5 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	1,651 m <sup>2</sup> ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →					タ 76.444m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 79.500\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 76.444\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 20.442\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \end{array} = \boxed{1.062\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	レクリエーションホール	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間				ウ 3200	
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)	
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		エ 4,143 円		
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ →	82.860 円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000 円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.4 =	675.600 円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000 円
	小 計				<b>A 758.460 円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
	①光熱水費	9,717,438 円	⑥保険料	24,495 円		
	②消耗品費	2,373,763 円	⑦委託料	33,741,141 円		
	③印刷製本費	28,290 円	⑧賃借料	1,235,550 円		
	④修繕料	1,413,630 円	(内 土地)			
	⑤通信運搬費	487,724 円	⑨その他			
			合計 カ	49,022,031 円		
		総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →	<b>B 3.043 円</b>	
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和 59 年度	償却期間	50 年 ク
建築費			458,000,000 円 ケ			
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 0.569 円</b>		
駐車場		建築年度	平成 12 年度	償却期間	10 年 コ	
		建築費	17,850,000 円 サ			
※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ				<b>シ 441.504 円</b>		
備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
					-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	156 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/セ・ソ →	<b>タ 150.003 m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460 \text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 156.000 \text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 150.003 \text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043 \text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569 \text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000 \text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 40.113 \text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \text{円} \end{array} = \boxed{1,507 \text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	視聴覚室	施設名	中央公民館							
課名	公民館									
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ					
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200	ウ					
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)						
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ					
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860 円				
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000 円				
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4 =	675.600 円				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000 円				
小 計				<b>A</b>	<b>758.460 円</b>					
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円									
	①光熱水費	9,717,438 円		⑥保険料	24,495 円					
	②消耗品費	2,373,763 円		⑦委託料	33,741,141 円					
	③印刷製本費	28,290 円		⑧賃借料	1,235,550 円					
	④修繕料	1,413,630 円		(内 土地)						
	⑤通信運搬費	487,724 円		⑨その他						
					合計 カ	49,022,031 円				
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup>	キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B</b>				
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>3.043 円</b>				
	的 経 費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和 59 年度	償却期間	50 年	ク	建築費	458,000,000 円
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ							<b>C</b>	<b>0.569 円</b>		
駐車場			建築年度	平成 12 年度	償却期間	10 年	コ	建築費	17,850,000 円	サ
※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ							<b>シ</b>	<b>441.504 円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
							-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ							<b>D</b>	<b>-</b>		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	134 m <sup>2</sup>	ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup>	セ	共用部分面積	1,651 m <sup>2</sup>	ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/セ・ソ →		<b>タ</b>	<b>128.849 m<sup>2</sup></b>				

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460 \text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 134.000 \text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 128.849 \text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043 \text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569 \text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000 \text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 34.456 \text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \text{円} \end{array} = \boxed{1,379 \text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	講座室	施設名	公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間				ウ 3,612	
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)	
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費			エ 4,143 円	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ → 82.860円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	= 0.000円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.5 = 844.500円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	0 = 0.000円	
小 計					<b>A 927.360円</b>	
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	2,556,079円	⑥保険料	8,144円		
	②消耗品費	649,210円	⑦委託料	7,257,346円		
	③印刷製本費	9,093円	⑧賃借料	473,107円		
	④修繕料	447,579円	(内 土地)	0円		
	⑤通信運搬費	135,609円	⑨その他	0円		
				合計 カ	11,536,167円	
	総床面積	1,227 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →			<b>B 2,325円</b>
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	減価償却費	建物部分	建築年度	償却期間	50 年 ク	建築費 141,369,672 円 ケ
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 0.570円</b>		
駐車場		建築年度	償却期間	10 年 コ	建築費 17,850,000 円 サ	
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ				<b>シ 441.504円</b>
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>	
共用部分 按分用データ	貸出面積	48.7525 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	594.492 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積 504.098 m <sup>2</sup> ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →				<b>タ 41.340m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 927.360\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 48.753\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 41.340\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 2.325\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.570\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 36.206\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.893 \end{array} = \boxed{1,094\text{円}}$$



# 使用料原価調査票

使用料名	その他施設	施設名	公民館	
課名	公民館			
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間	13 時間 イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間		3,449 ウ	
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)	
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費	4,143 円	
		事務分担割合	0.02 オ	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	
	小 計		<b>A 589,560円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円		
		①光熱水費	5,229,390円	
		②消耗品費	1,291,129円	
		③印刷製本費	14,952円	
		④修繕料	801,741円	
		⑤通信運搬費	273,795円	
		⑥保険料	14,566円	
		⑦委託料	17,396,448円	
		⑧賃借料	766,470円	
		⑨その他	0円	
	合計 カ		25,788,491円	
	総床面積	2,365 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ → <b>B 2,697円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積			
3 減価償却費	建物部分	建築年度	平成16年度	
		償却期間	50 年 ク	
		建築費	240,979,167 円 ケ	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ		<b>C 0.504円</b>
	駐車場	建築年度		
	償却期間	10 年 コ		
	建築費	13,387,500 円 サ		
	※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償還期間・コ・ア・イ		<b>シ 331.128円</b>	
	備品部分	設備名	取得年度	
		償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	
			単位当たりの減価償却費	
			-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ		<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	47.775 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	
	共用部分按分面積	42.523 m <sup>2</sup> タ	共用部分面積	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →		<b>タ 42.523m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 589,560\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 47.775\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 42.523\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 2,697\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.504\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 14.695\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.853 \end{array} = \boxed{762\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	分館ホール	施設名	公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間		13 時間 イ		
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3,702 ウ		
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 エ		
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ → 82.860円		
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4	= 675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円
	小 計				<b>A 758.460円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円			
	①光熱水費	1,109,270円	⑥保険料	4,545円		
	②消耗品費	253,898円	⑦委託料	1,746,500円		
	③印刷製本費	5,393円	⑧賃借料	304,390円		
	④修繕料	293,266円	(内 土地)	0円		
	⑤通信運搬費	57,931円	⑨その他	0円		
			合計 カ	3,775,193円		
	総床面積	594.89 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B 1.570円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	償却期間 50 年 ク	建築費	69,365,834 円 ケ
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ			<b>C 0.577円</b>	
駐車場		建築年度	償却期間 10 年 コ	建築費	0 円 サ	
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償還期間・コ・ア・イ			<b>シ 0.000円</b>	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	96.6 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	340.889 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積 250.333 m <sup>2</sup> ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/セ・ソ →		<b>タ 70.939m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ 96.600\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ 70.939\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ 1.570\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.577\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array} \\
 + \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ 0.916 \end{array} = \boxed{1.024\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	第一体育室		施設名	小平市民総合体育館						
課名	体育課		担当者名							
年間開館日数	343	日	1日の開館時間		12.5 時間					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円					
		事務分担割合	0.2	エ	ウ・エ →					
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・	事務分担割合					
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・	事務分担割合					
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・	事務分担割合					
	小計				<b>A 1,402.860円</b>					
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	43,417,908円		⑥保険料	107,535円					
	②消耗品費	2,697,663円		⑦委託料	101,695,018円					
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	5,585,790円					
	④修繕料	3,723,204円 (内 土地)		⑨その他	2,878,063円					
	⑤通信運搬費	327,603円		合計	160,432,784円					
		総床面積	8,176	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →					
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
		<b>B 4,576円</b>								
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年	建築費	1,824,100,000	円
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C 1,107円</b>		
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
							-			
							-			
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D -</b>		
経費	4 共用部分	貸出面積	1,644	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup> サ
	按分用データ	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ	シ		<b>1,131.927m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 1,402.860円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 1,644.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 1,131.927m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 4,576円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 1,107円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 0.000円
-------------------------------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---	---------------------------------	---	---	---------------------------------

**E** = 団体利用 17,180円

定員 108人 **F**

個人利用 159円

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	第二体育室	施設名	小平市民総合体育館					
課名	体育課							
年間開館日数	343 日 ア	1日の開館時間		12.5 時間 イ				
区分	積算内訳			原価(円)				
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円 ウ			
		事務分担割合		0.1 エ	ウ・エ → 414,300円			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	= 0.000円		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.11 = 185,790円		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	= 0.000円		
小計				A 600,090円				
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
	①光熱水費	43,417,908円		⑥保険料	107,535円			
	②消耗品費	2,697,663円		⑦委託料	101,695,018円			
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	5,585,790円			
	④修繕料	3,723,204円 (内 土地)		⑨その他	2,878,063円			
	⑤通信運搬費	327,603円		合計 オ	160,432,784円			
	総床面積	8,176 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B 4,576円			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 キ	建築費	1,824,100,000 円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費	
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						
4 共用部分	貸出面積	580 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4,386 m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup> サ		
	按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		シ 399.342m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

A 人件費 600,090円	+	ケ 貸出面積 580,000m <sup>2</sup>	+	シ 共用部分按分面積 399,342m <sup>2</sup>	)	•	B 維持管理費 4,576円	+	C 建物部分減価償却費 1,107円	)	+	D 備品部分減価償却費 0,000円
----------------------	---	------------------------------------	---	--	---	---	----------------------	---	--------------------------	---	---	--------------------------

E = 団体利用 6,166円

定員 40人 F

個人利用 154円

E/F

# 使用料原価調査票

使用料名	第三・四体育室	施設名	小平市民総合体育館								
課名	体育課										
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12.5						
					時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)						
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>						
		事務分担割合	0.1	エ	ウ・エ →	414,300円					
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000円				
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	=	0.17	287,130円			
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000円				
	小計				<b>A</b> 701,430円						
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
	①光熱水費	43,417,908円		⑥保険料	107,535円						
	②消耗品費	2,697,663円		⑦委託料	101,695,018円						
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	5,585,790円						
	④修繕料	3,723,204円 (内 土地)		⑨その他	2,878,063円						
	⑤通信運搬費	327,603円		合計 <sup>オ</sup>	160,432,784円						
	総床面積	8,176	㎡ <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>					
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					4,576円					
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000	円 <sup>ク</sup>
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C</b> 1,107円
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費				
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D</b> -			
経費	4 共用部分		貸出面積	300	㎡ <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4,386	㎡ <sup>コ</sup>	共用部分面積	3,020	㎡ <sup>サ</sup>
	按分用データ		共用部分按分面積		㎡	ケ/コ・サ →		<b>シ</b> 206.556㎡			

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	×	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
701.430円		300.000㎡		206.556㎡				4.576円		1.107円			0.000円

**E** = 団体利用 **3,580円**

定員 20人 **F**

個人利用 **179円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	第五体育室	施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課									
年間開館日数	343	日 ア	1日の開館時間	12.5	時間 イ					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 ウ					
		事務分担割合	0.1	エ	ウ・エ →	414,300円				
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	0.000				
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.17				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	0.000				
	小計				<b>A 701,430円</b>					
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	43,417,908	円	⑥保険料	107,535					
	②消耗品費	2,697,663	円	⑦委託料	101,695,018					
	③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	5,585,790					
	④修繕料	3,723,204	円	(内 土地)	5,034,612					
	⑤通信運搬費	327,603	円	⑨その他	2,878,063					
				合計 オ	160,432,784					
	総床面積	8,176	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 4,576円</b>					
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積									
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 キ	建築費	1,824,100,000
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 1,107円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
		-					-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>		
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	91	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup> サ
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →								<b>シ 62.655m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	×	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
701.430円		91.000m <sup>2</sup>		62.655m <sup>2</sup>				4.576円		1.107円			0.000円

**E** = 団体利用 **1,575円**

定員 10人 **F**

個人利用 **158円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	弓道場	施設名	小平市民総合体育館			
課名	体育課					
年間開館日数	343	日 ア	1日の開館時間		12.5 時間 イ	
区分	積算内訳				原価(円)	
1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 ウ	
		事務分担割合	0.1	エ	ウ・エ →	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	
	小計				<b>A</b> 701.430円	
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
	①光熱水費	43,417,908		⑥保険料	107,535	
	②消耗品費	2,697,663		⑦委託料	101,695,018	
	③印刷製本費	0		⑧賃借料	5,585,790	
	④修繕料	3,723,204		(内 土地)	5,034,612	
	⑤通信運搬費	327,603		⑨その他	2,878,063	
				合計 オ	160,432,784	
	総床面積	8,176	㎡ カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					4.576
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 キ
		建築費	1,824,100,000		円 ク	
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C</b> 1.107	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D</b> 2.182	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	218	㎡ ケ	総貸出面積	4,386 ㎡ コ	
	共用部分按分面積	ケ/コ・サ →		共用部分面積	3,020 ㎡ サ	
					<b>シ</b> 150.097㎡	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	×	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
701.430円		218.000㎡		150.097㎡				4.576円		1.107円			2.182円

**E** = 団体利用 **2.796円**

定員 15人 **F**

個人利用 **186円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	幼児体育室					施設名	小平市民総合体育館								
課名	体育課														
年間開館日数	343	日	ア	1日の開館時間	9	時間	イ	1時間当り定員 (利用可能人員)	30	人	①				
区分	積算内訳									原価(円)					
維持 管理 的 経 費	1	職員分	1時間当たりの人件費							4,143	円	ウ			
			事務分担割合		0.1			エ	ウ・エ →		414.300		円		
			再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合		=	0.000		円		
			嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合	0.14	=	236.460		円		
			臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合		=	0.000		円		
小計										<b>A</b>	650.760	円			
維持 管理 的 経 費	2	維持管理費													
		①光熱水費	43,417,908					円	⑥保険料	107,535			円		
		②消耗品費	2,697,663					円	⑦委託料	101,695,018			円		
		③印刷製本費	0					円	⑧賃借料	5,585,790			円		
		④修繕料	3,723,204					円	(内 土地)	5,034,612			円		
		⑤通信運搬費	327,603					円	⑨その他	2,878,063			円		
		合計							オ	160,432,784			円		
		総床面積	8,176	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →			<b>B</b>						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積											<b>6.356</b>	円			
維持 管理 的 経 費	3	減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年	キ	建築費	1,824,100,000	円	ク		
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ										<b>C</b>	1.538	円
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費								
			※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ										<b>D</b>	3.980	円
維持 管理 的 経 費	4	共用部分		貸出面積	110	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup>	サ
		按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →										<b>シ</b>	75.737

◎使用料の原価

$$\begin{array}{c}
 \boxed{\text{A}} \\
 \text{人件費} \\
 \hline
 650.760 \text{円}
 \end{array}
 +
 \left(
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{ケ}} \\
 \text{貸出面積} \\
 \hline
 110.000 \text{m}^2
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{シ}} \\
 \text{共用部分按分面積} \\
 \hline
 75.737 \text{m}^2
 \end{array}
 \right)
 \cdot
 \left(
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{B}} \\
 \text{維持管理費} \\
 \hline
 6.356 \text{円}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{C}} \\
 \text{建物部分減価償却費} \\
 \hline
 1.538 \text{円}
 \end{array}
 \right)
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{D}} \\
 \text{備品部分減価償却費} \\
 \hline
 3.980 \text{円}
 \end{array}
 = \text{団体利用} \quad \boxed{\text{2.121円}}$$



# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 1	施設名	小平市民総合体育館				
課名	体育課						
年間開館日数	343	日 ア	1 日の開館時間	12	時間 イ		
区分	積算内訳			原価 (円)			
維持管理費	1 人件費	職員分		1 時間当たりの人件費	4,143 円		
		事務分担割合		0 エ	ウ・エ →	0.000 円	
		再任用職員		1 時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	0.000 円
		嘱託職員		1 時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.03 円
		臨時職員		1 時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	0.000 円
小 計					<b>A 50.670 円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535			
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018			
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790			
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612			
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063			
			合計 オ	160,432,784			
	総床面積	8,176 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B 4.767</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	59	
		償却期間	47	年 キ			
		建築費	1,824,100,000 円 ク				
					<b>C 1.153</b>		
		備品部分	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)		
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ			<b>D -</b>		
4 共用部分		貸出面積	30 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4386 m <sup>2</sup> コ		
按分用データ		共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →	<b>シ 20.656m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
50.670 円		30.000 m <sup>2</sup>		20.656 m <sup>2</sup>				4.767 円		1.153 円			0.000 円
=													
<b>351 円</b>													

# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 2	施設名	小平市民総合体育館					
課名	体育課							
年間開館日数	343	日 ア	1 日の開館時間	12	時間 イ			
区分	積算内訳				原価 (円)			
維持管理費	1 人件費	職員分		1 時間当たりの人件費	4,143 円			
		事務分担割合		0 エ	ウ・エ →			
		再任用職員		1 時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合 =		
		嘱託職員		1 時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合 = 0.03		
		臨時職員		1 時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合 =		
小 計					<b>A 50.670円</b>			
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円							
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535				
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018				
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790				
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612				
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063				
					合計 オ	160,432,784		
総床面積		8,176 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B 4.767</b>			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 キ	建築費	1,824,100,000 円 ク
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>
4 共用部分	貸出面積	72 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4386 m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup> サ		
	按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →				<b>シ 49.573m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 50.670円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 72.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 49.573m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 4.767円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 1.153円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 0.000円
<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 1.5em; margin-right: 5px;">=</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">770円</span> </div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 3	施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課									
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12					
					時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価 (円)					
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円					
		事務分担割合		0 <sup>エ</sup>	ウ・エ →					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合 =				
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合 = 0.03				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合 =				
小 計					<b>A 50.670円</b>					
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円							
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535						
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018						
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790						
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612						
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063						
			合計 <sup>オ</sup>	160,432,784						
	総床面積	8,176	㎡ <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 4.767</b>				
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000
<b>C 1.153</b>										
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
						-				
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								
4 共用部分	貸出面積	36	㎡ <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4386	㎡ <sup>コ</sup>	共用部分面積	3,020	㎡ <sup>サ</sup>	
	按分用データ		共用部分按分面積 <sup>ケ</sup>		共用部分按分面積 <sup>コ</sup>		共用部分按分面積 <sup>サ</sup>		<b>シ 24.787㎡</b>	

◎使用料の原価

$$\begin{array}{c} \mathbf{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 50.670\text{円} \end{array} + \left( \begin{array}{c} \mathbf{ケ} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 36.000\text{㎡} \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{シ} \\ \text{共用部分按分面積} \\ \hline 24.787\text{㎡} \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{c} \mathbf{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 4.767\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{C} \\ \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 1.153\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{c} \mathbf{D} \\ \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array} = \boxed{\mathbf{411\text{円}}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	トレーニング室	施設名	小平市民総合体育館				
課名	体育課						
年間開館日数	343 日	1日の開館時間	12 時間	1時間当たり定員(利用可能人員)	30 人 <sup>①</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円		
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	0.7	
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.34	
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合		
		小計				<b>A 3,474,360円</b>	
経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
		①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535		
		②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018		
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790		
		④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612		
		⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063		
						合計	160,432,784
		総床面積	8,176 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ	<b>B 4.767</b>	
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
		3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年
建築費	1,824,100,000 円						
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 1.153</b>			
備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D 173.917</b>		
4 共用部分	貸出面積	355 m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	4,386 m <sup>2</sup>		
	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup>		
按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>			<b>シ 244.425m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
3,474,360円		355.000m <sup>2</sup>		244.425m <sup>2</sup>				4.767円		1.153円			173.917円

**E =**

**7.197円**

① 定員 **F 30 人**

個人  
利用

**240円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	温水プール			施設名	小平市民総合体育館								
課名	体育課												
年間開館日数	343	日	ア	1日の開館時間	11.5	時間	イ						
区分	積算内訳					原価(円)							
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円						
		事務分担割合		1.0	エ	ウ・エ →		4,143.000円					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合	=	0.000円			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合	1.23	=	2,077.470円		
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合	=	0.000円			
		小計				<b>A</b>	<b>6,220.470円</b>						
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535									
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018									
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790									
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612									
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063									
					合計		160,432,784	オ					
総床面積	8,176	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>	<b>4.974</b>						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積													
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年	キ	建築費	1,824,100,000	円	ク	
				※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C</b>	<b>1.203</b>			
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費					
								<b>D</b>	<b>88.664</b>				
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ													
経費	4 共用部分	貸出面積	650	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup>	サ
		按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		<b>シ</b>	<b>447.538m<sup>2</sup></b>			

◎使用料の原価

<b>A</b>		ケ		シ		B		C		D
人件費	+	貸出面積	+	共用部分按分面積	)	維持管理費	+	建物部分減価償却費	)	備品部分減価償却費
6,220.470円		650.000m <sup>2</sup>		447.538m <sup>2</sup>		4.974円		1.203円		88.664円

**E** = 団体利用 **13,089**

定員 50人 **F**

個人利用 **262円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	八ヶ岳山荘				施設名	八ヶ岳山荘					
課名	体育課										
年間開館日数	191	日 ア	1日の開館時間	24	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	72	人 ①			
区分	積算内訳						原価(円)				
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円				
		再任用職員		1時間当たりの人件費		2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000	
		嘱託職員		1時間当たりの人件費		1,689	円	・ 事務分担割合	=	0.000	
		臨時職員		1時間当たりの人件費		800	円	・ 事務分担割合	=	0.000	
		小計						A		414.300	
維持管理的経費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	2,157,931	円	⑥保険料	4,404	円					
	②消耗品費	817,712	円	⑦委託料	4,104,280	円					
	③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	1,224,728	円					
	④修繕料	375,585	円	(内 土地)	1,168,308	円					
	⑤通信運搬費	77,658	円	⑨その他	2,087,215	円					
				合計 オ	10,849,513	円					
	総床面積	1,108	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B		2.136	円		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積										
	維持管理的経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和44年	償却期間	47年	建築費	43,270,000	円 ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								C	0.181	円	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費					
湯沸器			11	10	614,250	12.060					
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								D	12.060	円	
4 共用部分 按分用データ		貸出面積	747	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1,108	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	361	m <sup>2</sup> サ	
共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →								シ	243.382	m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \frac{\text{A}}{\text{人件費}} \right) + \left( \frac{\text{ケ}}{\text{貸出面積}} + \frac{\text{シ}}{\text{共用部分按分面積}} \right) \cdot \left( \frac{\text{B}}{\text{維持管理費}} + \frac{\text{C}}{\text{建物部分減価償却費}} \right) \\
 & + \left( \frac{\text{D}}{\text{備品部分減価償却費}} \right) \cdot \left( \frac{\text{①}}{\text{1時間当たり定員}} \right) = \text{E} = \boxed{\text{38円}} \\
 & \text{宿泊} \quad \text{E} \cdot \text{20時間} = \boxed{\text{756円}} \\
 & \text{宿泊なし} \quad \text{E} \cdot \text{6時間} = \boxed{\text{227円}}
 \end{aligned}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	テニスコート	施設名	テニスコート（上水・天神・中央）							
課名	体育課									
年間開館日数	345	日 ア	1日の開館時間	12	時間 イ					
区分	積算内訳			原価（円）						
維持費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143	円				
		事務分担割合		0.4	エ	ウ・エ →	1,657.200円			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000円		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	3.0	=	5,067.000円	
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000円		
小計					<b>A</b>	<b>6,724.200円</b>				
管理的経費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額（人件費を除く）			円				
	①光熱水費	1,506,546円	⑥保険料	2,118円						
	②消耗品費	340,610円	⑦委託料	7,886,863円						
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	14,910円						
	④修繕料	1,748,375円	(内 土地)	0円						
	⑤通信運搬費	41,277円	⑨その他	108,150円						
			合計 オ	<b>11,648,849円</b>						
	総床面積	10,180	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>				
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>0.276円</b>				
	費（3施設の平均）	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和44年	償却期間	30	年 キ	建築費
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C</b>	<b>0.000円</b>				
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費（国・都補助金は除く）	単位当たりの減価償却費				
AED（自動体外式除細動器）		17	5	252,000	10.957					
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D</b>	<b>10.957円</b>				
4 共用部分		コート面数	13	面 ケ	総貸出面積	10,180	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	0.000	m <sup>2</sup> サ
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		<b>シ</b>	<b>0.000m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A/ケ</b> 人件費 517.246円	+	<b>コ/ケ</b> 貸出面積 783.077m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 0.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 0.276円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.000円	)	+	<b>D/ケ</b> 備品部分減価償却費 0.843円
=												
<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px 20px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">735円</div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園プール			施設名	萩山公園プール						
課名	体育課										
年間開館日数	51	日 ア	1日の開館時間	7.5	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	55 人 ①				
区分	積算内訳					原価(円)					
維持管理費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	ウ	994.320				
			事務分担割合	0.24	エ	ウ・エ →					
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・		事務分担割合	=	0.000	
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・		事務分担割合	0.2	=	337.800
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・		事務分担割合	=	0.000	
	小計						A	1,332.120			
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円									
		①光熱水費	10,091,681			⑥保険料	0				
		②消耗品費	222,251			⑦委託料	11,388,301				
		③印刷製本費	0			⑧賃借料	0				
④修繕料		2,300,240			(内 土地)	0					
⑤通信運搬費		0			⑨その他	997,920					
				合計 オ	25,000,393						
総床面積		3,822	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			B				
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							1.710				
3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和43年	償却期間	30	年 キ	建築費	円 ク			
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ							C	0.000	
	備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
		プール用タンカ		15	10	111,300	26.188				
		プール用タンカ		15	10	111,300	26.188				
		硬貨計数器		16	10	157,500	37.059				
プールフロア@152,250・5台		19	5	761,250	358.235						
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ							D	447.670			
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	3,822	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	3,822	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	m <sup>2</sup> サ			
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →			シ	0.000m <sup>2</sup>			

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \frac{\text{A}}{\text{人件費}} \right) + \left( \frac{\text{ケ}}{\text{貸出面積}} + \frac{\text{シ}}{\text{共用部分按分面積}} \right) \cdot \left( \frac{\text{B}}{\text{維持管理費}} + \frac{\text{C}}{\text{建物部分減価償却費}} \right) \\
 & + \left( \frac{\text{D}}{\text{備品部分減価償却費}} \right) \cdot \left( \frac{\text{①}}{\text{1時間当たり定員}} \right) = \boxed{151\text{円}}
 \end{aligned}$$



# 使用料原価調査票

使用料名	東部公園プール			施設名	東部公園プール				
課名	体育課								
年間開館日数	51	日 ア	1日の開館時間	8	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	159 人 ①		
区分	積算内訳					原価(円)			
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円		
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	=	
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	
		小計						A	994,320
経費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円						
	①光熱水費	9,467,693	⑥保険料			5,773			
	②消耗品費	946,294	⑦委託料			24,202,766			
	③印刷製本費	0	⑧賃借料			110,741			
	④修繕料	5,209,789	(内 土地)						
	⑤通信運搬費	46,166	⑨その他			13,167,157			
					合計 オ	53,156,379			
	総床面積		8,922	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B		
			※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				1,460		
	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和60年	償却期間	30年 キ	建築費	598,800,000 円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				C	5,483		
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
			監視台	10	10	748,965	165.213		
			自動券売機	17	5	640,500	282.574		
			AED(自動体外式除細動器)	17	5	252,000	111.176		
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				D	558.963		
4 共用部分		貸出面積	8,922	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	8,922	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	m <sup>2</sup> サ
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		シ	0.000m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{A} \\ \hline \text{人件費} \\ \hline 994.320\text{円} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{ケ} \\ \hline \text{貸出面積} \\ \hline 8,922.000\text{m}^2 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{シ} \\ \hline \text{共用部分按分面積} \\ \hline 0.000\text{m}^2 \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{B} \\ \hline \text{維持管理費} \\ \hline 1.460\text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{C} \\ \hline \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 5.483\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \\
 & + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{D} \\ \hline \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 558.963\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{1時間当たり定員} \\ \hline 159\text{人} \\ \hline \end{array} \right) = \boxed{\text{399円}}
 \end{aligned}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	花小金井武道館	施設名	花小金井武道館						
課名	体育課								
年間開館日数	345	日 <sup>ア</sup>	1 日の開館時間		12				
					時間 <sup>イ</sup>				
区分	積算内訳				原価 (円)				
1 人件費	職員分	1 時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>				
		事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ →				
	再任用職員	1 時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000	円	
	嘱託職員	1 時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.85	=	1,435.650	円
	臨時職員	1 時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000	円	
	小 計				<b>A</b> 1,477.080				
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円								
	①光熱水費	1,786,745		円	⑥保険料	23,298	円		
	②消耗品費	264,227		円	⑦委託料	2,762,579		円	
	③印刷製本費	93,450		円	⑧賃借料	14,910		円	
	④修繕料	235,725		円	(内 土地)				
	⑤通信運搬費	57,642		円	⑨その他	168,210		円	
					合計 <sup>オ</sup>	5,406,786		円	
	総床面積	810	m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>			オ・カ・ア・イ →	<b>B</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					1.613	円		
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和50年	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	85,346,768
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C</b>	0.542	円		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
		AED (自動体外式除細動器)	17	5	252,000	10.957			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D</b>	10.957	円		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	180.427	m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	562	m <sup>2</sup> <sup>コ</sup>	共用部分面積	248	m <sup>2</sup> <sup>サ</sup>
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		<b>シ</b>	79.529	m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
1,477.080円	180.427m <sup>2</sup>	79.529m <sup>2</sup>	1.613円	0.542円	10.957円

= 団体利用 2,048円

定員 12人 **F**

個人利用 171円

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	大沼グラウンド			施設名	大沼グラウンド								
課名	体育課												
年間開館日数	358	日	ア	1日の開館時間		8	時間						
区分	積算内訳					原価(円)							
維持管理的経費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円	745.740円						
			事務分担割合	0.18	エ	ウ・エ →							
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・		事務分担割合	=	0.000	円		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・		事務分担割合	=	0.000	円		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・		事務分担割合	=	0.000	円		
	小計					<b>A</b>	<b>745.740円</b>						
維持管理的経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円											
		①光熱水費	23,795	円	⑥保険料	0		円					
		②消耗品費	48,192	円	⑦委託料	747,180		円					
		③印刷製本費	0		円	⑧賃借料	22,324,000		円				
		④修繕料	525,000	円	(内 土地)	22,324,000		円					
		⑤通信運搬費	0		円	⑨その他	0		円				
					合計	23,668,167		円					
		総床面積	5,450	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>					
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						0.152	円				
		維持管理的経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和55年	償却期間	30	年	キ	建築費	24,350,000	円
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C</b>	0.052	円					
備品部分	設備名			取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費						
							-						
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D</b>	-					
維持管理的経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	5,119	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	5,119	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	330	m <sup>2</sup>	サ
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		<b>シ</b>	<b>330.000</b>	m <sup>2</sup>					

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
745.740円		5,119.000m <sup>2</sup>		330.000m <sup>2</sup>				0.152円		0.052円			0.000円
=													
<b>1.855円</b>													

# 使用料原価調査票

使用料名	天神グラウンド			施設名	天神グラウンド									
課名	体育課													
年間開館日数	358	日	ア	1日の開館時間		10	時間							
区分	積算内訳					原価(円)								
維持管理費	1	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円	745.740円							
			事務分担割合	0.18	エ	ウ・エ →								
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・		事務分担割合	=	0.000				
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・		事務分担割合	=	0.000				
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・		事務分担割合	=	0.000				
	小計					A	745.740円							
維持管理費	2	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円												
		①光熱水費	62,885	円	⑥保険料	0		円						
		②消耗品費	44,707	円	⑦委託料	619,856		円						
		③印刷製本費	0		円	⑧賃借料	0		円					
		④修繕料	305,917	円	(内 土地)	0		円						
		⑤通信運搬費	0		円	⑨その他	0		円					
					合計	オ		1,033,365						
		総床面積	8,693	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		B						
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						0.003						
		経費	3	減価償却費	建物部分	建築年度	昭和56	年	償却期間	30	年	キ	建築費	31,100,000
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ											C	0.033		
備品部分	設備名			取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費							
	格納庫			11	10	215,250	5.411							
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	5.411						
共用部分	4	貸出面積	7440.25	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	7440.25	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	1,253	m <sup>2</sup>	サ	
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		シ	1,252.680							

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 745.740円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 7,440.250m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 1,252.680m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 0.003円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 <hr/> 0.033円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 5.411円
= <span style="border: 2px solid black; padding: 10px 20px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">1.070円</span>												

# 使用料原価調査票

使用料名		小川西グラウンド			施設名		小川西グラウンド														
課名		体育課			担当者名		電話番号														
年間開館日数		345		日	ア		1日の開館時間		12	時間	イ										
区分		積算内訳						原価(円)													
維持管理的経費	1	人件費	職員分		1時間当たりの人件費			4,143		ウ	円										
			再任用職員		1時間当たりの人件費			2,414		円	・ 事務分担割合										
			嘱託職員		1時間当たりの人件費			1,689		円	・ 事務分担割合										
			臨時職員		1時間当たりの人件費			800		円	・ 事務分担割合										
			小計									A 830.190円									
維持管理的経費	2	維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円																	
		①光熱水費		4,703,229円			⑥保険料		0円												
		②消耗品費		181,391円			⑦委託料		4,237,787円												
		③印刷製本費		0円			⑧賃借料		0円												
		④修繕料		247,275円			(内 土地)		0円												
		⑤通信運搬費		0円			⑨その他		19,162円												
							合計		オ 9,388,844円												
		総床面積		8,662		m <sup>2</sup>	カ		オ・カ・ア・イ →			B									
				※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							0.026円										
		維持管理的経費	3	減価償却費		建物部分		建築年度		平成14年度		償却期間		30		年	キ	建築費		277,859,925	
						※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ							C 0.258円								
				備品部分		設備名		取得年度		償却期間		設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費							
														-							
						※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ							D -								
維持管理的経費	4	共用部分		貸出面積		8662		m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積		8662		m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積		m <sup>2</sup>		サ	
		按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ		→		シ 0.000m <sup>2</sup>									

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 830.190円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 8,662.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 0.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 0.026円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.258円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 0.000円	=	<b>3.294円</b>
-----------------------------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---	---------------------------------	---	---	---------------------------------	---	---------------

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園グラウンド			施設名	萩山公園グラウンド									
課名	体育課													
年間開館日数	345	日	ア	1日の開館時間		10	時間							
区分	積算内訳					原価(円)								
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円							
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合						
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合						
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合						
		小計						A	1,167,990円					
維持管理的経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円												
		①光熱水費	453,308円		⑥保険料	12,302円								
		②消耗品費	86,715円		⑦委託料	1,323,000円								
		③印刷製本費	0円		⑧賃借料	0円								
		④修繕料	821,698円		(内 土地)	0円								
⑤通信運搬費	0円		⑨その他	28,538円										
				合計	2,725,561円									
		総床面積	11,029	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ	B							
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					0.007円							
維持管理的経費	3 減価償却費	建物部分		建築年度	昭和43年	償却期間	30年	キ	建築費		円	ク		
				※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ									C	0.000円
		備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費						
				-										
				-										
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ									D	-		
維持管理的経費	4 共用部分	貸出面積	9508	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	9508	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	1,521	m <sup>2</sup>	サ	
		按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ				シ	1,521.000m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
1,167,990円		9,508.000m <sup>2</sup>		1,521.000m <sup>2</sup>				0.007円		0.000円			0.000円
=													
<div style="border: 3px double black; padding: 5px; display: inline-block;">1,247円</div>													

# 使用料原価調査票

使用料名	中央公園競技場・グラウンド	施設名	中央公園競技場・グラウンド	
課名	体育課			
年間開館日数	345	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間 <span style="float: right;">時間 <sup>イ</sup></span>	
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)	
維 持 管 理 的 経 費	1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ウ 円</span>	
		再任用職員	1時間当たりの人件費 <b>2,414</b> 円 ・ 事務分担割合 <b>0.18</b> エ <span style="float: right;">ウ・エ →</span>	
		嘱託職員	1時間当たりの人件費 <b>1,689</b> 円 ・ 事務分担割合 <b>0.15</b> =	
		臨時職員	1時間当たりの人件費 <b>800</b> 円 ・ 事務分担割合 =	
		小 計		<b>A 999.090円</b>
2	維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円			
	①光熱水費	0円	⑥保険料 <span style="float: right;">0円</span>	
	②消耗品費	200,130円	⑦委託料 <span style="float: right;">5,831,452円</span>	
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料 <span style="float: right;">0円</span>	
	④修繕料	541,884円 (内 土地)	⑨その他 <span style="float: right;">81,900円</span>	
	⑤通信運搬費	0円	合計 オ <span style="float: right;">6,655,366円</span>	
	総床面積	18,564 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ → <span style="float: right;">B</span>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積			0.009円
	3	減価償却費	建物部分	建築年度 <b>昭和57年</b> 償却期間 <b>30</b> 年 キ 建築費 <b>76,231,068</b> 円 ク
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ	
備品部分		設備名	取得年度 償却期間 設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
		物置	16 10 425,250	9.245
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ			<b>D 9.245</b>	
4	共用部分 按分用データ	貸出面積 <b>18564</b> m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積 <b>18564</b> m <sup>2</sup> コ 共用部分面積 <span style="float: right;">m<sup>2</sup> サ</span>	
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		<b>シ 0.000m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 999.090円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 18,564.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分 面積 0.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 0.009円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 0.033円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 9.245円
<div style="border: 3px double black; width: 150px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">1.783円</span> </div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園卓球室				施設名	萩山公園卓球室							
課名	体育課												
年間開館日数	274	日 ア	1日の開館時間	8	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	16	人 ①					
区分	積算内訳						原価(円)						
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		ウ	4,143	円					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合	=	0.000			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合	0.4	=	675.600		
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合	=	0.000			
		小計							<b>A</b>	1,669.920			
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
	①	光熱水費	1,465,992		円	⑥	保険料	5,082		円			
	②	消耗品費	63,442		円	⑦	委託料	1,208,708		円			
	③	印刷製本費	0		円	⑧	賃借料	14,910		円			
	④	修繕料	615,195		円	(内 土地)	0		円				
	⑤	通信運搬費	34,542		円	⑨	その他	0		円			
							合計 オ	3,407,871					
	総床面積		776	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →			<b>B</b>	2,003	円		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積												
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年	償却期間	47	年 キ	建築費	円 ク		
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C</b>	0.000						
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費							
		更衣箱	16	10	266,700	10.950							
		更衣箱	17	10	266,700	10.950							
		AED(自動体外式除細動器)	17	5	252,000	20.693							
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D</b>	42.593						
4 共用部分 按分用データ		貸出面積	295	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	776	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	481	m <sup>2</sup>	サ
共用部分按分面積 m <sup>2</sup> シ						ケ/コ・サ →			182.854				

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{A} \\ \hline \text{人件費} \\ \hline 1,669.920\text{円} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{ケ} \\ \hline \text{貸出面積} \\ \hline 295.000\text{m}^2 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{シ} \\ \hline \text{共用部分按分面積} \\ \hline 182.854\text{m}^2 \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{B} \\ \hline \text{維持管理費} \\ \hline 2,003\text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{C} \\ \hline \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \\
 & + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{D} \\ \hline \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 42.593\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \cdot \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{1時間当たり定員} \\ \hline 16\text{人} \\ \hline \end{array} = \boxed{167\text{円}}
 \end{aligned}$$



# 使用料原価調査票

資料3-2

使用料名	集会室	施設名	東部市民センター・上宿図書館 ・喜平図書館			
課名	地域文化課					
年間開館日数	332	日 ア	1日の開館時間	12	時間 イ	
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)	
維持 管理 的 経 費 (全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		ウ	
				4,143	円	
		再任用職員	事務分担割合	0.027	エ	ウ・エ →
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合
	小 計					<b>A 218,268円</b>
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	2,545,609円		⑥保険料	18,750円	
	②消耗品費	202,799円		⑦委託料	12,173,979円	
	③印刷製本費	2,550円		⑧賃借料	5,308,652円	
	④修繕料	50,753円		(内 土地)	0円	
	⑤通信運搬費	131,169円		⑨その他	2,395円	
				合計 オ	20,436,656円	
	総床面積	1,190	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B 4.31円</b>
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年 キ	建築費
					348,659,550 円 ク	
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 1.47円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	
					単位当たりの減価償却費	
					-	
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	54.141	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	946.381 m <sup>2</sup> コ	
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	共用部分面積	159.319 m <sup>2</sup> サ	
			ケ/コ・サ →	<b>シ 9.11m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

$$\begin{array}{c} \mathbf{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 218,268\text{円} \end{array} + \left( \begin{array}{c} \mathbf{ケ} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 54.14\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{シ} \\ \text{共用部分按分面積} \\ \hline 9.11\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{c} \mathbf{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 4.310\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{C} \\ \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 1.471\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{c} \mathbf{D} \\ \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array} = \boxed{580\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	第1 娯楽室	施設名	地域センター						
課名	地域文化課								
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13				
				時間 <sup>イ</sup>					
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)				
維持管理的経費 (全館の平均)	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円				
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →			
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=		
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.04 =		
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=		
	小 計				<b>A 108,990円</b>				
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円							
		①光熱水費	1,314,740円	⑥保険料	6,858円				
		②消耗品費	148,575円	⑦委託料	1,833,726円				
		③印刷製本費	0円	⑧賃借料	80,038円				
④修繕料		946,336円	(内 土地)	0円					
⑤通信運搬費		80,683円	⑨その他	92,632円					
				合計 オ	4,503,586円				
総床面積		592.52 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →					
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 1,745円</b>				
3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年 キ	建築費	183,364,817 円 ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 1,421</b>			
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
				0	0	-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>				
4 共用部分	貸出面積	95.2 m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	3,846 m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	6,460 m <sup>2</sup>	サ
按分用データ	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		<b>シ 159.90m<sup>2</sup></b>				

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108,990円	95.200m <sup>2</sup>	159.900m <sup>2</sup>	1,745円	1,421円	0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
<b>920円</b>					

# 使用料原価調査票

使用料名	第2 娯楽室	施設名	地域センター	
課名	地域文化課			
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間 <span style="float: right;">13</span> 時間 <sup>イ</sup>	
区分	積算内訳		原価(円)	
維持管理的経費(全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">4,143</span> 円	
		再任用職員	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">2,414</span> 円 ・ 事務分担割合 <span style="float: right;">0.01</span> エ	
		嘱託職員	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">1,689</span> 円 ・ 事務分担割合 <span style="float: right;">0.04</span> =	
		臨時職員	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">800</span> 円 ・ 事務分担割合 =	
		小計		A <span style="float: right;">108,990</span> 円
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円		
		①光熱水費	1,314,740	⑥保険料 <span style="float: right;">6,858</span> 円
		②消耗品費	148,575	⑦委託料 <span style="float: right;">1,833,726</span> 円
		③印刷製本費	0	⑧賃借料 <span style="float: right;">80,038</span> 円
		④修繕料	946,336	(内 土地) <span style="float: right;">0</span> 円
		⑤通信運搬費	80,683	⑨その他 <span style="float: right;">92,632</span> 円
				合計 オ <span style="float: right;">4,503,586</span> 円
	総床面積 <span style="float: right;">592.52</span> m <sup>2</sup> カ		オ・カ・ア・イ → B <span style="float: right;">1,745</span> 円	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積			
	3 減価償却費	建物部分	償却期間 <span style="float: right;">50</span> 年 キ	建築費 <span style="float: right;">183,364,817</span> 円 ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ		C <span style="float: right;">1,421</span> 円		
備品部分		取得年度	償却期間 <span style="float: right;">0</span> 年	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ		D <span style="float: right;">-</span> 円		
4 共用部分	貸出面積 <span style="float: right;">56.2</span> m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積 <span style="float: right;">3,846</span> m <sup>2</sup> コ	共用部分面積 <span style="float: right;">6,460</span> m <sup>2</sup> サ	
按分用データ	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		シ <span style="float: right;">94.40</span> m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 108.990円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 56.200m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 94.400m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 1.745円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 <hr/> 1.421円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 0.000円	)	=	<b>590</b> 円
-----------------------------------	---	--	---	--	---	---	-----------------------------------	---	---------------------------------------	---	---	---------------------------------------	---	---	--------------

# 使用料原価調査票

使用料名	第1集会室	施設名	地域センター									
課名	地域文化課											
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間									
			13									
			時間 <sup>イ</sup>									
区分	積算内訳		原価(円)									
維持管理的経費(全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円							
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合						
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合						
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合						
		小計					A	108.990				
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
		①光熱水費	1,156,597	⑥保険料	5,480	円						
		②消耗品費	135,532	⑦委託料	1,614,609	円						
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	67,180	円						
		④修繕料	881,379	(内 土地)	0	円						
⑤通信運搬費		69,950	⑨その他	86,192	円							
		合計	4,016,918	円								
	総床面積	592.52	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ	B						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					1.557	円					
3 減価償却費	建物部分	償却期間	50	年	キ	建築費	155,120,375	円	ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ							C	1.202	円		
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費						
				0	0	-						
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ							D	-				
4 共用部分	貸出面積	49.5	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup>	サ
	按分用データ		共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ					シ	83.14	m <sup>2</sup>

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費 108.990円	貸出面積 49.500m <sup>2</sup>	共用部分按分面積 83.140m <sup>2</sup>	維持管理費 1.557円	建物部分減価償却費 1.202円	備品部分減価償却費 0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
470円					

# 使用料原価調査票

使用料名	第2集会室	施設名	地域センター					
課名	地域文化課							
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間					
			13					
			時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳		原価(円)					
維持管理的経費(全館の平均)	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	円			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合		
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合		
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合		
		小計					A	108,990
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円						
		①光熱水費	992,622	⑥保険料	4,758	円		
		②消耗品費	120,022	⑦委託料	1,419,476	円		
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	57,996	円		
		④修繕料	855,234	(内 土地)	0	円		
⑤通信運搬費		59,479	⑨その他	81,612	円			
		合計		3,591,199	円			
総床面積		592.52	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						B	1,392	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	年	キ	
		建築費	145,548,197	円	ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						C	1,128
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
			0	0	-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	-	
4 共用部分	貸出面積	42.9	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	3,846	m <sup>2</sup>	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ	→	共用部分面積	6,460	m <sup>2</sup>	
共用部分按分面積						シ	72.06	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108,990円	42,900m <sup>2</sup>	72,060m <sup>2</sup>	1,392円	1,128円	0,000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
400円					

# 使用料原価調査票

使用料名	集会室（第1・2会議室）	施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課					
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13	
				時間 <sup>イ</sup>		
区 分	積 算 内 訳				原価（円）	
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円	
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
	小 計				<b>A 108,990円</b>	
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額（人件費を除く） 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円	
④修繕料		3,530,939	(内 土地)		0円	
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円		
				合計 オ	25,459,677円	
総床面積		4,540	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 1,288円</b>	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	
		年 <sup>キ</sup>	年	建築費	877,670,000	
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 0.888円</b>	
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費（国・都補助金は除く）	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	118.8	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1181	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		共用部分面積	1,605	
					<b>シ 161.450m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費 <b>108,990円</b>	貸出面積 <b>118.800m<sup>2</sup></b>	共用部分按分面積 <b>161.450m<sup>2</sup></b>	維持管理費 <b>1,288円</b>	建物部分減価償却費 <b>0.888円</b>	備品部分減価償却費 <b>0.000円</b>
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
<b>720円</b>					

# 使用料原価調査票

使用料名	多目的ホール	施設名	小平元気村おがわ東				
課名	地域文化課						
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理的経費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円		
		事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ →		
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=
	小計					A 108,990円	
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285	円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390	円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0	円	
	④修繕料	3,530,939	(内 土地)	0	円		
	⑤通信運搬費	62,590	⑨その他	0	円		
			合計	25,459,677	円		
	総床面積	4,540	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	B 1,288円		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	年 キ	
		建築費	877,670,000		円 ク		
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					C 0.888円	
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
						-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					D -		
4 共用部分	貸出面積	100	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1181	m <sup>2</sup> コ	
按分用データ	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ	共用部分面積	1,605	m <sup>2</sup> サ	
					シ 135.902m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 108.990円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 100.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 135.902m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 1.288円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 <hr/> 0.888円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 <hr/> 0.000円	)	=	620円
-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	------

# 使用料原価調査票

使用料名	屋内広場	施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課					
年間開館日数	335	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13	
					時間 <sup>イ</sup>	
区 分	積 算 内 訳				原価 (円)	
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円	
		事務分担割合		0.01	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.04 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=
	小 計					<b>A 108,990円</b>
	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円	
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円	
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円	
④修繕料		3,530,939	(内 土地)	0円		
⑤通信運搬費		62,590	⑨その他	0円		
			合計 オ	25,459,677円		
総床面積	4,540	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B 0.429</b>	
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
3 減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	
		年 キ	建築費	131,950,000 円 ク		
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.133m<sup>2</sup></b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
						-
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	843	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	239.99	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →		共用部分面積	331	
					<b>シ 1,162.721円</b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
108.990円	843.000m <sup>2</sup>	1,162.721m <sup>2</sup>	0.429円	0.133円	0.000円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
<b>1,240円</b>					



# 使用料原価調査票

使用料名	屋外運動場		施設名	小平元気村おがわ東			
課名	地域文化課						
年間開館日数	335	日	ア	1日の開館時間		13	
						時間 イ	
区 分	積 算 内 訳					原価 (円)	
維 持 管 理 的 経 費	1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円	
			事務分担割合	0.01	エ	ウ・エ	→
		再任用職員	1時間当たりの人件費		2,414	円	・ 事務分担割合
		嘱託職員	1時間当たりの人件費		1,689	円	・ 事務分担割合
		臨時職員	1時間当たりの人件費		800	円	・ 事務分担割合
		小 計					A 108,990円
	2	維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
		①光熱水費	5,695,387	⑥保険料	44,285円		
		②消耗品費	235,086	⑦委託料	15,891,390円		
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	0円		
	④修繕料	3,530,939	(内 土地)		0円		
	⑤通信運搬費	62,590	⑨その他	0円			
			合計 オ		25,459,677円		
	総床面積	4,540	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					B 0.129円	
3	減価償却費	建物部分	建築年度	58	償却期間	50	
			年	キ	建築費	0	
			※貸出部分単位当たりの算出方法		建築費・償却期間・総床面積・ア・イ	C 0.000円	
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	
						単位当たりの減価償却費	
						-	
			※単位当たりの算出方法		設備費・0.9・償却期間・ア・イ	D -	
4	共用部分 按分用データ	貸出面積	7,103	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	
		共用部分按分面積	239.99	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	
			0	m <sup>2</sup>	サ	シ 0.000m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費 108,990円	貸出面積 7,103.000m <sup>2</sup>	共用部分按分面積 0.000m <sup>2</sup>	維持管理費 0.129円	建物部分減価償却費 0.000円	備品部分減価償却費 0.000円
$  \left( \frac{A}{\text{貸出面積}} + \frac{D}{\text{共用部分按分面積}} \right) \cdot \left( B + C \right) + D = \text{原価}  $					
=					
1,020円					

# 使用料原価調査票

使用料名	第1集会室	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日	ア	1日の開館時間	13		
				時間	イ		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 205.150円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480	⑨その他	4,710,614円			
			合計	61,276,645円			
	総床面積	4,267	㎡	カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 3.230円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度	
		償却期間	50	年	キ		
		建築費	322,000,000		円		
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>		
		備品部分	取得年度	0	償却期間	0	
		設備費(国・都補助金は除く)	0		-		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D -</b>		
4 共用部分		貸出面積	109.3	㎡	ケ		
按分用データ		共用部分按分面積	1817.2	㎡	コ		
		共用部分面積	2,300	㎡	サ		
ケ/コ・サ →					<b>シ 138.339㎡</b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 109.300㎡	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 138.339㎡	)	•	<b>B</b> 維持管理費 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 0.000円
<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px 20px;"> <b>1.090円</b> </div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	第2集会室	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13		
時間					イ		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	0.05 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.05 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 205.150円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
			合計	61,276,645円			
	総床面積	4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>	
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度	
		償却期間	50	年 キ			
		建築費	322,000,000 円 ク				
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>		
経費	備品部分	設備名		取得年度	償却期間		
				0	0		
				設備費(国・都補助金は除く)	0		
				単位当たりの減価償却費	-		
		78		<b>D -</b>			
4 共用部分		貸出面積	76.8	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →			
				<b>シ 97.204m<sup>2</sup></b>			

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 76.800m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 97.204m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 <hr/> 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 0.000円
= <span style="border: 3px double black; padding: 10px 20px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">830円</span>												

# 使用料原価調査票

使用料名	第3集会室	施設名	小平市福祉会館								
課名	高齢者福祉課										
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13						
時間 <sup>イ</sup>											
区分	積算内訳				原価(円)						
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円						
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	0.05 =				
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.05 =				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=				
小計					<b>A 205.150円</b>						
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円							
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円							
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円							
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円							
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円							
	合計		オ	61,276,645円							
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →							
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>						
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000	円 ク	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ									
	備品部分	設備名	取得年度	0	償却期間	0	設備費(国・都補助金は除く)	0	単位当たりの減価償却費		
		78									
									<b>D -</b>		
4 共用部分		貸出面積	35.3	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ		→		<b>シ 44.679m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">人件費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">205.150円</td></tr> </table>	A	人件費	205.150円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">ケ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">貸出面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">35.300m<sup>2</sup></td></tr> </table>	ケ	貸出面積	35.300m <sup>2</sup>	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">シ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">共用部分按分面積</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">44.679m<sup>2</sup></td></tr> </table>	シ	共用部分按分面積	44.679m <sup>2</sup>	)	·	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">B</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">維持管理費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3.230円</td></tr> </table>	B	維持管理費	3.230円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">C</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">建物部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.339円</td></tr> </table>	C	建物部分減価償却費	0.339円	)	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">D</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">備品部分減価償却費</td></tr> <tr><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0.000円</td></tr> </table>	D	備品部分減価償却費	0.000円	+	=	<div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">490円</div>
A																																	
人件費																																	
205.150円																																	
ケ																																	
貸出面積																																	
35.300m <sup>2</sup>																																	
シ																																	
共用部分按分面積																																	
44.679m <sup>2</sup>																																	
B																																	
維持管理費																																	
3.230円																																	
C																																	
建物部分減価償却費																																	
0.339円																																	
D																																	
備品部分減価償却費																																	
0.000円																																	

# 使用料原価調査票

使用料名	第4集会室	施設名	小平市福祉会館							
課名	高齢者福祉課									
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13					
時間					時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円					
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →				
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=			
小計					<b>A 205.150円</b>					
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円						
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円						
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円						
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円						
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円						
			合計	61,276,645円						
	総床面積	4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>				
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度				
		償却期間	50	年 キ						
		建築費	322,000,000円 ク							
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>					
		備品部分	取得年度	0	償却期間	0	設備費(国・都補助金は除く)	0	単位当たりの減価償却費	-
				78					<b>D -</b>	
4 共用部分		貸出面積	32.9	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ		→		<b>シ 41.641m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 32.900m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 41.641m <sup>2</sup>	)	·	<b>B</b> 維持管理費 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 0.000円
<div style="border: 2px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 40px; vertical-align: middle;"></div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	第5集会室	施設名	小平市福祉会館							
課名	高齢者福祉課									
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円					
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →				
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.05 =			
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=			
小計					<b>A 205.150円</b>					
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円						
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円						
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円						
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円						
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円						
	合計		オ	61,276,645円						
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>					
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 キ	建築費	322,000,000	円 ク
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 0.339円</b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
			0	0	0	-				
			0	0	0	-				
78										<b>D -</b>
4 共用部分	貸出面積	33	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> サ	
	按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ		→		<b>シ 41.768m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 33.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 41.768m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 0.000円
<div style="border: 2px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 40px; vertical-align: middle; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <b>470円</b> </div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	市民ホール			施設名	小平市福祉会館								
課名	高齢者福祉課												
年間開館日数	342	日	ア	1日の開館時間		13	時間						
区分	積算内訳					原価(円)							
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円						
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →		0.000円					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	0.15	=	362.100円			
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.15	=	253.350円			
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合		=	0.000円			
小計						A	615.450円						
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く)					円					
	①光熱水費	15,135,716円		⑥保険料	96,051円								
	②消耗品費	693,843円		⑦委託料	32,087,001円								
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	4,442,088円								
	④修繕料	3,480,852円		(内 土地)		4,222,332円							
	⑤通信運搬費	630,480円		⑨その他	4,710,614円								
							合計	B 61,276,645円					
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積		総床面積	4,267	㎡	カ	オ・カ・ア・イ →		B 3円					
経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年	キ	建築費	322,000,000	円	ク
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ											C 0.339円	
			備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費					
				音響装置一式	S56	10	365,000	7.389					
				〃	H1	10	600,490	12.156					
			〃	H8	10	527,360	10.675						
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ											D 30.220円		
4 共用部分		貸出面積	327.6	㎡	ケ	総貸出面積	1817.2	㎡	コ	共用部分面積	2,300	㎡	サ
按分用データ		共用部分按分面積		㎡	ケ	共用部分面積	㎡	コ	サ	シ →			414.638㎡

◎使用料の原価

A 人件費 615.450円	+	ケ 貸出面積 327.600㎡	+	シ 共用部分按分面積 414.638㎡	)	・	B 維持管理費 3.230円	+	C 建物部分減価償却費 0.339円	)	+	D 備品部分減価償却費 30.220円
=												
<div style="border: 3px double black; padding: 10px; display: inline-block;">3.300円</div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	談話室	施設名	小平市福祉会館							
課名	高齢者福祉課									
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>					
		事務分担割合	0	<sup>エ</sup>	ウ・エ →	0.000円				
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	0.05 =	120.700円			
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.05 =	84.450円			
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000円			
	小計				<b>A 205.150円</b>					
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	15,135,716	円	⑥保険料	96,051	円				
	②消耗品費	693,843	円	⑦委託料	32,087,001	円				
	③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	4,442,088	円				
	④修繕料	3,480,852	円	(内 土地)	4,222,332	円				
	⑤通信運搬費	630,480	円	⑨その他	4,710,614	円				
				合計 <sup>オ</sup>	61,276,645	円				
	総床面積	4,267	m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →	<b>B 3.230円</b>					
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積										
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和46年度	償却期間	50	年 <sup>キ</sup>	建築費	322,000,000	円 <sup>ク</sup>
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 0.339円</b>
	備品部分	設備名	取得年度	0	償却期間	0	設備費(国・都補助金は除く)	0	単位当たりの減価償却費	-
								<b>D -</b>		
	78									<b>D -</b>
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	37.3	m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	1817.2	m <sup>2</sup> <sup>コ</sup>	共用部分面積	2,300	m <sup>2</sup> <sup>サ</sup>
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		<b>シ 47.210m<sup>2</sup></b>				

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 205.150円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 37.300m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 47.210m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 3.230円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 0.000円
<div style="border: 2px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>												



# 使用料原価調査票

使用料名	和室ホール	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.1 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.1 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 410.300円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
			合計	61,276,645円			
	総床面積	4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 3.230円</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度	
		償却期間	50	年 キ			
		建築費	322,000,000円 ク				
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>		
備品部分		設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
		音響装置一式		H5	10	258,118	
		"		H8	10	182,722	
		"		H4	10	1,050,600	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D 30.191円</b>		
4 共用部分		貸出面積	188.6	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
按分用データ		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
					2,300 m <sup>2</sup> サ		
共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ / コ・サ →					<b>シ 238.708m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 410.300円	+	( <b>ケ</b> <b>シ</b> ) 貸出面積 共用部分按分面積 <hr/> 188.600m <sup>2</sup> 238.708m <sup>2</sup>	)	•	( <b>B</b> <b>C</b> ) 維持管理費 建物部分減価償却費 <hr/> 3.230円    0.339円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 <hr/> 30.191円
= <span style="border: 3px double black; padding: 10px 20px; display: inline-block;">1.970円</span>								

# 使用料原価調査票

使用料名	小ホール	施設名	小平市福祉会館				
課名	高齢者福祉課						
年間開館日数	342	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	13	時間 <sup>イ</sup>		
区分	積算内訳				原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143円		
		事務分担割合		0	エ	ウ・エ →	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414円	・ 事務分担割合	0.1 =
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689円	・ 事務分担割合	0.1 =
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 410.300円</b>		
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円				
	①光熱水費	15,135,716円	⑥保険料	96,051円			
	②消耗品費	693,843円	⑦委託料	32,087,001円			
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	4,442,088円			
	④修繕料	3,480,852円	(内 土地)	4,222,332円			
	⑤通信運搬費	630,480円	⑨その他	4,710,614円			
	合計		オ	61,276,645円			
総床面積		4,267	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>B 3.230円</b>		
経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和46年度		
			償却期間	50	年 キ		
			建築費	322,000,000円 ク			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C 0.339円</b>	
			備品部分	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	
		音響装置一式	H19	10	816,900		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D 16.536円</b>		
4 共用部分		貸出面積	183.7	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積		
		共用部分按分面積	1817.2	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積		
				2,300	m <sup>2</sup> サ		
共用部分按分データ 共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →					<b>シ 232.506m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
410.300円	183.700m <sup>2</sup>	232.506m <sup>2</sup>	3.230円	0.339円	16.536円
+ ( ( + ) ) • ( + ) +					
=					
<b>1.910円</b>					

# 使用料原価調査票

使用料名	ホール	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.4 =	675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
小 計				<b>A</b>	<b>758.460円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円			
	①光熱水費	9,717,438	⑥保険料	24,495		
	②消耗品費	2,373,763	⑦委託料	33,741,141		
	③印刷製本費	28,290	⑧賃借料	1,235,550		
	④修繕料	1,413,630	(内 土地)			
	⑤通信運搬費	487,724	⑨その他			
			合計 カ	49,022,031		
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				<b>3.043</b>	
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和59年度	償却期間	50 年 ク
建築費			458,000,000 円 ケ			
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C</b>		
				<b>0.569</b>		
駐車場		建築年度	平成12年度	償却期間	10 年 コ	建築費
	※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費 サ・償還期間 コ・ア・イ				<b>シ</b>	<b>441.504</b>
備 品 部 分	設備名		取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
						-
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D</b>	<b>-</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	231 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	1,651 m <sup>2</sup> ソ
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/セ・ソ →		<b>タ</b>	<b>222</b>

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 231.000\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 222.121\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 59.399\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791\text{円} \end{array} = \boxed{\text{1,942円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	ギャラリーA	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.4 =	675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	小 計				<b>A 758.460円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円				
	①光熱水費	9,717,438円	⑥保険料	24,495円		
	②消耗品費	2,373,763円	⑦委託料	33,741,141円		
	③印刷製本費	28,290円	⑧賃借料	1,235,550円		
	④修繕料	1,413,630円	(内 土地)			
	⑤通信運搬費	487,724円	⑨その他			
			合計 カ	49,022,031円		
		総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →	<b>B</b>	
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				
					<b>3.043円</b>	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和59年度	償却期間	50 年 ク	
		建築費	458,000,000 円 ケ			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					
					<b>C 0.569円</b>	
	駐車場	建築年度	平成12年度	償却期間	10 年 コ	
		建築費	17,850,000 円 サ			
※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費 サ・償却期間 コ・ア・イ						
				<b>シ 441.504円</b>		
備 品 部 分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
					-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					
					<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	84.5 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ス/セ・ソ	→	<b>タ 81.252m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 84.500\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 81.252\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 21.728\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \end{array} = \boxed{1.091\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	ギャラリーB	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		13 時間 <sup>イ</sup>		
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200 <sup>ウ</sup>		
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 <sup>エ</sup>		
		事務分担割合	0.02 <sup>オ</sup>	エ・オ →		82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4 =	675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円
	小 計				<b>A 758.460円</b>	
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	9,717,438円		⑥保険料	24,495円	
	②消耗品費	2,373,763円		⑦委託料	33,741,141円	
	③印刷製本費	28,290円		⑧賃借料	1,235,550円	
	④修繕料	1,413,630円		(内 土地)		
	⑤通信運搬費	487,724円		⑨その他		
				合計 <sup>カ</sup>	49,022,031円	
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> <sup>キ</sup>	カ・キ・ア・イ →		<b>B 3.043円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
	的 経 費	3 減価償却費	建物部分	建築年度 昭和59年度	償却期間 50 年 <sup>ク</sup>	建築費 458,000,000 円 <sup>ケ</sup>
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C 0.569円</b>		
駐車場			建築年度 平成12年度	償却期間 10 年 <sup>コ</sup>	建築費 17,850,000 円 <sup>サ</sup>	
※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ				<b>シ 441.504円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
						-
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D -</b>		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	79.5 m <sup>2</sup> <sup>ス</sup>	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> <sup>セ</sup>	共用部分面積 1,651 m <sup>2</sup> <sup>ソ</sup>	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →				<b>タ 76.444m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ 79.500\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ 76.444\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ 20.442\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ 0.791 \end{array} = \boxed{1.062\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	レクリエーションホール	施設名	中央公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間	13 時間 イ			
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 エ		
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ →	82.860 円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000 円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4	= 675.600 円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000 円
	小 計			<b>A</b>	<b>758.460 円</b>	
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	9,717,438 円	⑥保険料	24,495 円		
	②消耗品費	2,373,763 円	⑦委託料	33,741,141 円		
	③印刷製本費	28,290 円	⑧賃借料	1,235,550 円		
	④修繕料	1,413,630 円	(内 土地)			
	⑤通信運搬費	487,724 円	⑨その他			
			合計 カ	49,022,031 円		
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →	<b>B</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					
				<b>3.043 円</b>		
減価償却費	建物部分	建築年度	昭和 59 年度	償却期間	50 年 ク	
		建築費	458,000,000 円 ケ			
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					
				<b>C</b>	<b>0.569 円</b>	
	駐車場	建築年度	平成 12 年度	償却期間	10 年 コ	
		建築費	17,850,000 円 サ			
※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ						
			<b>シ</b>	<b>441.504 円</b>		
備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
					-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					
			<b>D</b>	<b>-</b>		
共用部分 按分用データ	貸出面積	156 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	
	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	ス/セ・ソ	→	<b>タ</b>	
					<b>150.003 m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 758.460 \text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 156.000 \text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 150.003 \text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 3.043 \text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.569 \text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000 \text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 40.113 \text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.791 \text{円} \end{array} = \boxed{1,507 \text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	視聴覚室	施設名	中央公民館				
課名	公民館						
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間		13 時間 イ			
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3200 ウ			
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)			
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 エ			
		事務分担割合	0.02 オ	エ・オ →		82.860円	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.4	= 675.600円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円	
	小 計			<b>A</b>	<b>758.460円</b>		
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円						
	①光熱水費	9,717,438円		⑥保険料	24,495円		
	②消耗品費	2,373,763円		⑦委託料	33,741,141円		
	③印刷製本費	28,290円		⑧賃借料	1,235,550円		
	④修繕料	1,413,630円		(内 土地)			
	⑤通信運搬費	487,724円		⑨その他			
				合計 カ	49,022,031円		
	総床面積	3,985 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					<b>3.043円</b>	
	減価償却費	建物部分	建築年度	昭和59年度	償却期間	50 年 ク	
建築費			458,000,000 円 ケ				
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ					<b>C</b> 0.569円		
駐車場		建築年度	平成12年度	償却期間	10 年 コ	建築費	17,850,000 円 サ
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ					<b>シ</b> 441.504円
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費	
					-		
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					<b>D</b> -	
共用部分 按分用データ	貸出面積	134 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	1,717 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	1,651 m <sup>2</sup> ソ	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →					<b>タ</b> 128.849m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ 134.000\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ 128.849\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ 3.043\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.569\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array} \\
 + \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ 34.456\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ 0.791 \end{array} = \boxed{1,379\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	講座室	施設名	公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3,612	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.5 =	844.500円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	0 =	0.000円
小 計				<b>A</b>	<b>927.360円</b>	
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円			
	①光熱水費	2,556,079円	⑥保険料	8,144円		
	②消耗品費	649,210円	⑦委託料	7,257,346円		
	③印刷製本費	9,093円	⑧賃借料	473,107円		
	④修繕料	447,579円	(内 土地)	0円		
	⑤通信運搬費	135,609円	⑨その他	0円		
			合計 カ	<b>11,536,167円</b>		
	総床面積	1,227 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →		<b>B</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				<b>2,325円</b>	
	減価償却費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	償却期間 50 年 ク	建築費 141,369,672 円 ケ
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ			<b>C</b>	<b>0.570円</b>		
駐車場		建築年度	償却期間 10 年 コ	建築費 17,850,000 円 サ		
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ		<b>シ</b>	<b>441.504円</b>	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D</b>	<b>-</b>	
共用部分 按分用データ	4 共用部分	貸出面積 48.7525 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積 594.492 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積 504.098 m <sup>2</sup> ソ		
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ス/セ・ソ →	<b>タ</b>	<b>41.340m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 927.360\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 48.753\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 41.340\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 2.325\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.570\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 36.206\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.893\text{円} \end{array} = \boxed{1,094\text{円}}$$



# 使用料原価調査票

使用料名	その他施設	施設名	公民館	
課名	公民館			
年間開館日数	311 日 ア	1日の開館時間	13 時間 イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間		3,449 ウ	
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)	
人 件 費	1 職員分	1時間当たりの人件費	4,143 円	
		事務分担割合	0.02 オ	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	
	小 計		<b>A 589,560円</b>	
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円		
		①光熱水費	5,229,390円	
		②消耗品費	1,291,129円	
		③印刷製本費	14,952円	
		④修繕料	801,741円	
		⑤通信運搬費	273,795円	
		⑥保険料	14,566円	
		⑦委託料	17,396,448円	
		⑧賃借料	766,470円	
		⑨その他	0円	
	合計 カ		25,788,491円	
	総床面積	2,365 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ → <b>B 2,697円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積			
3 減価償却費	建物部分	建築年度	平成16年度	
		償却期間	50 年 ク	
		建築費	240,979,167 円 ケ	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ		<b>C 0.504円</b>
	駐車場	建築年度		
	償却期間	10 年 コ		
	建築費	13,387,500 円 サ		
	※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償還期間・コ・ア・イ		<b>シ 331.128円</b>	
	備品部分	設備名	取得年度	
		償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	
			単位当たりの減価償却費	
			-	
	※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ		<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	47.775 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	
	共用部分按分面積	42.523 m <sup>2</sup> タ	共用部分面積	
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →		<b>タ 42.523m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 589,560\text{円} \end{array} \right. + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 47.775\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 42.523\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 2,697\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.504\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left. \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 14.695\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ \hline 0.853 \end{array} = \boxed{762\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	分館ホール	施設名	公民館			
課名	公民館					
年間開館日数	311 日	ア	1日の開館時間	13 時間	イ	
使用料徴収可能時間	※算出方法 年間開館日数ア・1日の開館時間イー講座、行事等の総時間			3,702	ウ	
区 分	積 算 内 訳			原価 (円)		
人件費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円	エ	
		事務分担割合	0.02	オ	エ・オ →	82.860円
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	0.4 =	675.600円
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=	0.000円
	小 計			<b>A</b>	<b>758.460円</b>	
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	1,109,270円	⑥保険料	4,545円		
	②消耗品費	253,898円	⑦委託料	1,746,500円		
	③印刷製本費	5,393円	⑧賃借料	304,390円		
	④修繕料	293,266円	(内 土地)	0円		
	⑤通信運搬費	57,931円	⑨その他	0円		
			合計 カ	3,775,193円		
	総床面積	594.89 m <sup>2</sup> キ	カ・キ・ア・イ →	<b>B</b>		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積				<b>1.570円</b>	
	減価償却費	建物部分	建築年度	償却期間	50 年 ク	建築費
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				<b>C</b>	<b>0.577円</b>	
駐車場		建築年度	償却期間	10 年 コ	建築費	0 円 サ
		※中央公民館のみ 1時間当たりの算出方法 建築費・サ・償却期間・コ・ア・イ				<b>シ</b>
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				<b>D</b>	<b>-</b>	
共用部分 按分用データ	貸出面積	96.6 m <sup>2</sup> ス	総貸出面積	340.889 m <sup>2</sup> セ	共用部分面積	250.333 m <sup>2</sup> ソ
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ス/セ・ソ →				<b>タ</b>	<b>70.939m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{A} \\ \text{人件費} \\ 758.460\text{円} \end{array} \right\} + \left( \begin{array}{l} \text{ス} \\ \text{貸出面積} \\ 96.600\text{m}^2 \end{array} + \begin{array}{l} \text{タ} \\ \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ 70.939\text{m}^2 \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{維持管理費} \\ 1.570\text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{C} \\ \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.577\text{円} \end{array} \right) + \begin{array}{l} \text{D} \\ \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{ス/セ・シ} \\ \text{駐車場分} \\ \text{減価償却費} \\ 0.000\text{円} \end{array} \right\} \cdot \begin{array}{l} \text{ウ/(ア・イ)} \\ \text{目的外使用割合} \\ 0.916 \end{array} = \boxed{1.024\text{円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	第一体育室	施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課	担当者名								
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	12.5	時間 <sup>イ</sup>					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>					
		事務分担割合	0.2	エ	ウ・エ →	828.600円				
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	0.000円				
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.34 = 574.260円				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	0.000円				
	小計				<b>A 1,402.860円</b>					
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	43,417,908	円	⑥保険料	107,535					
	②消耗品費	2,697,663	円	⑦委託料	101,695,018					
	③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	5,585,790					
	④修繕料	3,723,204	円	(内 土地)	5,034,612					
	⑤通信運搬費	327,603	円	⑨その他	2,878,063					
				合計 <sup>オ</sup>	160,432,784					
	総床面積	8,176	m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →	<b>B 4,576円</b>					
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積										
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000	円 <sup>ク</sup>
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 1,107円</b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費				
							-			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>		
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	1,644	m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup> <sup>コ</sup>	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup> <sup>サ</sup>
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>				ケ/コ・サ →		<b>シ 1,131.927m<sup>2</sup></b>		

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 1,402.860円	+	( <sup>ケ</sup> 貸出面積 1,644.000m <sup>2</sup> + <sup>シ</sup> 共用部分按分 面積 1,131.927m <sup>2</sup> )	・	( <sup>B</sup> 維持管理費 4,576円       + <sup>C</sup> 建物部分 減価償却費 1,107円	+	+ <sup>D</sup> 備品部分 減価償却費 0.000円
-------------------------------	---	---	---	---	---	---

**E =** 団体利用 17,180円

定員 108人 **F**

個人利用 159円  
**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	第二体育室	施設名	小平市民総合体育館									
課名	体育課											
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12.5	時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)							
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>							
		事務分担割合	0.1	エ	ウ・エ →	414,300円						
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000円					
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	=	0.11	185,790円				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000円					
	小計				<b>A 600.090円</b>							
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円										
	①光熱水費	43,417,908円		⑥保険料	107,535円							
	②消耗品費	2,697,663円		⑦委託料	101,695,018円							
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	5,585,790円							
	④修繕料	3,723,204円		(内 土地)	5,034,612円							
	⑤通信運搬費	327,603円		⑨その他	2,878,063円							
				合計 <sup>オ</sup>	160,432,784円							
	総床面積	8,176	㎡	カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B 4,576円</b>						
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積												
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000	円 <sup>ク</sup>		
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 1,107円</b>		
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費					
							-					
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>		
4 共用部分	貸出面積	580	㎡	ケ	総貸出面積	4,386	㎡	コ	共用部分面積	3,020	㎡	サ
按分用データ	共用部分按分面積		㎡	ケ/コ・サ →						<b>シ 399.342㎡</b>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	<b>ケ</b>	<b>シ</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
人件費	貸出面積	共用部分按分面積	維持管理費	建物部分減価償却費	備品部分減価償却費
600.090円	580.000㎡	399.342㎡	4,576円	1,107円	0.000円

**E** = 団体利用 **6,166円**

定員 40人 **F**

個人利用 **154円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	第三・四体育室	施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課									
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12.5					
				時間 <sup>イ</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>					
		事務分担割合	0.1	エ	ウ・エ →	414,300円				
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	0.000				
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.17				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	0.000				
	小計				<b>A 701,430円</b>					
維持管理費	2 維持管理費 施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円									
	①光熱水費	43,417,908円		⑥保険料	107,535円					
	②消耗品費	2,697,663円		⑦委託料	101,695,018円					
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	5,585,790円					
	④修繕料	3,723,204円		(内 土地)	5,034,612円					
	⑤通信運搬費	327,603円		⑨その他	2,878,063円					
				合計 <sup>オ</sup>	160,432,784円					
	総床面積	8,176	m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →		<b>B 4,576円</b>				
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積									
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								<b>C 1,107円</b>		
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費			
							-			
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								<b>D -</b>
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	300	m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4,386	m <sup>2</sup> <sup>コ</sup>	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup> <sup>サ</sup>
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →								<b>シ 206.556m<sup>2</sup></b>

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	×	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
701.430円		300.000m <sup>2</sup>		206.556m <sup>2</sup>				4.576円		1.107円			0.000円

**E** = 団体利用 **3,580円**

定員 20人 **F**

個人利用 **179円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	第五体育室			施設名	小平市民総合体育館			
課名	体育課							
年間開館日数	343	日	ア	1日の開館時間		12.5	時間	
区分	積算内訳						原価(円)	
1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費			ウ			
		事務分担割合		0.1	エ	ウ・エ →		
	再任用職員	1時間当たりの人件費		2,414	円	・	事務分担割合	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費		1,689	円	・	事務分担割合	
	臨時職員	1時間当たりの人件費		800	円	・	事務分担割合	
小計							<b>A 701.430円</b>	
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円							
	①光熱水費	43,417,908		円	⑥保険料	107,535		
	②消耗品費	2,697,663		円	⑦委託料	101,695,018		
	③印刷製本費	0		円	⑧賃借料	5,585,790		
	④修繕料	3,723,204		円	(内 土地)		5,034,612	
	⑤通信運搬費	327,603		円	⑨その他	2,878,063		
					合計		160,432,784	
	総床面積		8,176	㎡	カ	オ・カ・ア・イ →		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							<b>B 4.576円</b>	
3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年	キ	
		建築費		1,824,100,000		円	ク	
	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ							<b>C 1.107円</b>
	備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費
						-		
						-		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ							<b>D -</b>	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	91	㎡	ケ	総貸出面積	4,386	㎡	
	共用部分按分面積		3,020	㎡	コ	共用部分面積		
共用部分按分面積 ㎡ ケ/コ・サ →							<b>シ 62.655㎡</b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	ケ	+	シ	)	)	)	)	)	)	)	)
人件費		貸出面積		共用部分按分面積		維持管理費		建物部分減価償却費		備品部分減価償却費		
701.430円		91.000㎡		62.655㎡		4.576円		1.107円		0.000円		

**E =** 団体利用 **1.575円**

定員 10人 **F**

個人利用 **158円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	弓道場	施設名	小平市民総合体育館					
課名	体育課							
年間開館日数	343 日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12.5 時間 <sup>イ</sup>				
区分	積算内訳			原価(円)				
維持管理費	1 職員分	1時間当たりの人件費		4,143 円 <sup>ウ</sup>				
		事務分担割合	0.1 <sup>エ</sup>	ウ・エ →	414.300円			
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000円		
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.17 =	287.130円		
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000円		
	小計			<b>A</b>	701.430円			
維持管理費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円						
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535				
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018				
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790				
	④修繕料	3,723,204 (内 土地)	⑨その他	2,878,063				
	⑤通信運搬費	327,603	合計 <sup>オ</sup>	160,432,784				
	総床面積	8,176 m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>	4.576		
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000 円 <sup>ク</sup>
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C</b>
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
								-
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D</b>	2.182	
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	218 m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4,386 m <sup>2</sup> <sup>コ</sup>	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup> <sup>サ</sup>	
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →						<b>シ</b>

◎使用料の原価

$$\begin{matrix} \mathbf{A} \\ \text{人件費} \\ \hline 701.430\text{円} \end{matrix} + \left( \begin{matrix} \mathbf{ケ} \\ \text{貸出面積} \\ \hline 218.000\text{m}^2 \end{matrix} + \begin{matrix} \mathbf{シ} \\ \text{共用部分按分面積} \\ \hline 150.097\text{m}^2 \end{matrix} \right) \cdot \left( \begin{matrix} \mathbf{B} \\ \text{維持管理費} \\ \hline 4.576\text{円} \end{matrix} + \begin{matrix} \mathbf{C} \\ \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 1.107\text{円} \end{matrix} \right) + \begin{matrix} \mathbf{D} \\ \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 2.182\text{円} \end{matrix}$$

**E** = 団体利用 2.796円

定員 15人 **F**

個人利用 186円

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	幼児体育室				施設名	小平市民総合体育館				
課名	体育課									
年間開館日数	<b>343</b>	日	ア	1日の開館時間	<b>9</b>	時間	イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	<b>30</b> 人 <sup>①</sup>	
区分	積算内訳							原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費				ウ		
		再任用職員		1時間当たりの人件費	<b>2,414</b> 円	・ 事務分担割合		=	<b>0.000</b> 円	
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	<b>1,689</b> 円	・ 事務分担割合	<b>0.14</b>	=	<b>236.460</b> 円	
		臨時職員		1時間当たりの人件費	<b>800</b> 円	・ 事務分担割合		=	<b>0.000</b> 円	
		小計								<b>A 650.760円</b>
維持管理費	2 維持管理費		①光熱水費		<b>43,417,908</b> 円	⑥保険料		<b>107,535</b> 円		
			②消耗品費		<b>2,697,663</b> 円	⑦委託料		<b>101,695,018</b> 円		
			③印刷製本費		<b>0</b> 円	⑧賃借料		<b>5,585,790</b> 円		
			④修繕料		<b>3,723,204</b> 円	(内 土地)		<b>5,034,612</b> 円		
			⑤通信運搬費		<b>327,603</b> 円	⑨その他		<b>2,878,063</b> 円		
							合計	<b>160,432,784</b> 円		
			総床面積	<b>8,176</b> m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ		<b>B</b>		
			※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							
			<b>6.356円</b>							
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	<b>59</b>	償却期間	<b>47</b> 年	キ	建築費
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								
		<b>C 1.538円</b>								
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費		
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								
		<b>D 3.980円</b>								
4 共用部分		貸出面積	<b>110</b> m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	<b>4,386</b> m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	<b>3,020</b> m <sup>2</sup>	サ
		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ		→		<b>シ 75.737m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
<b>650.760円</b>		110.000m <sup>2</sup>		75.737m <sup>2</sup>				6.356円		1.538円			3.980円
= 団体利用													
<b>2,121円</b>													



# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 1	施設名	小平市民総合体育館			
課名	体育課					
年間開館日数	343	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間	12	時間 <sup>イ</sup>	
区分	積算内訳				原価(円)	
1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	円 <sup>ウ</sup>	
		事務分担割合	0	エ	ウ・エ →	
	再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合 =	
	嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合 =	
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合 =	
	小 計					A 50.670円
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円					
	①光熱水費	43,417,908		⑥保険料	107,535	
	②消耗品費	2,697,663		⑦委託料	101,695,018	
	③印刷製本費	0		⑧賃借料	5,585,790	
	④修繕料	3,723,204		(内 土地)	5,034,612	
	⑤通信運搬費	327,603		⑨その他	2,878,063	
					合計 <sup>オ</sup>	160,432,784
	総床面積	8,176	m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>			オ・カ・ア・イ →
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					B 4.767
	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47
		年 <sup>キ</sup>	建築費	1,824,100,000		
					C 1.153	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費
					-	
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ					D -	
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	30	m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup>	総貸出面積	4386	
			m <sup>2</sup>	共用部分面積	3,020	
			ケ/コ・サ →	シ 20.656m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

A 人件費 50.670円	+	ケ 貸出面積 30.000m <sup>2</sup>	+	シ 共用部分按分面積 20.656m <sup>2</sup>	)	•	B 維持管理費 4.767円	+	C 建物部分 減価償却費 1.153円	)	+	D 備品部分 減価償却費 0.000円	+	= 351円
---------------------	---	-----------------------------------	---	---------------------------------------	---	---	----------------------	---	------------------------------	---	---	------------------------------	---	--------

# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 2	施設名	小平市民総合体育館					
課名	体育課							
年間開館日数	343 日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間		12 時間 <sup>イ</sup>				
区分	積算内訳			原価(円)				
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円			
		事務分担割合		0 エ	ウ・エ →	0.000 円		
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	=	0.000 円
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	0.03 =	50.670 円
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	=	0.000 円
小計				<b>A</b>	50.670 円			
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535				
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018				
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790				
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612				
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063				
	合計		オ	160,432,784				
総床面積		8,176 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
4.767								
経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 キ	建築費	1,824,100,000 円 ク
		<b>C</b> 1.153						
	備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費	
							-	
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						
<b>D</b> -								
4 共用部分	貸出面積	72 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4386 m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup> サ		
	共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		<b>シ</b>	49.573 m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

$$\begin{array}{c}
 \boxed{\text{A}} \\
 \text{人件費} \\
 \hline
 50.670 \text{円}
 \end{array}
 +
 \left(
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{ケ}} \\
 \text{貸出面積} \\
 \hline
 72.000 \text{m}^2
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{シ}} \\
 \text{共用部分按分面積} \\
 \hline
 49.573 \text{m}^2
 \end{array}
 \right)
 \cdot
 \left(
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{B}} \\
 \text{維持管理費} \\
 \hline
 4.767 \text{円}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{C}} \\
 \text{建物部分減価償却費} \\
 \hline
 1.153 \text{円}
 \end{array}
 \right)
 +
 \begin{array}{c}
 \boxed{\text{D}} \\
 \text{備品部分減価償却費} \\
 \hline
 0.000 \text{円}
 \end{array}
 =
 \boxed{\text{770円}}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	会議室 3			施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課											
年間開館日数	343	日	ア	1日の開館時間		12	時間					
区分	積算内訳					原価(円)						
1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費			ウ							
				4,143	円							
	事務分担割合		0	エ	ウ・エ →		0.000円					
	再任用職員	1時間当たりの人件費		2,414	円	・	事務分担割合	=	0.000円			
	嘱託職員	1時間当たりの人件費		1,689	円	・	事務分担割合	0.03	=	50.670円		
臨時職員	1時間当たりの人件費		800	円	・	事務分担割合	=	0.000円				
		小計				<b>A</b>	<b>50.670円</b>					
2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円											
	①光熱水費	43,417,908			⑥保険料	107,535						
	②消耗品費	2,697,663			⑦委託料	101,695,018						
	③印刷製本費	0			⑧賃借料	5,585,790						
	④修繕料	3,723,204			(内 土地)		5,034,612					
	⑤通信運搬費	327,603			⑨その他	2,878,063						
					合計		160,432,784					
	総床面積	8,176	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>					
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積											
	4.767											
3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47	年	キ	建築費	1,824,100,000	円	ク	
		<b>C</b> 1.153										
	備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)		単位当たりの減価償却費				
								-				
								-				
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ												
<b>D</b> -												
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	36	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	4386	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	3,020	m <sup>2</sup>	サ
			共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ				→		<b>シ</b> 24.787m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	·	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積			維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
50.670円		36.000m <sup>2</sup>		24.787m <sup>2</sup>			4.767円		1.153円			0.000円
=												
411円												

# 使用料原価調査票

使用料名	トレーニング室	施設名	小平市民総合体育館								
課名	体育課										
年間開館日数	343 日	1日の開館時間	12 時間	1時間当り定員 (利用可能人員)	30 人 <sup>①</sup>						
区分	積算内訳				原価(円)						
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円						
		事務分担割合		0.7	ウ・エ →	2,900.100円					
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414 円	事務分担割合	= 0.000円				
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689 円	事務分担割合	= 0.34 = 574.260円				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800 円	事務分担割合	= 0.000円				
		小計			A 3,474.360円						
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
	①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535							
	②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018							
	③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790							
	④修繕料	3,723,204	(内 土地)	5,034,612							
	⑤通信運搬費	327,603	⑨その他	2,878,063							
					合計	160,432,784					
	総床面積	8,176 m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →	B 4.767						
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積										
	経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年	キ	建築費	1,824,100,000 円	ク
※貸出部分単位当たりの算出方法			建築費・償却期間・総床面積・ア・イ		C 1.153						
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費					
※単位当たりの算出方法		設備費・0.9・償却期間・ア・イ		D 173.917							
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	355 m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	4,386 m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup>	サ		
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		シ 244.425m <sup>2</sup>				

◎使用料の原価

A 人件費 3,474.360円	+	ケ 貸出面積 355.000m <sup>2</sup>	+	シ 共用部分按分面積 244.425m <sup>2</sup>	)	•	(	B 維持管理費 4.767円	+	C 建物部分減価償却費 1.153円	)	+	D 備品部分減価償却費 173.917円
------------------------	---	------------------------------------	---	--	---	---	---	----------------------	---	--------------------------	---	---	----------------------------

E =

7.197円

① 定員 30 人 F

個人  
利用

240円

E/F

# 使用料原価調査票

使用料名	温水プール	施設名	小平市民総合体育館							
課名	体育課									
年間開館日数	343 日	ア	1日の開館時間	11.5 時間	イ					
区分	積算内訳				原価(円)					
維持管理的経費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		ウ					
				4,143 円						
		事務分担割合	1.0 エ	ウ・エ	→	4,143.000円				
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	= 0.000円				
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	1.23 = 2,077.470円				
	臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	= 0.000円					
	小計				<b>A 6,220.470円</b>					
維持管理的経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
		①光熱水費	43,417,908	⑥保険料	107,535					
		②消耗品費	2,697,663	⑦委託料	101,695,018					
		③印刷製本費	0	⑧賃借料	5,585,790					
		④修繕料	3,723,204 (内 土地)	⑨その他	2,878,063					
		⑤通信運搬費	327,603	合計	160,432,784					
		総床面積	8,176 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ	→	<b>B 4.974</b>				
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								
		維持管理的経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度	59	償却期間	47 年 キ	建築費	1,824,100,000 円 ク
				※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						<b>C 1.203</b>
備品部分	設備名			取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費			
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						<b>D 88.664</b>				
維持管理的経費	4 共用部分	貸出面積	650 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	4,386 m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	3,020 m <sup>2</sup> サ			
		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ		→	<b>シ 447.538m<sup>2</sup></b>			

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	ケ	+	シ	)	·	(	B	+	C	)	+	D
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
6,220.470円		650.000m <sup>2</sup>		447.538m <sup>2</sup>				4.974円		1.203円			88.664円

**E** = 団体利用

<b>13,089</b>
---------------

定員 **50人** **F**

個人利用

<b>262円</b>
-------------

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	八ヶ岳山荘			施設名	八ヶ岳山荘			
課名	体育課							
年間開館日数	191	日 ア	1日の開館時間	24	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	72 人 ①	
区分	積算内訳					原価(円)		
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円	
		再任用職員		1時間当たりの人件費		2,414	円	
		嘱託職員		1時間当たりの人件費		1,689	円	
		臨時職員		1時間当たりの人件費		800	円	
		小計					A	414,300円
維持管理的経費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
	①光熱水費	2,157,931	円	⑥保険料	4,404	円		
	②消耗品費	817,712	円	⑦委託料	4,104,280	円		
	③印刷製本費	0	円	⑧賃借料	1,224,728	円		
	④修繕料	375,585	円	(内 土地)	1,168,308	円		
	⑤通信運搬費	77,658	円	⑨その他	2,087,215	円		
						合計 オ	10,849,513	円
	総床面積		1,108	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						2,136	円
	維持管理的経費	3 減価償却費		建物部分				
建築年度		昭和44年	償却期間	47	年 キ	建築費	43,270,000	円 ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						C	0.181円	
備品部分		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
湯沸器			11	10	614,250	12,060		
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	12,060円	
4 共用部分 按分用データ		貸出面積	747	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	1,108	m <sup>2</sup> コ	
共用部分按分面積		m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		シ	243,382m <sup>2</sup>	

## ◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \frac{\text{A}}{\text{人件費}} \right) + \left( \frac{\text{ケ}}{\text{貸出面積}} + \frac{\text{シ}}{\text{共用部分按分面積}} \right) \cdot \left( \frac{\text{B}}{\text{維持管理費}} + \frac{\text{C}}{\text{建物部分減価償却費}} \right) \\
 & + \left( \frac{\text{D}}{\text{備品部分減価償却費}} \right) \cdot \left( \frac{\text{①}}{\text{1時間当たり定員}} \right) = \text{E} = \boxed{\text{38円}} \\
 & \text{宿泊} \quad \text{E} \cdot \text{20時間} = \boxed{\text{756円}} \\
 & \text{宿泊なし} \quad \text{E} \cdot \text{6時間} = \boxed{\text{227円}}
 \end{aligned}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	テニスコート	施設名	テニスコート（上水・天神・中央）			
課名	体育課					
年間開館日数	345	日	ア	1日の開館時間	12	
				時間	イ	
区分	積算内訳				原価（円）	
維持費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費	4,143 円	
		事務分担割合		0.4	エ	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414 円	・ 事務分担割合	=
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689 円	・ 事務分担割合	3.0 =
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800 円	・ 事務分担割合	=
小計					<b>A 6,724.200円</b>	
管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額（人件費を除く） 円			
	①光熱水費	1,506,546円	⑥保険料	2,118円		
	②消耗品費	340,610円	⑦委託料	7,886,863円		
	③印刷製本費	0円	⑧賃借料	14,910円		
	④修繕料	1,748,375円	(内 土地)	0円		
	⑤通信運搬費	41,277円	⑨その他	108,150円		
			合計	11,648,849円		
	総床面積	10,180	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →	<b>B</b>
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					0.276円
	費（3施設の平均）	3 減価償却費		建物部分		
建築年度		昭和44年	償却期間	30	年	
※貸出部分単位当たりの算出方法		建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				
<b>C 0.000円</b>						
備品部分		取得年度	償却期間	設備費（国・都補助金は除く）	単位当たりの減価償却費	
AED（自動体外式除細動器）		17	5	252,000	10.957	
※単位当たりの算出方法					D 10.957円	
4 共用部分		コート面数	13	面	ケ	
按分用データ		総貸出面積	10,180	m <sup>2</sup>	コ	
		共用部分面積	0.000	m <sup>2</sup>	サ	
共用部分按分面積 m <sup>2</sup> ケ/コ・サ →					<b>シ 0.000m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A/ケ</b>	+	<b>コ/ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D/ケ</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積			維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
517.246円		783.077m <sup>2</sup>		0.000m <sup>2</sup>			0.276円		0.000円			0.843円
=												
<div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px 20px;">735円</div>												

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園プール			施設名	萩山公園プール				
課名	体育課								
年間開館日数	51	日 ア	1日の開館時間	7.5	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	55 人 ①		
区分	積算内訳					原価(円)			
維持管理費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費		4,143	ウ	994.320		
			事務分担割合	0.24	エ	ウ・エ →			
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合		=	0.000
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合		0.2	= 337.800
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合		=	0.000
	小計						A	1,332.120	
	2	維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
		①光熱水費	10,091,681	⑥保険料			0		
		②消耗品費	222,251	⑦委託料			11,388,301		
		③印刷製本費	0	⑧賃借料			0		
④修繕料		2,300,240	(内 土地)			0			
⑤通信運搬費		0	⑨その他			997,920			
合計 オ						25,000,393			
総床面積		3,822	m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B			
※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						1.710			
3 減価償却費	建物部分	建築年度	昭和43年	償却期間	30	年 キ	建築費	円 ク	
		※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ						C	0.000
	備品部分	設備名		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
		プール用タンカ		15	10	111,300	26.188		
		プール用タンカ		15	10	111,300	26.188		
		硬貨計数器		16	10	157,500	37.059		
プールフロア@152,250・5台		19	5	761,250	358.235				
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ						D	447.670		
4 共用部分 按分用データ	貸出面積	3,822	m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	3,822	m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	m <sup>2</sup> サ	
	共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →		シ		0.000m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \frac{\text{A}}{\text{人件費}} \right) + \left( \frac{\text{ケ}}{\text{貸出面積}} + \frac{\text{シ}}{\text{共用部分按分面積}} \right) \cdot \left( \frac{\text{B}}{\text{維持管理費}} + \frac{\text{C}}{\text{建物部分減価償却費}} \right) \\
 & + \left( \frac{\text{D}}{\text{備品部分減価償却費}} \right) \cdot \left( \frac{\text{①}}{\text{1時間当たり定員}} \right) = \boxed{151\text{円}}
 \end{aligned}$$



# 使用料原価調査票

使用料名	東部公園プール			施設名	東部公園プール			
課名	体育課							
年間開館日数	51	日 ア	1日の開館時間	8	時間 イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	159 人 ①	
区分	積算内訳					原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143 円	994,320	
		再任用職員		1時間当たりの人件費 2,414 円		事務分担割合 =		0.000
		嘱託職員		1時間当たりの人件費 1,689 円		事務分担割合 =		0.000
		臨時職員		1時間当たりの人件費 800 円		事務分担割合 =		0.000
		小計						A 994,320
経費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円					
	①光熱水費	9,467,693	⑥保険料			5,773		
	②消耗品費	946,294	⑦委託料			24,202,766		
	③印刷製本費	0	⑧賃借料			110,741		
	④修繕料	5,209,789	(内 土地)					
	⑤通信運搬費	46,166	⑨その他			13,167,157		
			合計 オ				53,156,379	
	総床面積		8,922 m <sup>2</sup> カ	オ・カ・ア・イ →		B 1,460		
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積							
	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和60年	償却期間	30年 キ	建築費
		備品部分	※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				C 5,483	
		設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
		監視台	10	10	748,965	165.213		
		自動券売機	17	5	640,500	282.574		
		AED(自動体外式除細動器)	17	5	252,000	111.176		
		※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ				D 558.963		
4 共用部分		貸出面積	8,922 m <sup>2</sup> ケ	総貸出面積	8,922 m <sup>2</sup> コ	共用部分面積	m <sup>2</sup> サ	
按分用データ		共用部分按分面積 m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ →		シ 0.000m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{A} \\ \hline \text{人件費} \\ \hline 994,320 \text{円} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{ケ} \\ \hline \text{貸出面積} \\ \hline 8,922.000 \text{m}^2 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{シ} \\ \hline \text{共用部分按分} \\ \text{面積} \\ \hline 0.000 \text{m}^2 \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{B} \\ \hline \text{維持管理費} \\ \hline 1,460 \text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{C} \\ \hline \text{建物部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 5,483 \text{円} \\ \hline \end{array} \right) \\
 & + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{D} \\ \hline \text{備品部分} \\ \text{減価償却費} \\ \hline 558.963 \text{円} \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{1時間当り} \\ \text{定員} \\ \hline 159 \text{人} \\ \hline \end{array} \right) = \boxed{\text{399円}}
 \end{aligned}$$

# 使用料原価調査票

使用料名	花小金井武道館	施設名	花小金井武道館												
課名	体育課														
年間開館日数	345	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間												
			12												
区 分	積 算 内 訳		原価 (円)												
維 持 管 理 的 経 費	1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費	4,143	ウ 円										
		再任用職員	1時間当たりの人件費	2,414	円										
		嘱託職員	1時間当たりの人件費	1,689	円										
		臨時職員	1時間当たりの人件費	800	円										
		小 計			A	1,477,080	円								
維 持 管 理 的 経 費	2	維持管理費				施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円									
		①光熱水費	1,786,745	円	⑥保険料	23,298	円								
		②消耗品費	264,227	円	⑦委託料	2,762,579	円								
		③印刷製本費	93,450	円	⑧賃借料	14,910	円								
		④修繕料	235,725	円	(内 土地)										
		⑤通信運搬費	57,642	円	⑨その他	168,210	円								
						合計	5,406,786	円							
		総床面積	810	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →	B								
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					1.613	円							
		維 持 管 理 的 経 費	3	減価償却費	建物部分	建築年度	昭和50年	償却期間	47	年	キ	建築費	85,346,768	円	ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ											C	0.542	円		
設備名				取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費								
AED (自動体外式除細動器)				17	5	252,000	10.957								
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ											D	10.957	円		
維 持 管 理 的 経 費	4	共用部分	貸出面積	180.427	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	562	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	248	m <sup>2</sup>	サ	
		按分用データ	共用部分按分面積	ケ/コ・サ →					シ	79.529	m <sup>2</sup>				

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 1,477,080円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 180.427m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 79.529m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 1.613円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.542円	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 10.957円
-------------------------------	---	---	---	--	---	---	-----------------------------	---	---------------------------------	---	----------------------------------

= 団体利用

**2,048円**

定員 12人 **F**

個人利用

**171円**

**E/F**

# 使用料原価調査票

使用料名	大沼グラウンド			施設名	大沼グラウンド									
課名	体育課													
年間開館日数	358	日	ア	1日の開館時間		8	時間							
区分	積算内訳					原価(円)								
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円							
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	事務分担割合							
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	事務分担割合							
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	事務分担割合							
		小計						A	745.740円					
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円											
	①光熱水費	23,795	円	⑥保険料	0									
	②消耗品費	48,192	円	⑦委託料	747,180									
	③印刷製本費	0		⑧賃借料	22,324,000									
	④修繕料	525,000	円	(内 土地)		22,324,000								
	⑤通信運搬費	0		⑨その他	0									
					合計	オ		23,668,167						
	総床面積	5,450	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ		B							
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						0.152	円						
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和55年	償却期間	30	年	キ	建築費	24,350,000	円	ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ											C	0.052	円	
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費							
		備品部分					-							
		備品部分					-							
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ											D	-	円	
4 共用部分		貸出面積	5,119	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	5,119	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	330	m <sup>2</sup>	サ	
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	コ	共用部分按分面積	m <sup>2</sup>	サ	シ	330.000	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
745.740円		5,119.000m <sup>2</sup>		330.000m <sup>2</sup>				0.152円		0.052円			0.000円
=													
<div style="border: 3px double black; padding: 10px; display: inline-block;">1.855円</div>													

# 使用料原価調査票

使用料名	天神グラウンド			施設名	天神グラウンド								
課名	体育課												
年間開館日数	358	日	ア	1日の開館時間		10	時間						
区分	積算内訳					原価(円)							
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円						
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合					
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合					
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合					
		小計						A	745.740円				
維持管理費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円										
	①光熱水費	62,885	円	⑥保険料	0円								
	②消耗品費	44,707	円	⑦委託料	619,856円								
	③印刷製本費	0円		⑧賃借料	0円								
	④修繕料	305,917	円	(内 土地)		0円							
	⑤通信運搬費	0円		⑨その他	0円								
					合計	オ		1,033,365円					
	総床面積	8,693	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ		→	B					
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						0.003	円					
	経費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	昭和56年	償却期間	30	年	キ	建築費	31,100,000	円
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ										C	0.033円		
		備品部分	設備名	取得年度	11	償却期間	10	設備費(国・都補助金は除く)	215,250	単位当たりの減価償却費	5.411		
		格納庫											
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ										D	5.411		
4 共用部分		貸出面積	7440.25	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	7440.25	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	1,253	m <sup>2</sup>	サ
按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ		→		シ	1,252.680m <sup>2</sup>		

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
745.740円		7,440.25m <sup>2</sup>		1,252.680m <sup>2</sup>				0.003円		0.033円			5.411円
=													
<div style="border: 3px double black; padding: 10px; display: inline-block;">1.070円</div>													

# 使用料原価調査票

使用料名	小川西グラウンド			施設名	小川西グラウンド									
課名	体育課		担当者名			電話番号								
年間開館日数	345	日	ア	1日の開館時間		12	時間							
区 分	積 算 内 訳					原価 (円)								
維 持 管 理 的 経 費	1 人 件 費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円							
		事務分担割合		0.18	エ	ウ・エ →		745.740						
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・ 事務分担割合	=	0.000					
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・ 事務分担割合	0.05	=	84.450				
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・ 事務分担割合	=	0.000					
小 計						<b>A</b>	<b>830.190</b>							
維 持 管 理 的 経 費	2 維持管理費		施設維持に要した経費総額 (人件費を除く) 円											
	①光熱水費	4,703,229	円	⑥保険料	0									
	②消耗品費	181,391	円	⑦委託料	4,237,787									
	③印刷製本費	0		円	⑧賃借料	0								
	④修繕料	247,275	円	(内 土地)		0								
	⑤通信運搬費	0		円	⑨その他	19,162								
					合計	9,388,844								
	総床面積	8,662	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ →		<b>B</b>							
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積						0.026							
	維 持 管 理 的 経 費	3 減価償却費		建物部分	建築年度	平成14年度	償却期間	30	年	キ	建築費	277,859,925	円	ク
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ											<b>C</b>	0.258		
		備品部分	設備名	取得年度	償却期間	設備費 (国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費							
		備品部分					-							
		備品部分					-							
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ											<b>D</b>	-		
維 持 管 理 的 経 費	4 共用部分		貸出面積	8662	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	8662	m <sup>2</sup>	コ	共用部分面積	0.000	m <sup>2</sup>	サ
	按分用データ		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>	ケ/コ・サ →						<b>シ</b>	0.000	

◎使用料の原価

<b>A</b>	+	<b>ケ</b>	+	<b>シ</b>	)	•	(	<b>B</b>	+	<b>C</b>	)	+	<b>D</b>
人件費		貸出面積		共用部分按分面積				維持管理費		建物部分減価償却費			備品部分減価償却費
830.190円		8,662.000m <sup>2</sup>		0.000m <sup>2</sup>				0.026円		0.258円			0.000円
=													
<b>3.294円</b>													

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園グラウンド			施設名	萩山公園グラウンド			
課名	体育課							
年間開館日数	345	日	ア	1日の開館時間		10	時間	
区分	積算内訳					原価(円)		
維持管理的経費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費		4,143	円	
		再任用職員		1時間当たりの人件費	2,414	円	・	事務分担割合
		嘱託職員		1時間当たりの人件費	1,689	円	・	事務分担割合
		臨時職員		1時間当たりの人件費	800	円	・	事務分担割合
		小計						A
維持管理的経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円						
		①光熱水費	453,308円		⑥保険料	12,302円		
		②消耗品費	86,715円		⑦委託料	1,323,000円		
		③印刷製本費	0円		⑧賃借料	0円		
		④修繕料	821,698円		(内 土地)	0円		
⑤通信運搬費	0円		⑨その他	28,538円				
				合計	2,725,561円			
		総床面積	11,029	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ	B	
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積					0.007円	
維持管理的経費	3 減価償却費	建物部分		建築年度	昭和43年	償却期間	30年	
				建築費			円	
				※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ				
				C 0.000円				
				備品部分		取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)
							-	
							-	
				※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ			D -	
維持管理的経費	4 共用部分	貸出面積	9508	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	9508	
		共用部分面積	1,521	m <sup>2</sup>	サ	共用部分面積	1,521	
		共用部分按分面積		m <sup>2</sup>		ケ/コ・サ	シ 1,521.000m <sup>2</sup>	

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 <hr/> 1,167,990円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 <hr/> 9,508.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 <hr/> 1,521.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 <hr/> 0.007円	+	<b>C</b> 建物部分 減価償却費 <hr/> 0.000円	)	+	<b>D</b> 備品部分 減価償却費 <hr/> 0.000円	)	=	<b>1,247円</b>
-------------------------------------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---------------

# 使用料原価調査票

使用料名	中央公園競技場・グラウンド	施設名	中央公園競技場・グラウンド	
課名	体育課			
年間開館日数	345	日 <sup>ア</sup>	1日の開館時間 <span style="float: right;">時間 <sup>イ</sup></span>	
			12	
区分	積算内訳		原価(円)	
維持管理的経費	1 人件費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ウ</span>	
			4,143 円	
		事務分担割合	0.18 <sup>エ</sup>	ウ・エ →
		再任用職員	1時間当たりの人件費 <b>2,414</b> 円 ・ 事務分担割合 =	745.740円
		嘱託職員	1時間当たりの人件費 <b>1,689</b> 円 ・ 事務分担割合 <b>0.15</b> =	0.000円
	臨時職員	1時間当たりの人件費 <b>800</b> 円 ・ 事務分担割合 =	253.350円	
		小計	<b>A 999.090円</b>	
維持管理的経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円		
		①光熱水費	0円	
		②消耗品費	200,130円	
		③印刷製本費	0円	
		④修繕料	541,884円 (内 土地)	
		⑤通信運搬費	0円	
		⑥保険料	0円	
		⑦委託料	5,831,452円	
		⑧賃借料	0円	
		⑨その他	81,900円	
	合計 <sup>オ</sup>	6,655,366円		
	総床面積 <b>18,564</b> m <sup>2</sup> <sup>カ</sup>	オ・カ・ア・イ →	<b>B 0.009円</b>	
	※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積			
維持管理的経費	3 減価償却費	建物部分	建築年度 <b>昭和57年</b> 償却期間 <b>30</b> 年 <sup>キ</sup> 建築費 <b>76,231,068</b> 円 <sup>ク</sup>	
			※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ	
		備品部分	設備名 取得年度 償却期間 設備費(国・都補助金は除く) 単位当たりの減価償却費	
		物置	16 10 425,250 9.245	
			※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ	<b>C 0.033円</b>
		貸出面積 <b>18564</b> m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup> 総貸出面積 <b>18564</b> m <sup>2</sup> <sup>コ</sup> 共用部分面積 <span style="float: right;">m<sup>2</sup> <sup>サ</sup></span>		
	共用部分按分用データ	共用部分按分面積 m <sup>2</sup> <sup>ケ</sup> / コ・サ →	<b>シ 0.000m<sup>2</sup></b>	

◎使用料の原価

<b>A</b> 人件費 999.090円	+	<b>ケ</b> 貸出面積 18,564.000m <sup>2</sup>	+	<b>シ</b> 共用部分按分面積 0.000m <sup>2</sup>	)	•	<b>B</b> 維持管理費 0.009円	+	<b>C</b> 建物部分減価償却費 0.033円	)	+	<b>D</b> 備品部分減価償却費 9.245円
= <span style="border: 3px double black; padding: 10px 20px; display: inline-block;">1.783円</span>												

# 使用料原価調査票

使用料名	萩山公園卓球室				施設名	萩山公園卓球室				
課名	体育課									
年間開館日数	274	日	ア	1日の開館時間	8	時間	イ	1時間当たり定員 (利用可能人員)	16人 <sup>①</sup>	
区分	積算内訳							原価(円)		
維持管理費	1 人件費	職員分		1時間当たりの人件費			ウ	4,143円		
		再任用職員		1時間当たりの人件費 2,414円			エ	0.24		
		嘱託職員		1時間当たりの人件費 1,689円			ウ・エ	→		
		臨時職員		1時間当たりの人件費 800円			エ	0.4		
		小計						A 1,669,920円		
経費	2 維持管理費	施設維持に要した経費総額(人件費を除く) 円								
		①光熱水費	1,465,992円			⑥保険料	5,082円			
		②消耗品費	63,442円			⑦委託料	1,208,708円			
		③印刷製本費	0円			⑧賃借料	14,910円			
		④修繕料	615,195円			(内 土地)	0円			
		⑤通信運搬費	34,542円			⑨その他	0円			
						合計	オ			3,407,871円
		総床面積	776	m <sup>2</sup>	カ	オ・カ・ア・イ			→	B
		※面積は全床面積を入力、グラウンド等の場合は土地の面積								2,003円
		経費	3 減価償却費	建物部分		建築年度	昭和46年	償却期間	47年	建築費
※貸出部分単位当たりの算出方法 建築費・償却期間・総床面積・ア・イ								C 0.000円		
備品部分				設備名	取得年度	償却期間	設備費(国・都補助金は除く)	単位当たりの減価償却費		
				更衣箱	16	10	266,700	10.950		
				更衣箱	17	10	266,700	10.950		
		AED(自動体外式除細動器)	17	5	252,000	20.693				
※単位当たりの算出方法 設備費・0.9・償却期間・ア・イ								D 42.593円		
経費	4 共用部分 按分用データ	貸出面積	295	m <sup>2</sup>	ケ	総貸出面積	776	m <sup>2</sup>	コ	
		共用部分按分面積	m <sup>2</sup>		シ	ケ/コ・サ		→	182.854	

◎使用料の原価

$$\begin{aligned}
 & \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{A} \\ \hline \text{人件費} \\ \hline 1,669,920\text{円} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{ケ} \\ \hline \text{貸出面積} \\ \hline 295.000\text{m}^2 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{シ} \\ \hline \text{共用部分按分面積} \\ \hline 182.854\text{m}^2 \\ \hline \end{array} \right) \cdot \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{B} \\ \hline \text{維持管理費} \\ \hline 2,003\text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{C} \\ \hline \text{建物部分減価償却費} \\ \hline 0.000\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \\
 & + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{D} \\ \hline \text{備品部分減価償却費} \\ \hline 42.593\text{円} \\ \hline \end{array} \right) \cdot \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{1時間当たり定員} \\ \hline 16\text{人} \\ \hline \end{array} = \boxed{167\text{円}}
 \end{aligned}$$



# 手数料原価調査票

手数料名	住民票の写しの証明					
課名	市 民 課					
手数料の内容	住民基本台帳に記載されている「住民票の写し」、「住民票に記載した事項に関する証明書」 @ 250円/通					
区分	積 算 内 訳				1件当たりの原価(円)	
1 人 件 費	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>					
	職員分	4,143 円				
	再任用職員	2,414 円	0.0667 時間	ア・イ		
	嘱託職員	1,689 円	時間	→		
	臨時職員	800 円	時間	=		
小 計				93.2175	254	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額(1を除く) 円					
	①光熱水費	0	⑥保険料	35,416		
	②消耗品費	2,787,398	⑦委託料	34,052,695		
	③印刷製本費	2,656,080	⑧賃借料	3,988,663		
	④修繕料	243,293	⑨その他	146,460		
	⑤通信運搬費	670,039	合計 ウ	44,580,044		
	当該事務割合	0.0187 エ	年間延べ処理件数	77,018 オ	ウ・エ・オ	11
3 減価償却費	設 備 名	設備費(国・都 補助金を除く)	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価(円)
	貨物兼乗用自動車	1,364,000	3	0.0117	474	10.101
(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 小					10	
合 計 ( 1 + 2 + 3 )					275	

# 手数料原価調査票

手数料名	戸籍の附票の写しの証明						
課名	市 民 課						
手数料の内容	戸籍の附票（本籍人の住民地の履歴） @ 250円/通						
区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価（円）	
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>					
		<b>4,143</b> 円					
	1件当たりの平均処理時間	0.0345	イ 時間	ア・イ	→	142.9335	
	再任用職員	2,414	円・	時間	=	0	
	嘱託職員	1,689	円・	時間	=	0	
臨時職員	800	円・	時間	=	0		
小 計					<b>143</b>		
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円						
	①光熱水費	0			⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398			⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080			⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293			⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039			合計 ウ	44,580,044	
	当該事務割合	0.0017	エ	年間延べ処理件数	4,614	オ	ウ・エ・オ →
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都 補助金を除く）	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価（円）	
	(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 小					<b>0</b>	
合 計 ( 1 + 2 + 3 )					<b>160</b>		

# 手数料原価調査票

手数料名	外国人登録に関する証明					
課名	市 民 課					
手数料の内容	外国人が小平市に在住するときに登録する原票（登録原票）の記載事項の証明書 @ 250円/通					
区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価（円）
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>				
		<b>4,143</b> 円				
	再任用職員	1件当たりの平均処理時間	イ	ア・イ	→	271.7808
	嘱託職員	0.0656 時間			→	0
	臨時職員	2,414 円			→	0
小 計					0	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①光熱水費	0		⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398		⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080		⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293		⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039		合計 ウ	44,580,044	
	当該事務割合	0.0026	エ	年間延べ処理件数	3,654	オ
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）
	(単位当たりの算出方法) 小					0
設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					0	
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						303

# 手数料原価調査票

手数料名	印鑑登録証明					
課名	市民課					
手数料の内容	小平市印鑑条例に基づく登録印鑑の証明書 @ 250円/通					
区分	積算内訳				1件当たりの原価(円)	
1 人 件 費	1時間当たりの人件費				ア <b>4,143</b> 円	
	職員分	1件当たりの平均処理時間	イ 0.0283時間	ア・イ →	117,2469	
	再任用職員		2,414円・0.05時間	=	121	
	嘱託職員		1,689円・	=	0	
	臨時職員		800円・	=	0	
	小計				<b>238</b>	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額(1を除く)円					
	①光熱水費	0		⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398		⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080		⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293		⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039		合計ウ	44,580,044	
	当該事務割合	エ 0.0072	年間延べ処理件数	オ 23,491	ウ・エ・オ →	<b>14</b>
3 減価償却費	設備名	設備費(国・都補助金を除く)	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価(円)
	貨物兼乗用自動車	1,364,000	3	0.032	319	41,048
		(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計				<b>41</b>
合計 ( 1 + 2 + 3 )					<b>293</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	戸籍法第10条第1項の規定に基づく戸籍の謄本若しくは抄本の交付又は同法第117条の4第1項の規定に基づく磁気ディスクをもって調整された戸籍に記載されている事項の全部若しくは一部を証明した書面の交付					
課名	市民課					
手数料の内容	戸籍謄（抄）本 @ 450円/通					
区分	積算内訳					1件当たりの原価（円）
1 人 件 費	1時間当たりの人件費					ア <b>4,143</b> 円
	職員分	1件当たりの平均処理時間	イ 0.0259時間	ア・イ		→ 107.3037
	再任用職員		2,414円	・	0.05時間	= 121
	嘱託職員		1,689円	・	時間	= 0
	臨時職員		800円	・	時間	= 0
小計						<b>228</b>
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く）円					
	①光熱水費	0			⑥保険料	35,416
	②消耗品費	2,787,398			⑦委託料	34,052,695
	③印刷製本費	2,656,080			⑧賃借料	3,988,663
	④修繕料	243,293			⑨その他	146,460
	⑤通信運搬費	670,039			合計ウ	44,580,044
	当該事務割合	エ 0.0081	年間延べ処理件数	オ 28,963	ウ・エ・オ	→ <b>12</b>
3 減価償却費	設備名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）
	貨物兼乗用自動車	1,364,000	3	0.007	45	63.653
(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					小 <b>64</b>	
合計 ( 1 + 2 + 3 )					<b>304</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	戸籍法第10条第1項の規定に基づく戸籍の謄本若しくは抄本の交付又は同法第117条の4第1項の規定に基づく磁気ディスクをもって調整された戸籍に記載されている事項の全部若しくは一部を証明した書面の交付							
課名	市 民 課							
手数料の内容	戸籍謄（抄）本 @ 450円／通							
区分	積 算 内 訳				1件当たりの原価（円）			
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>						
		<b>4,143</b> 円						
	1件当たりの平均処理時間	0.025	イ 時間	ア・イ		→	103.575	
	再任用職員	2,414	円	・	0.05	時間	=	121
	嘱託職員	1,689	円	・		時間	=	0
臨時職員	800	円	・		時間	=	0	
小 計							<b>224</b>	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円							
	①光熱水費	0			⑥保険料	35,416		
	②消耗品費	2,787,398			⑦委託料	34,052,695		
	③印刷製本費	2,656,080			⑧賃借料	3,988,663		
	④修繕料	243,293			⑨その他	146,460		
	⑤通信運搬費	670,039			合計 ウ	44,580,044		
	当該事務割合	0.0078	エ	年間延べ処理件数	28,963	オ	ウ・エ・オ	→
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）		
	貨物兼乗用自動車	1,364,000	3	0.007	45	63.653		
（単位当たりの算出方法） 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 小						<b>64</b>		
合 計 （ 1 + 2 + 3 ）							<b>300</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	戸籍法第12条の2第1項の規定に基づく除かれた戸籍の謄本若しくは抄本の交付又は同法第117条の4第1項の規定に基づく磁気ディスクをもって調整された除かれた戸籍に記録されている事項の全部若しくは一部を証明した書面の交付及び戸籍法第12条の2第1項の規定に基づく除かれた戸籍に記載した事項に関する証明書の交付				
課名	市 民 課				

手数料の内容		除籍謄（抄）本、改製原戸籍謄（抄）本 @ 750円/通						
区分		積 算 内 訳			1件当たりの原価（円）			
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費			ア			
					4,143 円			
	再任用職員	1件当たりの 平均処理時間	イ	ア・イ	→	152.4624		
		0.0368 時間						
		2,414 円	0.05 時間		=	121		
		1,689 円			=	0		
	800 円			=	0			
小 計						273		
2 維持管理費		当該事務に要した経費総額（1を除く） 円						
		①光熱水費	0	⑥保険料	35,416			
		②消耗品費	2,787,398	⑦委託料	34,052,695			
		③印刷製本費	2,656,080	⑧賃借料	3,988,663			
		④修繕料	243,293	⑨その他	146,460			
		⑤通信運搬費	670,039	合計 ウ	44,580,044			
		当該事務割合	0.0015	エ 年間延べ処 理件数	3,798	オ	ウ・エ・オ →	
							18	
3 減価償却費		設 備 名	設備費（国・都 補助金を除く）	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価（円）	
		貨物兼乗用自動車		1,364,000	3	0.0005	1	204.600
		(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					小	205
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						495		

# 手数料原価調査票

手数料名	戸籍法第48条第1項の規定に基づく届出若しくは申請の受理の証明書の交付又は同法第48条第2項の規定に基づく届書その他市長の受理した書類に記載した事項の証明書の交付				
課名	市 民 課				

手数料の内容 届書の受理証明書（17年度上質紙使用は2件）、届書に記載されている事項の証明書 @ 350円/通（婚姻等上質紙使用の場合、@ 1,400円/通）

区分	積 算 内 訳	1件当たりの原価（円）	
1 人 件 費	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>		
	<b>4,143</b> 円		
	1件当たりの平均処理時間 <b>0.0368</b> 時間 <span style="float: right;">イ</span>	ア・イ	
		→	<b>152.4624</b>
	再任用職員 <b>2,414</b> 円・時間	=	<b>0</b>
嘱託職員 <b>1,689</b> 円・時間	=	<b>0</b>	
臨時職員 <b>800</b> 円・時間	=	<b>0</b>	
	小 計	<b>152</b>	

2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円				
	①光熱水費	0	⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398	⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080	⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293	⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039	合計 ウ	44,580,044	
	当該事務割合 <b>0.0003</b> エ	年間延べ処理件数	<b>764</b> オ	ウ・エ・オ	→

3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）
		(単位当たりの算出方法) 小 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 計				

合 計	( 1 + 2 + 3 )	<b>170</b>
-----	---------------	------------



# 手数料原価調査票

手数料名	住民基本台帳に関する閲覧						
課名	市 民 課						
手数料の内容	住民基本台帳の記載事項の一部（住所、氏名、生年月日、性別）についての閲覧にかかる手数料 @ (300円/30分)+(200円/人)						
区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価 (円)	
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>				→	207.15
		<b>4,143 円</b>					
	再任用職員	1件当たりの平均処理時間	イ 0.05 時間	ア・イ	時間	=	0
	嘱託職員				時間	=	0
	臨時職員				時間	=	0
	小 計					207	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額 (1を除く) 円						
	①光熱水費	0			⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398			⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080			⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293			⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039			合計 ウ	44,580,044	
	当該事務割合	0.0076	エ	年間延べ処理件数	14,062	オ	ウ・エ・オ →
						24	
3 減価償却費	設 備 名	設備費 (国・都 補助金を除く)	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価 (円)	
	(単位当たりの算出方法) 小						0
設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計						0	
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						231	

# 手数料原価調査票

手数料名	その他の証明					
課名	市民課					
手数料の内容	身分証明（件）、その他証明（件） @ 250円/件					
区分	積算内訳				1件当たりの原価（円）	
1 人 件 費	1時間当たりの人件費 <span style="float: right;">ア</span>					
	職員分	4,143 円				
	再任用職員	0.0299 時間	イ	ア・イ		
	嘱託職員	2,414 円	0.05 時間	→		
	臨時職員	1,689 円	0	=		
小 計				123,8757		
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①光熱水費	0	⑥保険料	35,416		
	②消耗品費	2,787,398	⑦委託料	34,052,695		
	③印刷製本費	2,656,080	⑧賃借料	3,988,663		
	④修繕料	243,293	⑨その他	146,460		
	⑤通信運搬費	670,039	合計 ウ	44,580,044		
	当該事務割合	0.0008 エ	年間延べ処理件数	2,414 オ	ウ・エ・オ	14
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都 補助金を除く）	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価（円）
	(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 小					0
合 計 ( 1 + 2 + 3 )					259	

# 手数料原価調査票

手数料名	住民基本台帳カード						
課名	市 民 課						
手数料の内容	他市で住民票の写しを受け取ることができる「広域交付」、転入・転出時に手続きが1回で済む「付記転出」などのサービスを受けることができる住民基本台帳カードの交付にかかる手数料						
区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価(円)	
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費				ア	
						<b>4,143 円</b>	
	1件当たりの 平均処理時間	0.1167	イ 時間	ア・イ		→	
	再任用職員	2,414 円	・	時間	=	0	
	嘱託職員	1,689 円	・	時間	=	0	
臨時職員	800 円	・	時間	=	0		
小 計						<b>483</b>	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額(1を除く) 円						
	①光熱水費	0			⑥保険料	35,416	
	②消耗品費	2,787,398			⑦委託料	34,052,695	
	③印刷製本費	2,656,080			⑧賃借料	3,988,663	
	④修繕料	243,293			⑨その他	146,460	
	⑤通信運搬費	670,039			合計 ウ	44,580,044	
	当該事務割合	0.002	エ	年間延べ処 理件数	1,569	オ	ウ・エ・オ →
						<b>56</b>	
3 減価償却費	設 備 名	設備費(国・都 補助金を除く)	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価(円)	
	(単位当たりの算出方法) 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数 計						<b>0</b>
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						<b>540</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	狂犬病予防法関係手数料				
課名	環境保全課				

手数料の内容	狂犬病予防法第5条第2項の規定に基づく犬の狂犬病予防注射済票の交付
標準的な事務処理の方法	申請書受理→注射済票の発行→登録

区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価(円)
1 人 件 費	1時間当たりの人件費					ア <b>4,143</b> 円
	職員分	1件当たりの 平均処理時間	イ <b>0.133</b> 時間	ア・イ	→	551.019
	再任用職員	<b>2,414</b> 円	・	時間	=	0
	嘱託職員	<b>1,640</b> 円	・	時間	=	0
	臨時職員	<b>800</b> 円	・	時間	=	0
小 計						<b>551</b>
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額(1を除く) 円					
	①光熱水費			⑥保険料		
	②消耗品費		<b>267,818</b>	⑦委託料		
	③印刷製本費			⑧賃借料		
	④修繕料			⑨その他		<b>234,000</b>
	⑤通信運搬費			合計 ウ		<b>501,818</b>
	当該事務割合	<b>0.2</b>	エ	年間延べ処 理件数	オ <b>5,635</b>	ウ・エ・オ →
3 減価償却費	設 備 名	設備費(国・都 補助金を除く)	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価(円)
	(単位当たりの算出方法) 設備費・ <b>0.9</b> ・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					小
合 計	( 1 + 2 + 3 )					<b>569</b>

# 手数料原価調査票

手数料名	公道証明（道路幅員証明）、道路区域証明・境界確定証明			
課名	みちづくり課			

手数料の内容	指導管理道路の路線名と幅員を証明する。 小平市が管理する道路の道路区域・道路境界を証明する。
標準的な事務処理の方法	相談、証明の説明及び受理（2分）→ 詳細調査（3分） → 証明書作成、交付（2分）

区分	積算内訳	1件当たりの原価（円）				
1 人 件 費	1時間当たりの人件費	ア <b>4,143</b> 円				
	1件当たりの平均処理時間	イ 0.12 時間 →				
	再任用職員	ア・イ <b>2,414</b> 円 ・ 時間 =				
	嘱託職員	<b>1,640</b> 円 ・ 時間 =				
	臨時職員	<b>800</b> 円 ・ 時間 =				
	小 計	<b>497</b>				
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①光熱水費	⑥保険料				
	②消耗品費	⑦委託料				
	③印刷製本費	⑧賃借料				
	④修繕料	⑨その他				
	⑤通信運搬費	10 合計 ウ				
	当該事務割合	エ 0.002 年間延べ処理件数 オ 26 ウ・エ・オ →				
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）
	（単位当たりの算出方法）					小
設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計						
合 計	（ 1 + 2 + 3 ）				<b>497</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	図書複写				
課名	中央図書館				

手数料の内容	図書館資料のマイクロ複写に伴う手数料
標準的な事務処理の方法	申請受付→複写→確認→現金受取→領収書発行→交付

区分	積 算 内 訳					1 件当たりの原価 (円)
1 人 件 費	1時間当たりの人件費					ア <b>4,143</b> 円
	職員分	1件当たりの 平均処理時間	イ <b>0.033</b> 時間	ア・イ	→	136.719
	再任用職員	<b>2,414</b> 円	・	時間	=	0
	嘱託職員	<b>1,640</b> 円	・	時間	=	0
	臨時職員	<b>800</b> 円	・	時間	=	0
小 計						<b>137</b>
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額 (1を除く) 円					
	①光熱水費			⑥保険料		
	②消耗品費		<b>2,190</b>	⑦委託料		
	③印刷製本費			⑧賃借料		
	④修繕料			⑨その他		
	⑤通信運搬費			合計 ウ		<b>2,190</b>
	当該事務割合	<b>0.002</b> エ	年間延べ処 理件数	<b>331</b> オ	ウ・エ・オ	→
3 減価償却費	設 備 名	設備費 (国・都 補助金を除く)	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1 件当たりの原 価 (円)
	(単位当たりの算出方法)					小
設備費・ <b>0.9</b> ・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計						
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						<b>137</b>

# 手数料原価調査票

手数料名	農業手数料				
課名	産業振興課				

手数料の内容	農地転用関係証明				
標準的な事務処理の方法	窓口にて受付 → 台帳確認（届出の有無を確認） → 有 → 証明申請 → 証明書作成 → 手数料納入 → 証明書発行				

区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価（円）
1 人 件 費	1時間当たりの人件費					ア <b>4,143</b> 円
	1件当たりの平均処理時間	0.05	イ 時間	ア・イ		→ 207.15
	再任用職員	2,414	円	・	時間	= 0
	嘱託職員	1,640	円	・	時間	= 0
	臨時職員	800	円	・	時間	= 0
小 計						<b>207</b>
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①光熱水費				⑥保険料	
	②消耗品費	800			⑦委託料	
	③印刷製本費				⑧賃借料	
	④修繕料				⑨その他	
	⑤通信運搬費				合計 ウ	800
	当該事務割合	0.003	エ 年間延べ処理件数	38	オ ウ・エ・オ	→ 0
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価（円）
	（単位当たりの算出方法） 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					小 0
合 計 （ 1 + 2 + 3 ）					<b>207</b>	

# 手数料原価調査票

手数料名	市民税・都民税 課税（非課税）証明			
課名	税務課			

手数料の内容	市民税、都民税における課税あるいは非課税であることを証明する証明書を交付することに係る手数料。
標準的な事務処理の方法	申請に基づき、過去5年度分までの証明を発行している。直近3年分についてはオンラインシステムにて発行しているが、4・5年前の年度分については、課税台帳を複写、公印を押印することで発行している。

区分	積 算 内 訳	1件当たりの原価（円）
1 人 件 費	1時間当たりの人件費	ア <b>4,143</b> 円
	1件当たりの平均処理時間	イ <b>0.06</b> 時間 →
	再任用職員	ア・イ <b>2,414</b> 円 ・ 時間 =
	嘱託職員	<b>1,689</b> 円 ・ 時間 =
	臨時職員	<b>800</b> 円 ・ 時間 =
	小 計	<b>249</b>
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円	
	①光熱水費	⑥保険料
	②消耗品費 <b>47,231</b>	⑦委託料 <b>23,570</b>
	③印刷製本費	⑧賃借料 <b>105,664</b>
	④修繕料	⑨その他
	⑤通信運搬費 <b>42,880</b>	合計 ウ <b>219,345</b>
	当該事務割合 <b>1</b> エ	年間延べ処理件数 <b>26288</b> オ ウ・エ・オ → <b>8</b>
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都補助金を除く）
	自動認証複合機	償却期間
	（既に耐用年数を過ぎており備忘価格1円となるが、年間延べ処理件数で除すると0に限りなく近い数値となるので算入していない。）	当該事務使用割合
	（単位当たりの算出方法）	年間延べ処理件数
	設備費・ <b>0.9</b> ・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計	小
		<b>0</b>
	合 計	（ 1 + 2 + 3 ）



# 手数料原価調査票

手数料名	土地に関する証明・家屋に関する証明・その他の証明					
課名	税務課					
手数料の内容	政令で定める者の請求に応じ、これらの者に係る固定資産課税台帳に記載されている事項や税額につき証明書として交付することに係る手数料。					
区分	積 算 内 訳				1件当たりの原価（円）	
1 人 件 費	1時間当たりの人件費				ア <b>4,143</b> 円	
	職員分	1件当たりの 平均処理時間	イ <b>0.06</b> 時間	ア・イ →	248.58	
	再任用職員		<b>2,414</b> 円	時間	= 0	
	嘱託職員		<b>1,689</b> 円	時間	= 0	
	臨時職員		<b>800</b> 円	時間	= 0	
	小 計				<b>249</b>	
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①光熱水費			⑥保険料		
	②消耗品費		<b>13,362</b>	⑦委託料	<b>49,038</b>	
	③印刷製本費			⑧賃借料	<b>29,320</b>	
	④修繕料			⑨その他		
	⑤通信運搬費			合計 ウ	<b>91,720</b>	
	当該事務割合	<b>1</b>	エ	年間延べ処 理件数	<b>9922</b>	オ ウ・エ・オ →
					<b>9</b>	
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都 補助金を除く）	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1件当たりの原 価（円）
	自動認証複合機					
	（既に耐用年数を過ぎて おり備忘価格1円となる が、年間延べ処理件数で 除すると0に限りなく 近い数値となるので算入 していない。）					
	（単位当たりの算出方法） 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					小 <b>0</b>
	合 計 （ 1 + 2 + 3 ）					

# 手数料原価調査票

手数料名	その他の閲覧					
課名	税務課					
手数料の内容	固定資産課税台帳や公図を閲覧に供することに係る手数料					
区分	積 算 内 訳					1件当たりの原価(円)
1 人 件 費	職員分	1時間当たりの人件費				ア
						<b>4,143</b> 円
	1件当たりの平均処理時間	0.05	イ	時間	ア・イ	→
	再任用職員	2,414	円	・	時間	=
	嘱託職員	1,689	円	・	時間	=
臨時職員	800	円	・	時間	=	
小 計						207
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額(1を除く) 円					
	①光熱水費			⑥保険料		
	②消耗品費		569	⑦委託料		630
	③印刷製本費			⑧賃借料		2,256
	④修繕料			⑨その他		
	⑤通信運搬費			合計	ウ	3,455
	当該事務割合	1	エ	年間延べ処理件数	892	オ
						4
3 減価償却費	設 備 名	設備費(国・都補助金を除く)	償却期間	当該事務使用割合	年間延べ処理件数	1件当たりの原価(円)
	(単位当たりの算出方法)					小
設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計						0
合 計 ( 1 + 2 + 3 )						211

# 手数料原価調査票

手数料名	都市計画手数料				
課名	まちづくり課				

手数料の内容	都市計画証明（地域地区等について）				
標準的な事務処理の方法	都市計画図面を基に提出された図面に都市計画の内容を表示する。				

区分	積 算 内 訳					1 件当たりの原価（円）
1 人 件 費	1時間当たりの人件費					
	職員分	ア 4,143 円				
	再任用職員	1件当たりの 平均処理時間	イ 0.0666 時間	ア・イ →		275.9238
	嘱託職員	2,414 円	・	時間	=	0
	臨時職員	1,689 円	・	時間	=	0
	小 計					276
2 維持管理費	当該事務に要した経費総額（1を除く） 円					
	①燃料費	16,289		⑥保険料	30,987	
	②消耗品費	1,599		⑦委託料	0	
	③印刷製本費	0		⑧賃借料	0	
	④修繕料	0		⑨その他	0	
	⑤通信運搬費	0		合計 ウ	48,875	
	当該事務割合	0.0178	エ	年間延べ処 理件数	オ 238	ウ・エ・オ →
3 減価償却費	設 備 名	設備費（国・都 補助金を除く）	償却期間	当該事務 使用割合	年間延べ処 理件数	1 件当たりの原 価（円）
						0.000
						0.000
						0.000
						0.000
						0
						0
						0
	(単位当たりの算出方法) 小 設備費・0.9・償却期間・当該事務使用割合・年間延べ処理件数計					0
合 計	( 1 + 2 + 3 )					280